明治三十四年十二月廿一日印刷
明治三十四年十二月廿四日發行
明治三十五年二月廿七日再版
明治三十五年八月三十日三版
明治三十六年二月三日四版
明治三十七年四月十五日五版
明治三十八年十一月三十日六版
明治四十年十二月一日七版

著者兼發行者　神戸市四ノ宮松ノ舍
英國人　ヒユ、ゼ、フヲス

同　東京市麻布區飯倉片町卅二番地
今井壽道

印刷者　神戸市元町一丁目二十四番屋敷
菅間德次郎

發行所　神戸市中山手通三丁目外五番
日本聖公會出版社

印刷所　神戸市元町一丁目二十四番屋敷
福音印刷合資會社神戸支店

KO-KIN SEIKASHŪ.

HYMNS NEW AND OLD

PREPARED BY A COMMITTEE

FOR THE USE OF THE

NIPPON SEIKŌKWAI, Hymnal.

1901.

"Such as it is, 'tis here:
Forgive the best!
Accept the rest!
Thy pardon and acceptance
Maketh blest."

HYMNS NEW & OLD.

At the Fifth Synod of the Nippon Seikokwai (1896) a Committee was appointed to prepare a Hymnal which might be generally used throughout the Church, and on an *ad interim* report being presented at the next Synod (1899) Mr. Matsuyama was added to the former Committee and they were instructed to publish the book on the completion of their work.

In the June of that year, to the great grief of the whole Church, Archdeacon Warren died, and his loss was much felt by the Committee, for though he had carefully examined the whole collection both privately and in Committee, and had fully agreed to all that had been done up to that time, they cannot but feel that his wise suggestions would have much assisted their labours as they drew near to completion.

After very thorough and careful recension of the whole, the Committee found themselves ready to print at the beginning of 1901, but gladly consented to wait yet a few

months in order to insert 100 or more "Uniform Hymns," which would be used not only in the Nippon Seikokwai, but so far as possible by all Christians throughout Japan. These were finally selected in April, and at once examined and revised by a Committee of competent Japanese Christian scholars, and those that had not been already adopted were added in suitable places in the present book.

These have been distinguished by a special mark both in the index and in the body of the book so that they may be chosen when this Hymnal is used in gatherings where Christians of other denominations are present; the words and tunes for them alike being identical in most of the hymn books in use throughout Japan.

Much care has been bestowed on all the Hymns to ensure not only that the words themselves should be worthy to be sung before GOD, but that the truths of the Gospel as they have been carefully preserved in our Church should be presented in their due proportions, so that the book may be a real companion to the Book of Common Prayer.

The Committee desire to acknowledge the great courtesy they have received from the Editors and Proprietors of other Hymnals, the Committees of the Shinsen Sambika and of the Baptist Hymnal permitting them to use in their revised form any of the Hymns contained in their respective books, while the Methodist Hymnal Committee kindly offered the use of the plates of their tunes whenever such should be found needful, and it is but

right to add that free use has also been made of the translations of well-known hymns in the last mentioned book in preparing the version printed in the present Hymnal.

It is hoped that the arrangement of the book will commend itself to all. The first part follows the Church's Year and the Book of Common Prayer; and the latter part consists of General Hymns grouped into large sections, which though not distinguished by particular names should be easily recognised by a careful reader, while a very short statement of the subject of each Hymn throughout the book will be found in the margin, and the name of the tune and the first line of the English Hymn, if a translation, are recorded at the beginning of every Hymn.

In the choice of tunes the Committee were most kindly assisted by competent musicians, many of whom had had long experience in Japan, and every care has been taken to prepare a fitting collection of good melodies suitable for use in all Churches. For this reason a considerable number of alternative tunes have been added, where the better tune seemed somewhat difficult, or the common tune one not likely to hold its own in the larger Churches. The Committee earnestly hope that this Hymnal, on which much prayerful labour has been willingly expended for many years, may be generally accepted throughout the Church of Japan, and that by the Blessing of GOD it may be the means of turning the hearts of many in true and heartfelt devotion to the only True

GOD, Almighty and All-Loving, FATHER, SON, and HOLY GHOST, to Whose Mercy they now most humbly and reverently commit themselves and their work.

COMMITTEE.

BISHOP FOSS.	Rev. J. T. IMAI.	Mr. P. S. MATSUDA.
ARCHDEACON WARREN. (d. 1899).	„ T. SUGIURA. (resigned).	„ T. MATSUYAMA.

It is requested that all communications respecting this book be addressed either to Bishop Foss, The Firs, Shi no miya, Kobe, or to Mr. Matsuyama, Heian Jogakko, Kyoto.

October, 1901.

CONTENTS.

INDEX OF FIRST LINES.

UNIFORM HYMNS.

古今聖歌集

HYMNS NEW AND OLD.

いづれの神にさゝげむ
ちづらゆきき数にあ
あらぬ身こばなれ
果なきまでを
はるかあらはあ
はせ　あなたなる
月をこだも
ならはとのひ
ちとせや思はん

古今聖歌集序

日本聖公會第五總會（千八百九十六年）は聖公會一般に使用すべき讃美歌編纂のことを議决すると同時に其委員を撰擧したるに我ら叨りに此重任を荷ふこととはなりぬ我らは承任の后總會の示せる方針に從ひて編纂の程を起し漸次調査の途に上りしが玆に第六總會の期に遭遇し調査半途の歌稿を以て其經歷を報告したるに第六總會は假に之を受理し我ら委員の任を繼續せしめ且つ委員中に松山高吉氏を加ふる事となし此歌集編纂の業完了せば直ちに之を上梓することをも委託する决議をなしたり我ら委員は斯る繼續の任務を受け更に其步を進めて事に從はんとする際不幸にも委員中の老輩たるアーキデアコノ、ワレン氏の永眠に遭ひたり氏の永眠は公會一般の悼惜する所にして殊に我ら委員は直接事業の

共に均しく歌はしむべき目的なるが故に其語句と樂譜とを並同一にせり此の百餘首中旣に已前本集中にありしものあり又新に加へたるものあれども皆本集中適當の分に編入し見易き樣標點を附し且「讃美歌」中の番號を加へ置きたれば他敎派の兄弟と一連の集會をなし共に歌はんとする時は容易く之を探り索むべし

本歌集編纂に就て最も意を注ぎたる點は每篇の字句をして神の大御前に於て歌唱するに適應(ふさはし)からしむると共に我公會に於て鄭重に保持せらるヽ福音の眞理は正當に含有せんことを務め本歌集をして洵に祈禱書の好侶伴たらしめんと爲せしにあり

本集の成るや本委員等は他の讃美歌の編集者及版權所有者諸君に對し大なる厚意を受けたることを感謝す新撰及浸禮敎會讃美歌の委員諸君は

關係あれば悵恨の意更に深し蓋し氏は其生前に於て或は單獨に或は相共に多くの歌稿を精査し將た永眠當時迄の事業に對して全然我らに同意を表せられたり若し此編纂事務の終結を告るまで氏が其壽命を保ちしならば我らは氏の高見なる助言に裨補する所極めて多かりしならんを信ぜざるを得ざるなり。我らは草案全部を周到綿密に再三校閲し(千九百一年春)既に之を印刷に附せんとするに際し日本基督敎各派の共用すべき讃美歌百餘首を此集中に挿入することを快諾し我らの中其撰定調査のことに與りたるにより印刷の期を延べて數月を經過せり抑も此の各派に共用する讃美歌は本年四月最後の撰擇を了り直に之を學識富贍なる數士に託して其斧正を經たるものなり此の歌は固より我聖公會のみならず出來得る限り日本全國キリスト信者をして相

經驗に富める人々もありしなり右諸氏が苦心を厭はず何れの敎會に於て使用することも恰當なるべき佳曲を蒐輯せられ若し亦巧妙優美なる樂曲に合はして謳はんとし稍や困難を感ずる場合或は大なる會堂にて普通の曲譜の適當せざる塲合等のあらんことを慮りて更に數多の代曲をも備へ置れたり

此聖歌集は實に既往數年間幾多の祈禱と勞力とを積みて爰に漸く脱稿せしものなり、切に望むらくは本集が日本聖公會に普く歡迎せられ又神の祝福によりて衆人の心を飜し彼等をして誠心誠意より父と子と聖靈なる全能全智至愛至慈の唯一の眞神を敬信するに至らしむる聖器と爲し給はんことを。我等は今愼み謙りて我ら自身と此事業とを恭しく三位一體の神の憐恤に委ね奉る

其集中の歌を改删取捨して採用することを許されメソヂスト讃美歌委員諸君は若し必要あらば其樂譜の原版をも貸與すべしと親切に言ひおこされたり我等は又本集の歌稿を校訂するに當りメソヂスト讃美歌中より著名なる聖歌の譯語を自由に假用したることをも附言して玆に謝せざるを得ざるなり

本歌集の分類と順序用法は卷を取て開かばおのづから明瞭なるべし則ち前半は公會暦と祈禱書の順序に從ひ後半は雜歌の部となせり雜歌は之を大別し敢て特名を附し又細別はせざれども一閲せば容易く見分ることを得べし毎篇の側に要趣を記し樂曲の名と英語より譯せしものは其原歌の初句を篇首に掲げたり

樂曲の撰擇に就ては堪能なる音樂家諸氏の非常なる援助を辱せしが其中には永く本邦に在りて

目次

一千九百一年十月

編纂委員

ヒユ、ゼ、フヲス

今井壽道

松山高吉

松田承久

シ、エフ、ワレン
（一八九九年永眠）

杉浦義道
（中途辭任）

此聖歌集に關して訂正其他の意見を寄せられんと欲する方は神戸四ノ宮松の舍監督フヲス、又は京都平安女學院内松山高吉兩名の中へ送られんことを乞ふ

いろは分見出し

い の 部

見出し	
いのちのかてよ	百三十一
いのちのきみよ	百四十六
*いのちのみことば	二百六十五
*いのりはくちより	三百八十五
いまあたらしき	五十
いま主耶蘇は	九十六
*いける主のみたま	百九十九
耶蘇はとぢたる	六十
耶蘇はよびとの	二百八十四
*耶蘇にまさるなは	二百二十一
耶蘇よをはりまで	百四十四
*耶蘇よこゝろにやどりて	三百五十一
耶蘇よみがへり（よみのちからを）	九十九
耶蘇よみがへり（しのかせくだく）	九十三
耶蘇よみたまを	百六十
*耶蘇よしふじかを	三百三
耶蘇よすくひの	七十五
耶蘇のつはもの（をゝしくふせげ）	三百三十九
耶蘇のつはもの（みなをほめよ）	百十七　百十八　百十九

ち の 部

を の 部

ゐ の 部

かの部

*	わがたましひを	三百十六
	わがたましひよ(つばさをのべ)	三百七十一
	わがたましひよ(あまつかみの)	四百
*	わがおほみかみよ	三百二十八
*	わがやまとの	百八十二
	わがふるさとのすみかは	三百七十四
*	わがさゝぐる	百七十八
	わがきみ耶蘇は	三百十
*	わがきみ耶蘇よ(われををしへて)	二百六
	わがきみ耶蘇よ(つみのみは)	百四十
	わがきみ耶蘇よ(あいのたるゝ)	三百十三
	わがきみ耶蘇の	百三十六
	わがきみはつきざる	百三十二
	わがきみてのよを	百四
	わがゆくべき	三百六十一
*	わが主耶蘇よ	三百四十七
	わが主耶蘇あはれみて	三百七十八
	わが主とともに	三百五
	わが主ゑふじかに	百四十二
*	わがすくひぬしを	二百九十五

よの部

たの部

見出し

その部

つの部

まの部

けの部

ふの部

この部

あの部

さかえあるかみよ　十三
サタナのくにを　百十六
サタナのさそひ　三百八十
さつををのがれて　三百四十八
さまよへるものよ　二百七十一
さゝぐるいのりを　三百八十八

きの部

きよきみいくさに　三百三十七
きよきみたまよ　百七
きたれつかれしものよ　二百四
きたのむるけき　五十七
きたのむてなる　百九十一
きませみたまよ　百十
きけよわがたま　三百五十五
きけひかりのこよ　三十三
きみはわれらを　七十三
ぎみなる耶蘇よ　二百九十九
きみのきみにます　四百八
きみきたりたまふ　三十二

さの部

ゑの部

ひの部

し の 部

いの部

せの部

すの部

かの部

よ の 部

た の 部

つ の 部

あまつみつかひよ	四百七
あまつみつかひの	二百九十六
あまつみくには	二百二十七
あさひはのぼりて	二十八
あめよりくだり	二百六十七
あめつちをてらす	百七十七
あめつちの主よ	百六十五
あめなるよろこび	三百四十六
あしたのひかり	二百一

さの部

さかえにみちたる	百六十二
さかえのきみの	七十四
さまよへるものよ	二百七十一

きの部

きたのむてなる	百九十一
きませみたまよ	百十
きみなる耶蘇よ	二百九十九
きみのきみにます	四百八

主はいのちを	二百九十七
主われをあいす	二百二十二
主よみもとに	三百四十九
主のたふとき	二百五十五

ゑの部

ゑまひもなみだも	四十八

ひの部

ひとにはみめぐみ	三十九
ひのてるかぎりは	五十五
ひくれてよもはくらく	七

せの部

せいなる聖なる	百十一

すの部

すべしらすかみよ	四十九
すくひぬし耶蘇よ	十七
すくひのぬしは	九十

1 朝

第８　ANGELS' SONG.　8888 (L.M.)

Now that the daylight fills the sky.

われ朝に汝のために備へして待ち望むべし　詩五〇三

一
あさとく（早）おきいで　み（身）たま（靈）をさゝげ
かみ（神）のみまもり（御護）を　ひたすらにねがふ

二
このひ（日）のいざなひ　つみとがをさなれ
こゝろとおもひを　きよらにしたまへ

三
あらそひそしりに　わがした（舌）をおさへ
むなしきはまれに　め（眼）をなむけしめそ

四
ひるはみこゝろを　つゝしみおこなひ
よるはみさかえを　うたはしめたまへ

五
ちゝみこみたまの　みつのくらゐなる
ひとりのみかみ（御神）よ　よゝにさかえ（光榮）あれ

すくひのひかりの

二十三

四 めぐみによりて　つゝがなく
けふのつとめを　なしをはり
いとふゆふべに　ちゝ（聖父）とこ（聖子）とゝ
みたま（聖靈）のみなを　たゝへ（稱美）まし

3 第三

WINCHESTER NEW. 8888 (L.M.)

Forth in Thy Name, O Lord, I go.

我つねに主をわが前におけり　詩十六〇八

一 けふもつゝがなく　あしたをむかへて
みたまをさゝげ　つとめをばはじむ

二 みこと（神言）をのりとし　ことばもわざも
たゞしくつかへて　いそしませたまへ

三 ともにますかみの　みかほをあふぎて
きよきおこなひの　み（果）をさゝげしめよ

四 つゝしみまもりて　おこたらずいのり
みさかえをのぞみ　すゝましめたまへ

2 第二　INTERCESSION.　75757575

Thou art our Arm every morning.

なんぢ朝ごとに我らの臂となり　賽三三〇二

一 ひがしのそらは　あけわたり
いこひ(休息)のよるも　すぎゆけば
われおきいでゝ　こゑたかく
主よみちびけと　よばふなり

二 きみなる耶蘇よ　けさもまた
かろきくびきを　おはしめて
きみのみあとを　ふみならひ
ちゝ(天父)のみもとに　ゆかしめよ

三 わがとるわざ(業)を　さきはひて
御名のさかえを　あらはさせ
むすぶよきみ(善果)を　ことごとく(悉皆)
さゝげしめてよ　おほまへに

5* 第五　MELCOMBE.　8888 (L.M.)

Awake, my soul, and with the sun.

我しのゝめを呼びさまさん　詩五七〇八

一　めさめよわがたま　あさひにともなひ
かみ(神)をあがめつゝ　たゆまずつとめよ

二　むなしくすごしゝ　とき(時)をつぐのひて
またなきこのひ(今日)を　いそしみておくれ

三　主のゆだねたまふ　たからをもちひて
さばきび(審判日)のそなへ　ねもごろにせよな

四　かみ(神)みそなはせり　くらきわざをすて
ひかりのよろひを　つけてたゝかへよ

五　わがたまめさめて　なが(汝)かみ(神)をほめよ
よもすがらうたふ　みつかひとともに

朝　早晨自ら警む　(讀 一〇五

4* 第四　DIX.　777777

New every morning is the Love.

主のいつくしみ朝ごとに新なり　哀三〇廿三

一 くるあさごとに　あさひとともに
かみのひかりを　こゝろにうけて
みいつくしみを　あらたにさとる

二 くるあさごとに　つみをきよむる
めぐみのつゆは　あめよりくだり
かみのさちをぞ　あらたにそふる

三 くるあさごとに　わざとことばを
きよめわかちて　かみにさゝげば
さゝぐるたから　いやましたまはん

四 くるあさごとに　とるわがつとめ
ひとをあい（愛）して　おのれにかたば
かみにちかづく　みちとこそなれ

五 くるあさごとに　わがいのるごと
あゆみたゞしく　まさみちすゝみ
きよきやすみに　いらしめたまへ

よるべなきみ(身)のたよる
主よともにやど(宿)りませ

二　いのちのくれ(暮)ちかづき
よ(世)のいろ(色)か(香)うつりゆく
とこしへにかはらざる
主よともにやどりませ

三　よのやみおものすごく
サタナのさそひしげし
ときのま(暫時)もさりまさで
主よともにやどりませ

四　し(死)のちからいづこぞや
わが主ともにいまさば
われかち(勝)てあまりあらん
主よともにやどりませ

五　とづるめ(目)にじふじか(十字架)の
かが(光)やき(榮)をあふがしめ
さかえのひ(日)をみるまで
主よともにやどりませ

6 第六　SWABIA.　6686 (S.M.)

The day is almost spent.

主は永遠に汝の光となり給はん　賽六十〇十九

一 ひ(日)かたぶきぬ　主よきたりて
よすがら(終夜)われらと　やどりたまへ

二 みつかひらの　たえずうたふ
かゞやくみくによ　なほいたらず

三 わ(我)がひ(日)はいま　く(暮)れにちかし
たま(靈魂)をてらすひ(日)よ　あらはれませ

四 よのひと(人)らも　みつかひらも
ちゝみこみたまを　ほめうたへよ

7* 第七　EVENTIDE.　10 10 10 10

Abide with me; fast falls the eventide.

日傾きて暮におよびぬ我等とともに止まれ　路二四〇二九

一 ひくれてよも(四方)はくらく
わがたま(靈)はいとさびし

一 たそがれ（黄昏）どきに
なげきこ（乞）ひたる
やがていやされ

二 おもにをになひ
このゆふぐれに
ましますきみの

三 主よみそなはせ
やまひになやみ
もえにしあい（愛）の

四 よをはかなめど
あだなるとも（友）に
きみにかへらで

五 つみをはなれて
えしはたれぞや
いよゝさとりぬ

六 このゆふぐれに
みこゝろをきかせ
われらをいやし

耶蘇をかこみて
やまひのひと（人）ら
よろこびさりぬ
なやむわれらも
めにこそみえね
みもとにつどふ
うれひにしづみ
きみをあい（愛）せず
きえしものあり
なほよ（世）につかへ
なやまさるれど
まよふものあり
また（全）きやすき（平安）を
つかへはげめば
つみのふかさを
いつもかはらぬ
みてをのばして
なぐさめたまへ

夕に恩祐を求む

8 第八　SEBASTE.　P.M.

Hail, gladdening Light.　約一〇九

すべての人を照らす眞のひかり

此聖歌は第四世紀のころ既に古歌と稱へられたるものなり

一 あまつちゝよりいづる
よろこびのひかりなる
耶蘇きみをほめまつる

二 いまさしいるゆふひの
にほふくも（雲）のひかりに
ちゝてみたまをほめたゝふ（讚稱）

三 いのちをあたへたまふ
かみのみてよ
よびと（世人）みなほめうたはん
きよきこゑもてみさかえを

9 第九　WELLS.　777777

At even when the sun was set.

日の落るときその邑こぞりて門に集れり　可一〇三二

七 みつのくらゐ　ひとりの
あまつかみを　よゝ（永世）にほめよ

11* 第十一

HURSLEY. 8888 (L.M.)

Sun of my soul, Thou Saviour dear.

主は光主が救ひなり　詩廿七〇一

一 わがたま（靈魂）のひかり　すくひぬし耶蘇よ
ちかくましまさば　よる（夜）もよはあらじ

二 えづけきよなく　ふしいぬる（臥寢）ごとに
みそばのいこひを　おもはしめたまへ

三 よもひもはなれず　ともにいまさずば
いくるにみちなく　えぬるもおそろし

四 みことばにそむき　まよひいでしこ（子）を
こよひ主のもとに　よびかへしたまへ

五 まづしきをとませ　うれひをなぐさめ
やみびと（病人）をみとり　やすらにふさせよ

六 あした（詰朝）めさめなば　えくし（祝）みちびきて
みくにのたびぢに　すゝましめたまへ

10 弱音

S. COLUMBA. 6466

The sun is sinking fast.

願くは主が手を擧ること夕の供物の如くならんことを　詩百四一〇二

一
にしのやまに　ひ（日）いりぬ
よひ（初夜）のまつり　いまぞさゝげん

二
主じふじか（十字架）に　あげられ
たまをちゝに　ゆだねませり

三
わがたまをも　ちゝのみ（御）て（手）に
さゝげて　ゆだねまつる

四
しね（死）るものと　ひとしく
よ（世）のねがひ（願望）を　みなすてはてん

五
ちゝのもとに　いこひて
たゞみむねに　より（頼）したがはん

六
わがこゝろに　いまして
み（御）ちから（力）もて　いか（活）したまへ

第十三　TALLIS' CANON.　8888 (L.M.)

Glory to Thee, my God, this night.

かれその羽根をもて汝を庇ひたまはん　詩九一〇四

一　さかえ（光栄）あるかみよ
けふのたまものゝ
ゆたけきめぐみを
ほめたゝへまつる

二　みこのいさをにて
つみとがをゆるし
こゝろのせめなく
ふしどにつかせよ

三　まなぶた（瞼）をとぢて
みまもり（御護）にもたれ
あたらしきちから
え（得）ていそゑまし

四　ねぶらぬとこ（床）にも
みことばをおもひ
くらきいざはひの
おそひ（襲撃）をさらせよ

五　はかにいぬる（寝）よ（夜）も
ふしどにいるごと
あけぼのをのぞみ
やすくいこはせよ

六　あめにもつちにも
めぐみのあふるゝ
ちゝみこみたまの
みな（御名）にさかえあれ

12 第十二

SAWLEY. 8686 (C.M.)
COOLING.

I love to steal awhile away.

祈せんとて竊に山に上り日暮てひとり其所にあり　太十四〇廿三

一 ゆふぐれしづかに　いのりせんとて
よ(世)のわづらひより　しばしのがる

二 すぎこ(過來)しめぐみを　おもひつゝけ
いよゝゆくすゑの　さち(幸)をねがふ

三 うれひもなやみも　わがみかみ(御神)に
まかせまつるこそ　よろこびなれ

四 よ(世)のなみ(浪)さわげど　あまつくにの
やすけきみなとを　のぞみしたふ

五 このひ(日)をしづかに　をはるごとく
ことしげきよ(世)をば　つひにをへ(終)なん

ともにいまして　やすからしめよ
二 まなく(間)おそひくる　あたにくるしむ
これらをまもりて　つひにみくにの
やすきいこひ(休息)に　いたらせたまへ

16 第十六　S. CLEMENT.　9898

The day Thou gavest, Lord, is ended.

日の出る所より日の沒る所まで主の聖名ほめらるべし　詩百十三〇三

一 けさみまへにつどひ　ほめたゝへしごと
こよひもみめぐみを　うたひてぞいこはん

二 みたみ(神民)ふえひろがり　よるひるたえせず
かたみにめ(目)をさまし　みなをほめまつる

三 ひ(太陽)のすゝむまに〱　みたみはおきいで
あらたなるたゝへと　いのりをぞさゝぐ

四 よのくにはうすれど　みよ(御世)はかたくたち
とこしへにさかえて　すべをさめたまはん

14 第十四　NUTFIELD. 85858855

God, Who madest earth and heaven.

主はなんぢを守りて諸の禍害をまぬかれしめ給はん　詩百廿一〇七

一 はたらくひるのひ(日)　いてふよ(夜)を
よびと(世人)にたまひし　ちゝ(父)がみ(神)よ
みつかひをくだし　よもすがらまもり(護)
いさぎよきゆめを　あたへませ

二 さむるもねぶるも　ゑぬるにも
主のてにまもられ　やすらけく
よ(世)のすゑ(末)のみこゑ　これをさますとき
みくにのさかえを　え(得)せしめよ

15 第十五　DRETZEL. 8787777

Through the day Thy love has spared us.

主よたゞ汝のみ我を坦然に居らしむ　詩四〇八

一 ひねもすめぐみを　たまひしかみよ
つかれてふしどに　いぬるよのまも

四　よしやわがふしど(臥所)　よのまにかはり
おくつき(墳墓)となりて　み(身)をかこむとも
あまつあけぼの(曙)に　よびさまされて
とこしへのひかり　あふぎみなまし

18 第十八　OLD HUNDRED.　8888 (L.M.)

O Thou to Whose all searching sight.

汝には暗きも光も殊なることなし　詩百三九〇十二

一　かみのみまへには　よるもなほあかく
かくれたるものも　あらはにぞみゆる

二　みかみ(御神)をしたへる　わがむねをさぐり
まがれるのぞみは　のぞきさりたまへ

三　つみとがをはらひ　けがれをきよめて
耶蘇のじふじかを　はてらしめたまへ

四　やみにさまよはば　ともなひいだして
われをおそれより　のがれしめたまへ

五　みちからにすがり　みひかりをしたひ
たゆまでみやま(聖山)に　のぼらしめたまへ

17* 第十七　VESPER HYMN.　87878787

Saviour, breathe an evening blessing.

災害なんぢにいたらず苦難なんぢの幕屋に近つかず　詩九一〇十

一
すくひぬし耶蘇よ
つみととも(乏)しきを
われらをあはれみ
ふしいこふさきに
このゆふぐれに
いひあらはせる
めぐみをたれて
やす(安)き(慰)をたまへ

二
うきくもおほへる
おいのみかほをば
まどろむことなく
まもるみちからは
まくらきよるも
かくしうべしや
たえずみ(神)たみ(民)を
いともかし(畏)こし

三
え(疫)やみとほ(死)ろびは
しのや(矢)ははげしく
た(盾)てなるみつ(天)かひ(使)
主もともにませば
まはりにせまり
とびきたるとも
われらをまもり
おそれはあらじ

五 かみよみくにの　たのしみを
みたまによりて　つばらかに
ゑめしくはへて　いやむてに
あまつやすみに　いれたまへ

20 第二十番

UNIVERSITY.　7777

This is the day the Lord hath made.

汝ら聖所に向ひ手をあげて主をほめまつれ　詩百三四〇二

一 かみのさだめし　やそみはけふぞ
みくらのまへに　ほめようたへよ

二 けふよみがへり　サタナにかちし
みてのみわざを　あがめたゝへよ

三 ちゝよりいでて　われらをてらす
よのひかりなる　みこ（聖子）をたゝへよ

四 みたまのつゆを　あめ（天）よりくだし
たみをうるはす　かみをたゝへよ

五 あまつみくにの　つかひとゝもに
ちゝこみたまを　ほめよたゝへよ

19　第十九

S. ANGELO.　75757575

There remaineth a rest.

然れば安息は神の民に遺れり　來四〇九

一　よのいやはじめ（世）
むゆかのうちに
つくりをはりて
やすみのひとし（安息日）
わがかみは
あめつちを
なぬかめを
いはひけり

二　えらびをうけし
あめつちの主の
おぼえいとひて
きよきひとして
くにびとは
みしわざを
なぬかめを
やすみけり

三　よびとのすくひ（世人）
サタナにかてる
よみがへりにし
みたみはけふを（神民）
なしとげて
耶蘇きみの
ひをまもり（日）
いはふなり

四　つねのしわざを
みまへにつどひ
いのりをさゝげ
またきやすみを（全安息）
けふはやめ
たゝへごと（讃美）
のちにくる
まちのぞむ

This is the day of light.

我らは汝の光によりて光をみん　詩三六〇九

一 けふはひかりを　たまひしひなり
こゝろのやみに　てりいでたまへ

二 けふそいこひを　うくべきひなり
つかれしこゝろ　やすませたまへ

三 けふはやそきを　たまはるひなり
つみのなみかぜ　たひらげたまへ

四 けふはたのしき　いのりのひなり
あふぐみたみに（仰望）　ちかづきたまへ

五 けふは主耶蘇の　よみ（幽冥）にかてるひ（日）
いかそみたまを　われらにたまへ

主日禮拜 (讚十八) 二十

21* 第二十四 GUIDE. 777777

Safely through another week.

是れらは此日によろこび樂まん

詩百十八〇二四

一 なぬかのたびぢ　やすけくすぎて
みまへにつどひ　かしこみあふぐ
けふこそあめの　やすみのしるし

二 あがなひぬしに　よりていのれば
みいつくしみの　みかほをむけて
つみとがゆるし　やすき(平安)をたまへ

三 きよきこのひ(日)に　みこゑきかせて
さまよふものを　みちびきかへし
したがふたみを　なぐさめたまへ

四 たかきめぐみを　うたふわれらと
ともにいまして　さかえをしめし
あまつうたげ(宴)に　あづからせてよ

降臨節

24 第二十四

BRADBURY. 87878787 (CHO.)

Oh! the happy time is coming.

人々みな神のすくひを見ることを得ん路三〇六

一 げにさいはひなる　すくひのこゑは
あめにもつちにも　なりとゞろけり
うみやまこぞりて　こゑうちあはせ
うたひてたのしむ　ときこそきつれ

（反折）あさひのごとく　かゞやきのぼる
耶蘇きみのひかりを　もろびとおふげ

二 たゞかひはやみぬ　すくひの旗はたの
もとにとくゆきて　ゑづかにいこへ
あたのなやみなき　めぐみのかげに
よりてやすむべき　ときこそきつれ

（反折）

三 聖書みふみのちかひは　變かはりなければ
そのひのきたるを　たのしみまてり
やみにすむたみも　きみのひかりを
よろこびみるべき　ときこそきつれ

（反折）

23 * 第二百二十三

GOTHA. 8787

O day of rest and gladness.

これ主の設けたまへる日なり　詩百十八〇廿四

一 すくひのひかりの　かゞやくけふは
なやみいやされて（愈）　なぐさめみてり

二 あらきなみかぜの　うみぢ（海路）をのがれ
こゝろたひらかに　やすらふみなと（港）

三 あれのにくるしむ　よのたびびとの
かはきをうるほす　すゞしきいづみ

四 いつくしみふかき　主のみちかひの
みくよみえわたる　たのしきピスガ

五 たかきもひくきも　みたみはなべて
けふこそたゝふれ　ちゝこみたまを

一 よろこばしき
つのぶえ（角笛）もて
よろづのくにびと
きたれるをしれと
こゑひゞかせ
ふれしめせよ
よろこびのとし（禧年）の

二 いとたふとき
耶蘇はまたき
つかれしたましひ
やすみにいれかし
さいしのをさ（祭司長）
あがなひせり
なげきをわすれて

三 よびとのつみ
そなへもの（供物）と
そのち（血）のいさをを
とくのべつたへよ
おふこひつじ（負羔）
なりたまへり
よろづくにびとに

四 よろこばしき
あがなはれし
よろこびいさみて
いそぎたちかへれ
としきたれり
つみびとらよ
おのがふるさとへ

降臨節　禧の年を告ぐ

25* 第二十五　ANTIOCH. WINCHESTER OLD.　8686 (C.M.)

Joy to the world! The Lord is come.

主の聖名によりて來るものは幸福なり　詩百十八〇廿六

一 たみみなよろこべ　主はきませり
こゝろをひらきて　むかへまつれ（迎）

二 みめぐみのひかり　よにあまねし（世）
うみやまゑまじく　いざうたへよ

三 のろはれしちにも（地）　いばらはえず（生）
さいはひあれよと　いはひませり

四 たゞしきさばきを　よにおこなふ（世）
そゞ主のみむねに　みなゑたがへ

26 第二十六　LENOX.　666688

Blow ye the trumpet, blow.

主の禧しき年をのべ播めん　路四〇十九

一
あさひはのぼりて　よをてらせり
くらきにすむひと（暗黒）　きたりあふげ
ちゑにとみたる主（智慧）　よにいでたり
おろかなるひとは　きたりまなべ

二
ちからにみつる主　よにのぞめり
かよわきひとびと　きたりたのめ
やすきをたまふ主（平安）　よにくだれり
くるしめるひとは　きたりうけよ

三
なぐさめたまふ主　よにあれます（生）
うれひあるひとは　きたりつげよ
いのちをたまふ主　よにきたれり
つみにしにしひと（死）　きたりいきよ

四
すくひをたまふ主　よにうまれぬ
たかきもひくきも　きたりいはへ
あめつちしらす主（治）　よにあらはる
よろづのものみな　どよみうたへ（響動）

27 第二十七

主は我に膏を注ぎて貧しき者に福音を宣傳ふることを委ぬ　賽六一〇一

Hark, the glad sound! The Saviour comes.　ELLETON.　8787

一 よろこびよろこべ　かみのちかひし
よのすくひぬしは　あらはれましぬ

二 かたきくろがねの　とざし(鎖)はひらけ
あしがせくだけて　とりてはいでぬ

三 こゝろのふかで(深疵)に　あぶらをそゝぎ
ながるゝち(血)をとめ　いたみをいやす

四 いとひすてらるゝ　まづしきものに
めぐみのたからを　ゆたかにたまふ

五 へいわ(平和)のきみ耶蘇　いまあらはれて
よろこびのとしを　よ(世)にのべひろむ

28* 第二十八

WONDROUS LOVE.　8686886 (D.C.M.)

He cometh to bless the world.

來るべき者　太十一〇三

STELLA.　888888

O come! O come! Emmanuel.

贖者シオンに來りたまはん　贊五九〇二十

一 あゝイマヌエルよ　とく(速)あらはれませ
みたみ(神民)はさすらひ　とらはれ(囚)くるしむ
(折反) イマヌエルきます　みたみよよろこべ

二 いでよエセのすゑ　みたみをたすけて
サタナをほろぼし　よみ(幽冥)にかたしめよ
(折反)

三 あさひ(旭)よのぼりて　し(死)のかげ(蔭)をてらせ
やみのくろくもを　ことごと(悉)ちらし(散)て
(折反)

四 いのちとし(死)のかぎ(鑰)　みて(御手)にもつ(持)きみよ
あめのかど(門)ひらき　なやみのと(戸)とざせ
(折反)

降臨節　イマヌエル來る

29 第二十九

HELMSLEY, 878787

Jesus came, the heavens adoring.

我れ汝らを棄て孤兒とせず再び汝らに來らん　約十四〇十八

一 耶蘇きみきたりて　あめ（天）のやすき（平安）を
あまねくあたへて　よをあがなへり
ハレルヤ、ハレルヤ　みつかひ（天使）のうた

二 耶蘇きみきたりて　あたをしりぞけ
なやみよりすくひ　なぐさめたまふ
ハレルヤ、ハレルヤ　このよ（世）のひかり

三 耶蘇きみきたりて　みたみのたま（靈魂）を
むかへてみその（天園）に　みちびきたまふ
ハレルヤ、ハレルヤ　みえぬよ（世）のさち（福）

四 耶蘇きみきたりて　よろづのたみを
なほきさばきもて　すべしろしめさん（統治）
ハレルヤ、ハレルヤ　のちのよのさち

みかほをあふぎて
うちあかさまし
みもとにつどひ
はむるたゝへ（稱辭）は

三
きみきたりたまふ
みつくゑのまへに
おもひいでつゝ
いともゑたしく
みくにのさちを

四
きみきたりたまふ
そのひ（日）をもとはず
たのみていてふ
かみのさだめの
のぞみをかため

五
きみきたりたまふ
さゝふる（支）あた（仇）なく
とき（時）ちかづきぬ
よのひとすべて
ほまれ（稱讚）さかえ（光榮）を

降臨節　再臨を待望む

こゝろのひめごと（秘事）
みいつくしみを
うるはしきかな
そのあかゑして
きみのいつくしみ

きみとまじはり
いまあぢ（味）はひぬ
これらはまちて
みちかひのまこと（眞實）

ときはるけく（遙）も
たのしみてまたん
あめ（天）のしたには
すべをさめたまふ
みな（御名）をうやまひ
きみにぞさゝげん

31 第三十一　PALMS OF GLORY.　7777

He cometh to judge the earth.

主は統べ治めたまふ全地は樂むべし　詩九七〇一

一 さばき(審判)のきみは　ちかづきたまふ
うみやまどよみ　あめつちうたへ
二 きみのさばきは　たゞしくなほし
そのまつりごと　めぐみにみてり
三 よのひとともに　こゝろうちはせ
たゝへうたへよ　ちかづくきみを

BEVERLEY.　878877777.

Thou art coming, O my Saviour.

アーメン主耶蘇よ來りたまへ　默廿二〇二十

一 きみきたりたまふ　さかえ(光榮)のとみ(富)を
われらにあらはす　そのよろこびこそ
いとたのしけれ
さいし(祭司)のをさは　みや(宮)をたちいで
すそ(裾)のすゞ(鈴)のね　いまぞきこゆる
二 きみきたりたまふ　ぞれらはむかへ

くらきのこ(子)は
ひかりのこ(子)は

二 みこと(語)のりに
かど(門)をまもり
きみ(君)のかへる
しもべのごと

三 いへ(家)づかさ(宰)の
はた(畑)にいでゝ
なすべきわざ(業)
むくいおほし

四 あた(仇)のおそひ(襲)
いとあやふし
かみ(神)ちからを
かち(勝)をうべし

五 みつかひ(天使)らと
かみのみ(御)な(名)を
ちゝ(天父)のたまふ
のぞむたみ(民)よ

なほねぶるとも
めをさませ
したがひて
そなへせよ

ひ(日)をまちのぞむ
そなへせよ
こゑをきゝ
いそしめよ

つねにそなはる
いそしめよ
つみのわな(罠)
いのりせよ

そへたまひなば
いのりせよ
もろともに
ほめうたへ

みくに(天國)のさちを
ほめうたへ

33 第三十三

MERTON. 8787

Hark! a thrilling voice is sounding.

我かならず速に到らん　默廿二〇二十

一 きけひかりのこ(子)よ　よぶこゑきこゆ
主ちかづきませり　ねぶりさませと

二 よのまどひをいで　め(目)をさましみ(親)よ
すくひのあさひ(旭)は　かゞやきのぼる

三 くらきわざをすて　ゆるしをもとめ
ひかりのころも(衣)を　つけてむかへよ

四 よびと(世人)のおそるゝ　さばきのぬしは
あい(愛)のことばもて　みたみをあつめん

五 とこしへのさかえ(光榮)　みいづ(稜威)とちから
ちゝみこみたまに　とは(永遠)にあれかし

34 第三十四

VIGIL. 65656765

Hark! 'tis the watchman's cry.

今は眠よりさむべき時なり　羅十三〇十一

一 やみ(闇)はきえて　ひ(日)はちかし
わが主きまさん　めをさませ

その來る日には誰か堪得んや

馬三〇二

一　よのをはりきたり　よのさばきぬし
さかえ(光榮)をまとひて　くも(雲)にあらはれ
みつかひのこゑに　よゝ(歴世)のえにしひと
みまへにつどふ

二　主にありてねぶる　みたみはさきに
はか(墓)よりおきいで　くも(雲)にあげられ
おそるゝことなく　よろこびにみちて
みまへにつどふ

三　すくひのめぐみを　なみ(蔑)せしひとは
のがるゝみちなく　くい(悔)はたおそく
みいかりにたへず　そのゝきなげきて
みまへにつどふ

四　主よめぐみをたれ　こゝろみ(誘惑)のよ(世)に
みことばのまゝを　まめ(忠實)にまもらせ
かのひ(日)におそれで　つどはしめたまへ
みくら(御座)のみぎに

35* 第三十五

S. THOMAS.　878787

Lo! He comes with clouds descending.

視よかれは雲に乗りて來る　　默一〇七

一 みよくもにのりて　あがなひぬしは
ちよろづのつかひ　ひきゐきたまふ
ハレルヤ、ハレルヤ　みよ（御世）しろしめさん

二 まことのメシヤの　みいづあらはれ
あざけりきずつけ　ころしゝものは
をのゝきをのゝき　なげきかなしむ

三 すくひをえしもの　かゞやくきみの
あがなふしるしの　きずのみあと（御痕）を
よろこびよろこび　みつゝかしこ（見畏）む

四 あらたにあめつち　あらはれきたり
みよ（御世）をしろしめす　みざ（寶座）さだまりぬ
ハレルヤ、ハレルヤ　主よとくきませ

36 第三十六

LUTHER.　8787887.

Great God, what do I see and hear.

かどをひらきし　耶蘇きこしめせ

二　し（死）をあぢはひて
ひとにあたふる
し（死）にかつちから
耶蘇きこしめせ

三　みくらのまへに
つみとがたゞす（糺）
よびと（世人）をつどへ
耶蘇きこしめせ

四　よみ（幽冥）にうちかち
まぬかれしめし
かぎりなきし（死）を
耶蘇きこしめせ

五　つみびとをめで（愛）
さち（幸）をそなへし
あまつすくひの
耶蘇きこしめせ

（死）一たび死ることは人に定れることなり　來九〇廿七

六　うきよのたびぢ
し（死）にちかづけり
たどりすゝみて
すくはせたまへ

七　くらきし（死）のかげ（陰）
つみとがゆるし
おほはぬさきに
すくはせたまへ

八　みいつくしみを
あたをさらしめ
つねにおもはせ
すくはせたまへ

九　し（死）にかちしきみ
やみぢをてらし
みひかりをもて
すくはせたまへ

37 第三十七　NARENZA.　6686 (S.M.)

Ye servants of the Lord.

その主人の來ん時かくの如く勤るを見らるる僕は幸なり　路十二〇四三

一　耶蘇のしもべ　みことのり（神詔）に
　　よろこびしたがひ　かど（門）をまもれ

二　主のみまへに　つかふるごと
　　ともしびともして　おび（帯）をしめよ

三　おもはぬとき　主のきますを
　　まちのぞむごとく　め（目）をさませよ

四　かく（斯）てあらば　主にあふとき
　　よろこびにあふれ　ほまれ（譽）をぞえん

五　あめ（天）なる主は　み（御）ふるまひ（饗）を
　　みづからまうけて　むかへたまはん

38 第三十八　ADVENT LITANY.　7777

Litany of the four last things.

汝ら神の日の來るをまつべし、　彼後三〇十一

四果の歌

一　しぬべきひとに　つきぬいのちの

十六　かみ(神)をはなれし　ひと(人)つかひ(天使)の
おそろしきし(死)を　のがれしめてよ
十七　よびときほ(競)ひて　ほろびにいたる
ひろきみちより　のがれしめてよ

（永遠の生命）義者は究なき生命に入るべし
太二五〇四六

十八　みたみさかえて　つみとなやみを
はなるゝその(園)に　みちびきたまへ
十九　つかれしものと　とら(囚)はれびと(人)の
いこふやすみ(安息)に　みちびきたまへ
二十　みつかひのごと　きよきつとめを
たのしむくに(國)に　みちびきたまへ
廿一　したしきものと　ともにみ(御)かみ(神)に
まみゆるさちに　みちびきたまへ

（審判）死てのち審判をうくるは人に定れることなり　來九〇二七

十　みさばきのひ（日）の　おほせかしこみ
みまへにたゝば　あはれみたまへ

十一　かみのいかりを　よびとさけえ（避得）で
をのゝくときに　あはれみたまへ

十二　みたみとゝもに　いのちのふみに
わがな（名）をゑるし　あはれみたまへ

十三　みぎ（右）にたゝしめ　ちゝ（天父）のそなへし
よろこびにいれ　あはれみたまへ

（永遠の死）是らの者は究なき刑罰に入るべし　太二五〇四六

十四　そと（外）のくらきに　おひいだされし
たま（靈）のうれひを　のがれしめてよ

十五　なが（永）きほろびの　たえざるうじ（蛆）を
きえぬほのほ（燄）を　のがれしめてよ

耶蘇をおほきみと　たゝへあがめ
あまねくよのたみ　たかくうたはん

40 第四十番

万民にかゝはりたる大なる喜びの音信　路二〇十

While shepherds watched their flocks by night.

STUTTGART.　878787

一
ひつじをかふもの　よはのまきのに
みそらのかゞやき　みてをのゝけり
みつかひあらはれ　おそれをしづめ
よろづくにびとの　さきはひをつぐ

二
ダビデのむらにて　ダビデのすゑの
みすくひぬしなる　キリストうまれぬ
まぶねのうちなる　ぬのゝみどりで
たづねてゑれかし　それをゑるしに

三
たちまちみつかひ　そらにあらはれ
こゑうちあはせて　たゝへうたへり
かみにはみさかえ　ちにはおだやか
ひとにはみめぐみ　とこしへにあれ

39* 第三十九　CAROL.　8686886 (D.C.M.)

It came upon the midnight clear.

天軍あらはれ天使と共に神を讃美せり　路二〇十三

一
ひとにはみめぐみ
かみにはみさかえ
あまつつかひらの
しづかにふけゆく
ち(地)にはやすき
あれとうたふ
きよきこゑは
よ(夜)にひゞけり

二
いまなほみつかひ
つかれしてのよを
かなしむみやこに
なぐさめあたふる
つばさをのべ
おほひまもり
なやむひな(鄙)に
うたをうたふ

三
おもにをおひつゝ
ゆきなやむひとよ
よろこばしきひ(日)を
いとたのしきこゑ
よのたびぢに
かしらをあげ
うたふうたの
きゝていこへ

四
みつかひのうたふ
よゝのひじりらの
やすき(平安)きたり
まちしくによ

けふうまれ　よ(世)にあらはれぬ
きたりてをがめ　キリストぞ

42 第四十二

Angels from the realms of glory.　MANN.　878787.

我ら彼を拜せんとて來れり　太二〇二

一 よのはじ(創)まり(始)をば　いはひたゝへし
あめのみつかひよ　けふあ(生)れませる
よのすくひぬしを　きたりてをがめ

二 よすがら(終夜)ひつじを　まもるしづ(賤)のを(夫)を
うまやにつどひて　よびと(世人)ゝともに
やどるみかみ(御神)をば　きたりてをがめ

三 みそら(天空)のしるしを　さとるはかせ(博士)よ
よのひとののぞむ　きみ(君)をしめせる
ほし(星)にみちびかれ　きたりてをがめ

四 のぞみつおそれつ　かみのちかひを
たの(頼)みまつ(待)たみよ　わがなひぬしの
いまあらはれしを　きたりてをがめ

41 第四十一　ADESTE FIDELES.　5775775

O come, all ye faithful.

いざベツレヘムに行くべし　路二〇十五

一
みつかひ（天使）の
よ（世）にあれませり
うたひつゝ
きたりてをがめ
主なるおほきみ
わがとも（侶）よ
ダビデのむらに
キリストぞ

二
ゑづのめ（賤女）の
いとはでやどる
ひかりより
きたりてをがめ
いやしかるをも
かみのみこ
いでしひかりを
キリストぞ

三
いとたかき
みさかえ（光榮）あれと
こゑあげて
きたりてをがめ
あめ（天）なるかみに
ほめたゝへ
みつかひうたふ
キリストぞ

四
うちつどひ
かみのみことば
このひ（日）をいはへ
ひと（人）ゝなり

三
のゝきつね　そらのとり
すみかはあれど
かみのこは　まくらする
ところだになし

（折反）

四
いのちをば　よのひとに
わたへたまへど
おのがみは　すてられて
きにあげられぬ

（折反）

五
みつかひを　えたがへて
きまさむときに
われをめし　みすまひに
やどらしめてよ

（反折）

ひがきみとともに
とはにすまゝし

43　第四十三

MARGARET.　557557 (CHO.)

Thou didst leave Thy Throne.

猶太人の王とて生れたまへるものはいづく
に在ますか　太二〇二

一　かみのみて（聖子）　みさかえと
みくら（御座）をはなれ
むらざとに　あもり（天降）まし
すまひ（住居）なかりき

（反折）　きみわがこゝろに
やどらせたまへ

二　みそらにて　たゝへごと（称辞）
たえずうくれど
いとひくき（卑）　すがたにて
よ（世）にあらはれぬ

（折　反）

Unto us a Child is born.

獨の嬰兒われらの爲に生れたり

賛九〇六

一 ダビデのすゑの　ふたりはともに
そのふるさとの　ユダヤのむらに
とき（時）のみつるを　よろこびまてり

二 ときこそみつれ　ひとりのみこ（御子）を
よ（世）にたまはりて　みまつりごと（政治）を
かたにおはせて　よきな（佳名）をさづく

三 そのな（名）にたぐふ（比）　よきなはあらじ
いとつよきかみ　とこしへのちゝ
へいわ（平和）のきみと　となへたまへり

四 これぞよびとの　すくひぬしなる
われらとゝもに　すみたまふかみ
そのな（名）は耶蘇と　しめしたまへり

五 きみはダビデの　みくら（御座）にのぼり
なほきさばきを　あまねくしきて
そのまつりごと　かぎりあらじな

（此歌は受割禮日にも適す）

降誕日　聖子生れ給ふ

44* 第四十四

MENDELSSOHN.　77777777

Hark! the herald angels sing.

いと高き所には榮光神にあれ　路二〇・十四

一
かみ（神）にはさかえ（光榮）　ちにはおだやか（地）
ひと（人）にはめぐみ　あれとうたへる
みつかひ（天使）たちの　たゝへのうたを
きゝてもろびと　ともによろこび
いまあれ（生）ましゝ　きみをたゝへよ

二
さだめたまひし　すくひのときに
かみ（神）のみくらを　はなれてくだり
いやしきしづ（賤）の　をとめにやどり
よびと（世人）のなかに　すむ（住）べきために
いまあれましゝ　きみをたゝへよ

三
あさひのごとく　かゞやきのぼり
みひかりをもて　くらきをてらし
つち（地）よりいでし　ひと（人）をいかし（活）め
つきぬいのちを　あたふるために
いまあれましゝ　きみをたゝへよ

我らがすべての年の盡くるは一息のごとし　詩九十〇九

一　ひま（隙）ゆくこま（駒）の　とし（年）またすぎて　とは（永遠）のむかしに
あしはやく　このとしも　いりぬべし

二　うつりゆくよも　かみのまもりの　ことなくすごせ
かはりなき　あればこそ　ひとゞせを

三　わざははたさず　くい（悔）のみつもる　なほあはれみて
としはすぎ　よはひ（齢）をも　めぐみませ

四　こゝろもともに　とし（年）きたりなば　みちにいよ〳〵
あらたまの　みすくひの　すゝませよ

五　はかなきよはひ　よみぢ（冥路）にうつる　とはのひかりに
くれゆきて　とききなば　むかへてよ

除夜　歳晩の祈求

46 第四百六　CONSECRATION.　7777

Thy mercy, Lord, another year.

主これまで我らを助けたまへり　母前七〇十二

一 ひとゝせたえず　まもりしかみの
ふかきめぐみを　たゝへ(稱美)てうたふ

二 つねなきこのよ　まがさち(禍福)ともに
みて(御手)にまもられ　やすらにすぎぬ

三 みてよりうくる　ひごとのかてに
みをもたまをも　やしなはれきぬ

四 めぐみのうちに　やすくむかふる
としをいはひて　みちびきたまへ

五 むかしもいまも　のちのよまでも
かはらぬかみに　みさかえあれな

47 第四百七　BETHLEHEM (2.)　757575

Our days are but a shadow.

49* 第四十九　LOUVAN.　8888 (L.M.)

Great God, we sing Thy mighty Hand.

なんぢ恩恵を以て年の冕となせり　詩六五〇十一

一　すべしらすかみよ　とはにまもります
みて(聖手)のおほみわざ　われらほめたゝふ

二　あたらしきとしは　主のあい(愛)をしめす
めぐみはたえせじ　としのをはるまで

三　いへにもたびにも　よるひるわかたず
みめぐみをうけて　このとしをすごさん

四　われらのゆくさき　くらきやみなれど
みちびくひかりに　み(身)をやすくゆだねん

五　まが(禍)さち(幸)よし(善)あし(悪)　つねにゆきかへど
主はわがよろこび　またやすみどころ

六　主のあい(愛)はたえず　のぞみをあたへて
おとろへさかえに　たゞ主をほめしむ

新年 神の助を求む（讃 三五八） 五十

48* 第四十八 S. MARTIN's. 8686 (C.M.)

The year is gone beyond recall.

主よわれらの神よわれらを助けたまへわれらは主に依頼む　代下十四〇十一

一 ゑ(笑)まひもなみだも　いまはさりて
たのしきかなしき　としはくれぬ

二 くれゆきしとしの　ふかきめぐみ
みたみはよろこび　たゝへうたふ

三 あたらしきとしを　むかふるけさ
へいわ(平和)とさきはひ　あたへたまへ

四 わがくにのたみの　つみをゆるし
あく(悪)のいきほひに　かたせたまへ

五 こぞ(去年)のけがれより　きよめわかち
けふよりみむねを　なさせたまへ

六 ちゝのみまもりの　うちにありて
みつかひとゝもに　よゝたゝへなん

51 第五十四　DISMISSION.　8888 (L.M.)

Oh! blessed day when first was poured.

彼は律法の下に服したり　加四〇四

一 けふ(今日)すくひぬしは　みに(身)ち(血)をながして
よびと(世人)をあがなふ　なやみをぞはじむ

二 すべしらす(統治)きみは　おきて(律法)にてとぐ
したがふしもべの　しるしをみ(身)にうく

三 けふイマヌエルは　みつかひのつげし
またなきな(名)をうけ　耶蘇となへらる

四 われらも主耶蘇と　ともにみ(身)もたま(靈)も
さゝげてみのり(御教)に　したがはせたまへ

50　第五十番

For Thy Mercy and Thy Grace.　CULBACH.　277

主は汝の出ると入るとを守り給はん　詩百廿一〇八

一　いまあたらしき　としのはじめに
みな（聖名）をたゝへて　いのりをさゝぐ

二　すぐるひとゝせ　そのをり〱に
かなふ（適合）めぐみを　たえずたまへり

三　むかへしとしを　いはひめぐみて
やすらにまもり　さきはひたまへ

四　わがくにびとの　つみをゆるして
きよきひかりを　あふ（仰）がせたまへ

五　みたみ（神民）のこゝろ　あらたにつくり
そのみ（身）をきよめ　そなへ（供）しめてよ

六　よ（世）にあるつきひ　つねにかぞへて
とはのいのちに　すゝませたまへ

そのほめうた(讃歌)を　うたはせたまへ

53 讃美歌三

CRUGER.　7676 7676

Hail to the Lord's Anointed.

諸の國は彼を幸福なる者と稱へん　詩七二〇十七

一
ちゝ(天父)のさだめし　ときさたりて
つみとが(罪咎)ゆるし　なはめ(縲絏)をとき
みよ(御世)をたゞしく　をさめ(治)たまふ
おほきみ耶蘇を　ほめたゝへよ

二
みまつりごと(御政)に　ち(地)はうるほひ
よろこびのはな(花)　さきにほひて
へいわ(平和)のながれ(流)　すくひのみづ(水)
あふるゝばかり　よ(世)にあまねし

三
もろもろのきみ(王侯)　みまへにふし
たからこがねを　みつぎ(貢)となし
よびと(世人)いのりを　ひごと(日毎)さゝぐ
わが主のみよぞ　とこしへなる

52 第五十二　DIX.　777777

As with gladness men of old.

彼らこの星を見て甚く喜べり　太二〇十

一 ほし(星)をゑるべに　はかせ(博士)がとほく
きたりて耶蘇に　まみえしごとく
いま(今)われらをも　みちびきたまへ

二 いとよろこびて　あまつぬし(天主)なる
みこ(聖子)をみとこ(御床)に　をがみしごとく
いまわれらをも　ちかづかしめよ

三 みつのたからを　をしまずさゝげ
ゐやしろ(禮物)として　そなへ(供)しごとく
わがものみな(一切)を　さゝげしめてよ

四 けはしきみちも　いとはであゆみ
よをさるのちは　ほしのしるべを
たよらぬくに(國)よ　いたらせたまへ

五 あまつみくにを　てらすひかりは
ひつき(日月)にあらず　みすくひぬしぞ

よにあらはるゝ　かみをたゝへよ

五 みてのすがたを　みふみ(聖書)にみとめ
きよきみあと(御跡)を　ふみならひつゝ
みたみ(神民)とともに　みさかえうたはん
よにあらはるゝ　かみをたゝへよ

55* 第五十五　WARRINGTON.　8888 (L.M.)

Jesus shall reign where'er the sun.

我なんぢの座位をたてゝ代々に及ばしめん　詩八九〇四

一 ひ(日)のてるかぎりは　主のみくにとなり
しろしめすみよ(御代)は　とこしへにさかえん

二 おほみな(聖名)により(賴)て　さゝぐるいのりは
たきもの(薫香)のごとく　かをりてそのぼらん

三 もろびとは耶蘇に　ほめうた(讃歌)をうたひ
をさなごもともに　みなをよびたゝ(稱)へん

四 とりて(俘囚)はゆるされ　まづしき(貧者)はとみて
めぐみのたまもの　あまねくぞくだらん

五 よろづのものみな　己が主をあがめて
みつかひ(天使)のうたを　よもにひゞかせよ

54 第五十四　GOSS IN G.　77777777

Songs of thankfulness and praise.

神肉體となりて現はれ給へり　提前三〇十六

一
はかせ(博士)らほし(星)に
ダビデのむらに
そのすゑのこ(末裔)を
よ(世)にあらはれし
みちびかれつゝ
はるばるきたり
きみ(君)とあがめぬ
かみをたゝへよ

二
ヨルダンがはに
ちゝ(天父)のみこゑを
みつ(三)のつとめ(職)に
よにあらはれし
みたま(聖靈)のそゝぎ(灌)
あめ(天)よりうけて
のぼりたまひき
かみをたゝへよ

三
カナのいはひに
よもをへめぐり
かなしむものを
よにあらはれし
しるし(奇跡)をはじめ
やまひをいやし
よろこばしめぬ
かみをたゝへよ

四
よのすゑき(來)なば
みこ(聖子)のしるしは
そのみさばき(審判)を
ひつき(日月)はくらく
そら(空)にきらめき
もろびとおそれん

その政治は海より海に到り河より地のはて
に及ぶべし

詩七二〇八

一 （北）きたのはるけき
とがきみ耶蘇の
まおかくきこゆ

二 （南）みなみのとはき
なみかせしづめ
みちをそなへて

三 （東）ひがしのくによ
いまこそのぼれ
ねぶりをさまし

四 （西）にしのはてなる
（幽冥）ゑにてよみより
主こそをさむれ

五 （四方）よもよりかみの
むらがりつどふ
すくひのうたを

（山谷岡）やまたにをかよ
（凱歌）かちうたのこゑ
よろこびうたへ

（島浦回）しまもうらとも
（御政）みまつりごとの
よろこびうたへ

きみのみひかり
ながきやみよの
よろこびうたへ

（日）ひのいるくにも
かへりきませる
よろこびうたへ

（都）みやこをさして
よろづのたみよ
よろこびうたへ

56 第五十六

SALZBURG.　777777

One flock and one Shepherd.

遂に一の群一の牧者となるべし　約十〇十六

一　ちゝ（天父）のさだめし　みすくひぬしよ
よのひと〴〵の　つみとよわきを
あはれみたすけ　すくひをたまへ

二　ヤコブのいへを　しろしめす主よ
ほろびちりたる　たみをあはれみ
むかしのさち（幸福）に　かへらしめてよ

三　ことくにびとを　てらすひかりよ
やみにまよへる　たみをみちびき
みもとにまねき　やすからしめよ

四　ヤコブのいへも　ことくにびと（異邦人）も
ともにひとつの　みたみ（神民）となして
あまつみくにの　さかえ（光榮）をたま（賜）へ

57 第五十七

WORDSWORTH.　777777

Hills of the North, rejoice.

BENEDICT. 7777

Christian, seek not yet repose.

目を醒しかつ祈れ

太廿六〇四一

一 あた(仇)のかこめる　つねにたゆまで
耶蘇のつはもの　めさまし(警醒)いのれ

二 あたのをさ(賊長)ども　ひまをうかゞふ
いくさ(軍兵)をあつめ　めさましいのれ

三 あたおし(押)せま(迫)る　あけくれぬがで
かみ(神)のよろひ(鎧)を　めさましいのれ

四 かちしむかしの　はげましよばふ
つはものたちは　めさましいのれ

五 うやまひゑたふ　こゝろにとめて
きみのことば(訓戒)を　めさましいのれ

六 はげみたゝかひ　かみのたすけを
つねにめさまし　ひたすらいのれ

大齋　目さまし祈れ

58　第五十八

Forty days and forty nights.　HEINLEIN.　7777

かれ四十日野にありてサタンに試られたり　可一〇十三

一 よそか(四十日)ふるまで　かて(糧)をもたち(断)て
わた(仇)のてだて(課畧)に　わがきみかてり

二 そのたゝかひの　ためし(例)にならひ
耶蘇をほめつゝ　あたにうちかて

三 わがみ(身)のねがひ　このよのとみも
ほこり(誇)もすてゝ　かみにまつろ(服)へ

四 かみ(神)のをしへの　みたまのつるぎ
ふりかざしつゝ　すゝみたゝかへ

五 かちぬし耶蘇よ　ちからをそへて
せめくるあたに　かたしめたまへ

Lord, in this Thy mercy's day.

今は恩恵の時なり救の日なり　哥後六〇二

一 めぐみのときの　すぎさらぬまに
ひれふしいのる

二 つみをかなしみ　あしき(悪)をすつる
こゝろをたまへ

三 みかど(御門)とざゝで　ねがふわれらに
みたまをそゝげ

四 みすくひのひ(日)を　なみするこゝろ
なからしめてよ

五 よすがら(終夜)なやみ　し(死)のさかづき(杯)を
いとはぬきみよ

六 われをあはれみ　あい(愛)のつばさを
のべておほひね

60 第六十

EDENGROVE.　767676

O Jesu, Thou art standing.

視よわれ戸の外に立て叩く　默三〇二十

一
耶蘇はと(戸)ぢたる　か(門)どにたちて
とをたゝきつゝ　ひらくをまつ
などかみ(御)こゑ(聲)を　きゝてなほも
こゝろにむかへ　いれまつらぬ

二
いばらをかむり　きず(疵)のて(手)にて
なみだながらに　たゝきたまふ
などかいなみて　いつくしみを
な(蔑)みしてつみを　いやかさぬる

三
われはな(汝)がため　こゝろされしに
などかこばむと　のたまはせり
とくと(戸)をひらき　むかへいれて
ながくこゝろに　とゞめまつれ

63 第六十三

S. MARY. 8686(C.M.)
NAOMI.

Many are the sins of my life.

わが罪の多きこと我が首の髮にもまされり　詩四十〇十二

一　うまれしときより　こゝろくらく
つみあやまちのみ　いやましゆく

二　あけくれひごとに　やむときなく
くちにもわざにも　つみををかす

三　このみ（身）につもれる　つみのちりを
いづれのときにか　はらひつくさん

四　耶蘇のみなにより　ちゝのかみよ
われをあはれみて　すくひたまへ

五　きよきみたまをば　われにそゝぎ
けがれしこゝろを　きよめたまへ

62 第六十二

S. SACRAMENT.　7777

Have mercy on me, a sinner.

わが罪は常に我が前にあり　詩五一〇三

一 ふかきめぐみ(恵)の　あまつみちち(御父)よ
　つみあるわれを　あはれみたまへ

二 めぐみをわすれ　おきてにそむき
　まさみち(正道)はなれ　つみををかしぬ

三 なすべきよき(善)は　おこたりなさで
　すまじきあしき(悪)　ひごと(日毎)になせり

四 はせゆくつきひ(月日)　あだ(徒)にすごして
　つみ(罪)のちり(塵)のみ　いやましつもる

五 なべて(総)のつみを　あがなふきみに
　たよるこのみを　あはれみたまへ

Hear my prayer, O Lord.

主よわが懇求に耳を傾けたまへ　詩百四三〇一

一
かみよあはれみて　せちなるいのりに（切）
みゝをかたぶけて　きこしめしたまへ

二
ひさしきひでりに（旱）　あめをまつごとく（雨）
みそらをあふぎて（天空）　こひ𛁈たひまつる

三
みめぐみのあめを　ゆたかにそゝぎて
おとろふるわれに　ちからをえさせよ

四
みかほのひかりを　わがたまにてらし（靈）
あゆむべきみちを　つばらに𛁈たまへ（著明）

五
あたをほろぼして（仇）　なやみよりすくひ
よりたのむわれを（依頼）　とくいかしたまへ

64 第六十四　FAIRFIELD.　6686686 (D.S.M.)

I have gone astray like a lost sheep.

我は失はれたる羊の如く迷ひ出ぬ汝の僕を尋ねたまへ　詩百十九〇百七十六

一 あはれわれは
ひつじのごとくに
ほろびのたに（谷）に
なやみくるしめり
まよひいづる
みちをはなれ
つみのふち（淵）に
すくひたまへ

二 わがけがれを
つかれたるたま（霊魂）を
なほきみちを
いこひのみぎは（汀）に
あらひきよめ
いかしつよめ
えめしをしへ
ともなひてよ

三 主のひつじの
わがこゑをしられ
みどりのの（野）に
あまつやしなひ（牧養）を
むれ（群）にいりて
みこゑをえり
まもられつゝ
とはにうけなん

七 主よあはれみて　みて（御手）とわき（脇）より
ながれしち（血）にて　いやしきよめよ

67 第六十七

ACTON.　6686 (S.M.)

この死の體より我を救はん者は誰ぞや　羅七〇二四

My soul cleaveth to the dust.

一 つみのおもに（重荷）　いかにすべき
こゝろのけがれを　いつかきよめん

二 おのれにかち（克）　十字架をおひ
ゆくべきせまきみち　あゆみなやむ

三 サタナのわな（罠）　よのいざなひ
み（身）のとが（咎）をさくる　ちからはなし

四 あはれみある　あまつかみよ
たゞより（依）たのむ（頼）は　みて（御手）のたすけ

五 みちから（御能力）もて　あたをくだし（降）
すくひのさきはひ　はやめたまへ

大齋　救を祈る

66 第六十六

When wounded sore the stricken heart.　CANTERBURY.　7777

主は心の碎けたる者を醫したまふ　詩百四七〇三

一 あた(仇)にうたれて
おへるいたで(痛傷)を
えぬるばかりに
たれかはいやす

二 つみのいたでの
ひと(人)のうらみに
きずをいやすは
さゝれしみて(御手)ぞ

三 かなしみおはく
おつるなみだを
なやみにみちて
たれかあはれむ

四 ひとにすてられ
なやみくだきし
よ(世)のつみおひて
みこゝろなるぞ

五 みいかり(神怒)をひき
つみのけがれを
わがみ(身)につもる
たれかはあらふ

六 つみをあらふは
さして(刺)ながしゝ
よのつみびとの
みこ(聖子)のち(血)なるぞ

69* 第六十九　NAPLETON.　85854585

Pass me not, O gentle Saviour.

主耶蘇よわれを憐みたまへ　路十七〇十三

一 耶蘇きみ耶蘇きみ　みすくひに
われをもらさで　いれたまへ
（反折）主よ主よ　きゝたまへ
くだけしこゝろの　ねぎごと（祈言）を

二 みまへにうちふし　わがくゆる
こゝろのなげきに　こたへませ
（折反）

三 きみのいさをにぞ　たゞたよらん
かよわきこのみを　たすけませ
（折反）

四 のぞみのもとなる　主のはかに
あめにもつちにも　すくひなし
（折反）

68 第六十八

BELMONT. 8686 (C.M.)

Have mercy on me, Lord.

ダビデの裔主よわれらを憐みたまへ　太二十〇三十

一 ダビデのすゑなる　わが主耶蘇よ
われをあはれみて　たすけたまへ

二 よび(呼)たのむこゑに　みあし(御足)をとめ
まづしきかたゐ(乞兒)を　めぐみたまへ

三 このみ(身)をみすぐし　よそになさで
みそばにまねきて　すくひたまへ

四 われはいぬ(犬)よりも　いやしけれど
みかて(御糧)のくづだに　あたへたまへ

五 サタナにせめられ　めしひ(盲)(目)となる
わがたましひをば　いやしたまへ

71 榮[illegible]

S. THEODULPH. 76767676

All glory, laud, and honour.

兒童ら宮にて呼はりいふダビデの子ホザナよ　太廿一〇十五

一　ユダのわらべの　ほめしきみに
ほまれとさかえ　よゝあれかし

二　たみ(民)はころもを　みち(途)にしきて
てえだ(樹枝)をかゝげ　むれしたがふ

(折反)
ユダのわらべの　ほめしきみに
ほまれとさかえ　よゝあれかし

三　し(死)のくるしみに　ちかづく主を
ホザナ、ホザナと　ほめたゝへぬ

(折　反)

四　かみ(神)のな(名)により　きたるきみは
ち(地)のはて(極)までも　しら(治)したまふ

(折　反)

70 第七十番　LANGTON.　6686 (S.M.)

Far from my heavenly home.

われ切に汝を尋ね求む　詩六三〇一

一
ちゝのくには　いともとほし
みちびくみたまを　われにたまへ

二
あなたはし　シオンのさとよ
わするゝときなく　あふぎのぞむ

三
いづれのひ（日）か　ゆきつくべき
いまなほあれの（荒野）に　なやみつかる

四
いのちのかみ　ともにまして
ゆきなやむわれを　みちびきてよ

受苦節　キリストの愛

一
きみはわれらを　すくふために
みやこのそとの　をか(岡)のへ(上)に
き(木)にあげられて　くるしみぬ

二
きみのいたみ(痛楚)の　ふかさをば
はかりえざれど　わがために
なやみましゝは　いちじるし(著明)

三
じふじかのち(血)の　みすくひに
みもたましひも　きよめられ
みくによすまふ　み(身)とぞなる

四
あまた(天)のつみを　あがなひて
あまつみやこ(都)の　と(戸)をひらき
きみこそわれを　いらしむれ

五
みいつくしみを　おもひつゝ
その(御)あがなひに　たゞたより
みあと(跡)をふみて　したがひなん

72 第七十二　GETHSEMANE (1).　777777

Go to dark Gethsemane.

日々その十字架を負ひて我にしたがへ　路九〇廿三

一 ともよサタナの　ちからをしらば
その(園)れこかげ(樹蔭)に　うれふるきみと
ともにめさまし　いのるをまなべ

二 ピラトのには(法廷)に　したがひゆきて
みさばき(審判)ぬし(主)の　さばかれたまふ
なやみをみつゝ　しのぶをまなべ

三 ゴルゴタやまに　またき(全)あがもの(贖物)
さゝげしきみの　こと(事)をは(畢)りぬと
の(宣)たまふ(給)をきゝ　そのし(死)をまなべ

73 第七十三　S. NICHOLAS.　757575

There is a green hill far away.

キリストは我らのなほ罪人なる時われらの為に死にたまへり　羅五〇八

五 みじかきこのよ（世） はかなきわがみ（身）
十字架のうへの きみがめぐみに
つきぬいのちを うるぞうれしき

75 舊百十五

ANON IN E♭. 757575

O Jesu, by Thy saving Grace.

耶蘇を望むべし 來十二〇二

一 耶蘇よすくひの ちからにて
十字架のうへの みかほをば
あふがせたまへ よもひるも

二 きみのさゝれし み（御）わ（脇）きより
わきいづるち（血）の いづみをば
えたはせたまへ よもひるも

三 われらのために ち（血）をながし
つみをこと（悉）ぐ（皆） あがなひし
主をこそつねに み（見）まつらめ（奉）

74* 第七十四

REDHEAD 76. 777777
CLAPHAM.
When I survey the wondrous Cross.

主耶蘇　キリストの十字架の外に誇ることなからんことを願ふ　加六〇十四

一
さかえのきみの　十字架をみれば
とみもほまれも　のぞみもなべて
ものゝかずかは　ほこるにたらず

二
きみの十字架の　ち（血）をのみほこり
すべてむなしき　このよ（世）のものに
われのこゝろを　とめざらしめよ

三
いばらのかむり（冠）　みて（御手）みわし（足）より
したゝるち（血）こそ　ふかきめぐみと
おもきつみとを　わらはにしめせ

四
よにあるものを　みなさゝぐとも
みいつくしみの　むくい（報恩）にたらず
たゞみ（身）とたま（霊）を　にへ（贄）にぞさゝぐ

二　きみはあめ(天)なる　さかえ(光栄)をすてゝ
くらきこのよに　くだりたまへり
われは主のため　なにをかすてし

三　きみわがために　なやみをおひて
いくとし(幾歳)つき(月)を　すごしたまへり
われは主のため　いくひ(幾日)をへ(經)しや

四　きみはしのびて　くるしみをうけ
しとほろび(死滅亡)より　われをすくへり
われは主のため　なにをかたへ(耐)し

五　きみはすくひと　つきぬいのちと
ちゞ(千々)のたまもの(賜物)　さづけたまへり
われは主のため　なにをそなへし

六　いまよりのちは　よ(世)にあるかぎり
うきとたのしみ　わがみとたまを
めぐみのきみに　をし(惜)まずさゝげん

76 第七十六

Behold the Lamb of God, Who bore.　HORSLEY.　8686 (C.M.)

神の羔を見よ　約一〇三六

一 じふじかのうへに　ちをながして
な(汝)がつみをお(負)ひし　きみをあふげ

二 く(釘)ぎにてつらぬく　みてとみあし
いばらのかむりを　なげきてみ(見)よ

三 なやみのみすがた　たえずあふぎ
し(忍)のび(耐)たゝかひて　いのちをえよ

77 第七十七

Thy life was given for me.　GLORIA.　777777

如何にして主のもろ〳〵の恩に報んや　詩百十六〇十二

すくひのぬしは　わがし(死)にかはり
ち(寶)しほ(血)をながし　いのちをあたふ
われは主のため　なにをさゝげし

LITANY OF THE PASSION. 7777

Father, forgive them.

父よ彼らを赦したまへ　　路廿三〇卅四

一 くぎうたれつゝ
しらでこそなせ
聖子(み子)よばゝりぬ
ちゝよゆるせと

二 血(ち)をながされて
仇(あた)をあはれみ
なほもとがめず
いのりをさゝぐ

三 そのあはれみは
あたのみならず
十字架のもとの
われにもおよぶ

四 われも恐(かしこ)き
みてとみあしの
つみのくぎにて
痛(いた)みをましぬ

五 されどわがつみ
御言(みこと)そむきぬ
つみともしらず
主よゆるしませ

六 きみをなみして
しらぬゆゑなり
さからふものも
すくはせたまへ

78 第七十八

S. Cross.　8888 (L.M.)

Oh! come and mourn with me awhile.

かれを十字架に釘たり　約十九〇十八

一 なみだをながして
きたりてひれふせ
じふじかのもとに
主はしにたまへり

二 かたくなびとらの
もだし(默)しのびつゝ
あざけりわらふを
主はしにたまへり

三 てあしくぎうたれ
みくち(御口)はかわきて
みめ(御目)はち(血)にくらみ
主はしにたまへり

四 なゝつ(七)ののりごと(勅言)
あい(愛)をあらはして
もだし(默)ゝみとき(三時)も
主はしにたまへり

五 よびとのけがれを
みわき(御脇)よりながし
きよむるいづみを
主はしにたまへり

六 つみをくいなげき
こゝろをもとめよ
主をあいしゝたふ
主はしにたまへり

女よこれ汝の子なり

約十九〇二六

一 じふじかのもとに
なみだにくれぬ
そのむねをさして
はゝぎみ(母君)たゝして
くるしみのつるぎ(劒)
いとなやませり(惱)

二 かみ(神)にめぐまれて
よろこびぬれど
まされるさきはひ
みこ(聖子)をうみしとき
すべてのをみな(婦女)に
いまはいづこぞ

三 よのひとのしたふ
みすくひぬしは
ひと(人)にあざけられ
きみ(王)のきみ(王)となる
じふじかにかゝり
なやみたまひぬ

四 なやみ(苦難)のなかにも
おもひなぐさめ
てはなが(汝)はゝぞと
たよりなきはゝ(母)を
いつくしむでし(弟子)に
ゆだねたまへり

五 主ようれひのとき
なぐさめ(安慰)あたへ
みちからたまひて
われをみそなはし
よわきとも(友)あらば
たすけしめてよ

受苦節　十字架上の七言其三

八十三

80 第八十　CLAPHAM.　777777

To-day shalt thou be with me in Paradise.

今日なんぢは我と共に樂園にあるべし

路廿三〇四三

一
主よみくによて
いま(臨終)はのときの
いまはのきはに
われをおもへと
いのりをきゝて
主はよろこべり

二
さかえのきみの
ひとにえられず
かしらのうへの
みいづ(稜威)はかくれ
いやしくよわし
かむりはいばら(荊棘)

三
ふかきつみとが
けふ(今日)しいまし(汝)は
われといこ(憩)へと
くいていのれば
パラダイスにて
みこゑ(御聲)かゝりぬ

四
主よつみびとの
いまなほきゝて
つひにみその(御園)ゝ
いのりのこゑを
あはれみゆるし
いこひをたまへ

81 第八十一　STABAT MATER.　887887

Woman, behold thy son.

TROYTE 1.　　8886

I thirst.

われ渇く

約十九〇廿八

一 あらゆるいづみ（泉）を　つくりまえしきみ
くるしみさけべり　われかわく（渇）と

二 いたで（痛傷）のくるしみ　いたづき（勞苦）のなやみ
ことぐ\あらはる　このみこゝろに

三 かわきえた（慕）へるは　ましみづのみかは
よびとのたま（靈魂）をも　わがたまをも

四 われもいとかわき　みめぐみをえたふ
きみよあはれみて　あ（飽）かせたまへ

82 讃美歌

REDHEAD 76.　777777

My God, my God, why hast Thou forsaken me?

わが神わが神なんぞ我をすて給ふや　太廿七〇四六

一　十字架のみくら（御座）　うれひのみかほ（御顔）
あめつちさへも　とこやみ（常闇）なせり
そのくるしみを　たれかみう（見得）べき

二　よびとのつみを　そのみ（身）にうけて
もだ（黙）したゝかふ　みとき（三時）のいくさ
なやみ（苦難）のさま（状）を　はかりうべしや

三　みときのれちの　さけびのみこゑ
やみ（闇）をつらぬき　かしこ（畏）くきこゆ
わがかみ（神）などか　われをすてしと

四　かゝるくるしみ　つぶさになめし
わが主よつみの　やみよおほはれ
のぞみなきとき　われをなす（棄）てそ

父よわが靈をなんぢの手に託く

路廿三〇四六

一
みてはひと（人）ゝなり　あもり（天降）ますとき
おのれをそな（獻）へて　いのりをなしぬ
ちゝ（父）よわがたま（靈）を　みて（御手）にゆだぬと

二
ヨルダンのかはにて　みづのあらひ（洗）と
みたまのそゝぎ（灌）を　うけていのりぬ
ちゝよわがたまを　みてにゆだぬと

三
め（目）さむるあかつき　いそしむまひる
やすらふゆふべも　たえずいのりぬ
ちゝよわがたまを　みてにゆだぬと

四
よ（世）にいま（在）すかぎり　み（御）むね（旨）をとげて
みまかる（絶命）ときにも　いのりたまへり
ちゝよわがたまを　みてにゆだぬと

五
われも主にならひ　よにあるうちも
よをさるときにも　かく（如斯）いのらまし
ちゝよわがたまを　みてにゆだぬと

84 第八十四

It is finished.　　S. BRIDE.　　6686 (.M.)

事をはりぬ　　約十九〇三十

一 ことをはり（畢）ぬ
ちゝのみむね（御旨）をば
みふみ（聖書）のごと
とげたまひき

二 み（身）とたま（靈）とに
てと〴〵になひて
よのなやみを
いまいこひぬ

三 ひとのつみを
なだめのみにへ（御贄）と
そのみ（自身）におひ
なりたまひぬ

四 よのすくひを
みちゝにすべて（一切）を
なしをはりて
ゆだねたまふ

五 ちゝよわれに
ゆたけきめぐみを
このすくひの
えさせたまへ

85 第八十五

REQUIEM.　　878787

Into Thy hands I commend my spirit.

六 いばら(荊棘)かぶされ
なぶられたりし

七 バラバをこひ(乞)し
すてはてられし

八 十字架のおゐに
つかれつかれし

九 ゴルゴタやまに
はぢをゑのびし

十 くじ(譏)しててころも
なみせられにし

十一 かしらうなたれ
ゆだねてゑにし

十二 あたにかこまれ
よわきわれらに

よし(葦)もたされて
耶蘇きゝたまへ

ユダヤのたみに
耶蘇きゝたまへ

おひ(負)えぬまでに
耶蘇きゝたまへ

くぎのいたみと
耶蘇きゝたまへ

わか(分)ちしあた(仇)に
耶蘇きゝたまへ

みちゝ(天父)にたま(靈)を
耶蘇きゝたまへ

さそひ(誘惑)にあはゞ
ちからをたまへ

98 第九十八　HOYTE.　7777

Litany of the Passion.

かれ自ら誘はれて艱難を受たれば誘はるゝ
者を助けうるなり　來二〇十八

一 あまつみやこの　みとの(御殿)にいます
ちゝてみたまよ　かへりみたまへ

二 われらのために　あざけられつゝ
うき(憂)をしのびし　耶蘇きゝたまへ

三 みたりのでしの　ねぶりしときに
いたくうれひし　耶蘇きゝたまへ

四 このさかづきを　ちゝよのぞけと
みたびいのりし　耶蘇きゝたまへ

五 とら(捕)ふるもの(卒)を　みちびくあた(仇)の
くちつけ(接吻)うけし　耶蘇きゝたまへ

88 第八十八　HOLY SEPULCHRE.　888

By Jesus' grave on either hand.

その墓と屍を置れたる状を見たり　路二三〇五五

一 ひ(日)はまたくれて　みむか(御墓)のかたへに
なげくものたてり

二 ひがなやみをおひ　つかれにつかれし
主はいまいこへり

三 あめつちをつくり　よをすくふきみは
いはむろ(石室)にいねぬ

四 よのひとよきたり　うれひもおそれも
みむかにほうむれ(葬)

87 第八十七

Glory be to Jesus.　CASWALL.　7575

此血のいふ所アベルの血のいふ所より尤も愈れり　來十二〇廿四

一 いのちのちしほ(血)　わがために
ながしゝ耶蘇に　さかえあれ

二 よのひとびとを　ほろびより
すくふいづみ(泉)ぞ　えたはしき

三 ちゝよゆるせ(赦)の　ち(血)のみこゑ
アベルのさけぶ　ちにまさる

四 ち(血)のいさをにて　おはれみと
つきぬいのちを　うけよかし

五 ち(血)にあらはるゝ(滌)　たびごとに
こゝろきよまり　あた(仇)さりぬ

六 よ(世)のひとびとも　みつかひも
わがきみのち(血)を　ほめうたへ

あらゆるひとよ　ハレルヤ
つねにたえせず　ハレルヤ

90下 第九十

EASTER HYMN NEW.　7474 7474

Easter Hymn.

キリスト死より甦りて復しなず　羅六〇九

一 すくひのぬしは　ハレルヤ
よみがへりしぞ　ハレルヤ
かちどき（凱歌）あげて　ハレルヤ
あがめまつれよ　ハレルヤ

二 十字架をしのび　ハレルヤ
しに（死）てしにかち　ハレルヤ
いき（活）ていのちを　ハレルヤ
ひと（人）にぞたま（賜）ふ　ハレルヤ

三 主のくるしみに　ハレルヤ
われはいやさ（癒）る　ハレルヤ
あまつつかひと　ハレルヤ
ともにぞうたはん）　ハレルヤ

89 復活
第八十九

EASTER HYMN OLD. 7777774

Jesus Christ is risen to-day.

主まことに甦りたり　路廿四〇三四

一
ほろぶるものを　あがなふために
はぢとくるしみ　し(死)をさへうくる
わがきみ耶蘇の　よみがへりにし
けふのひ(日)いはへ　ハレルヤ

二
よのつみびとを　すくはんために
十字架にかゝり　はかにもいりし
あまつぬしなる　耶蘇のみまへに
かちどきあげよ　ハレルヤ

三
あがもの(贖物)さゝげ　ちゝのみむねを
なしをへ(成遂)たまひ　さかえにかへり
いまはみくによ　みつかひ(天使)たちの
たゝへ(稱美)をぞうく　ハレルヤ

四
ちゝこみたまを　たゝへてうたへ
あまつつかひよ　ハレルヤ

復活日の祝

一 したがふ(順服)とも(徒)よ
かみはなやめる
あし(足)もぬらさで
あたのくにより

二 しばらくはかに
ひ(日)のごといでで
つみのさびしき
めぐみのどけき(長閑)

三 いはひのなかの
けふをいむひて
こゑたからかよ
よみがへりにし

四 し(死)とよみ(幽冥)のと(門)を
いのちをたまふ
ちゝとみたまを
いざハレルヤを

みなよろこべ
たみをすくひ
うみ(海)をわたし
いだしませり
いね(寝)たるきみ
いやかゝやき
ふゆ(冬)をさりて
はる(春)をきたす
いむ(祝)ひび(日)なる
よろこぶたみ
たゝへごとを
主にさゝげよ
うちやぶりて
みこ(聖子)をたゝへ
ひとしくほめ
となへまつれ

91 第九十一　VICTORY. 8884

The strife is o'er, the battle done.

死を以て死の權威をもてる者を滅せり　來二〇十四

一 ハレルヤ　ハレルヤ　ハレルヤ
たゝかひをはりて　いくさ(戰陣)よりかへる
きみをほめうたへ　ハレルヤ

二 耶蘇し(死)のつかさ(首長)の　いきほひをやぶり
かちぬし(勝主)となりぬ　ハレルヤ

三 きよきあけぼの(曙)に　よみよりのぼりて
よをさめたまふ　ハレルヤ

四 主のし(死)にいかされ　みきず(御疵)にいやされ
こゑたかくうたへ　ハレルヤ

92 第九十二　S. JOHN DAMASCENE (I). 76767676

Come, ye faithful, raise the strain.

既に神はイエスを甦らせ給へり　徒二〇三二

第九十四

ELLACOMBE: 8686886 (D.C.M.)

O sons and daughters, let us sing.

多くの證據をもて己の活たることを彰し給へり　徒一〇三

一　あまつかみのこら（子羅）
よろこびのうたを
けふ（今日）しもわが主は
かうべをくだきて
うちつどひて
いさみうたへ
しの（死）つかさ（首長）の
よみがへりぬ

二　みやこにひそまり
をのゝくみでし（御弟子）の
よみにうちかちし
こゝろやすかれと
あた（仇）をおそれ
なかにたちて
たふとき主は
のたまひけり

三　みことばのみかは
きず（疵）のみあとさへ
みでしはよろこび
ふたゝびめぐみの
み（御）わき（脇）み（御）て（手）の
あふぎみたる
ふしてをがみ
み（御）こと（言）きけり

四　トマスのまよひも
耶蘇を主とたゝへ
わがともいさみて
ちからとみいづを
むれわたりて
かみとあがむ
すくひぬしの
たゝへまつれ

93 第九十三

WURTEMBURG.　77774

Christ the Lord is risen again.

此の如くキリストは第三日に死より甦るべし　路二四〇四六

一 耶蘇よみがへり　之(死)のかせ(枷)くだく
そのいさをしを　みつかひ(天使)うたふ
ハレルヤ

二 サタナにかちて　よ(世)のおほきみ(大君)と
なりたまひしを　われらもうたふ
ハレルヤ

三 十字架のなやみ　之のびてのちは
あめ(天)にいまして　とりなしたまふ
ハレルヤ

四 くいあらためと　つみのゆるしと
すくひのみちを　よ(世)につげたまふ
ハレルヤ

五 きみよわれらの　つみをのぞきて
つねにみまへに　うたはせたまへ
ハレルヤ

そのさかえ（光榮）とを　うくるぞうれしき
ハレルヤ

96 昇天

第九十六 NEARER HOME. 666686 (D.S.M.)

Thou art gone up on high.

なんぢ高所にのぼり俘囚を虜にして率ゐ給へり　詩六八〇十八

一 いま主耶蘇は　あめにのぼり
ほめうたのこゑの　なかにませど
われらはよの　なやみ（艱難）にあり
ちかひのみたまを　くだしたまへ

二 よ（世）いまして　なやみのみち
のこさずすぎ（過）て　のぼりませば
うきたびぢに　まよふたみを
つねよみちびきて　めぐみたまへ

三 あまつつかひ　すべひきゐ（統率）て
ふたゝびてのよに　きたまふとき
われらを主の　みぎにたてゝ
あまつよろこびを　えさせたまへ

95 第九十五

LINDISFARNE. 78784

Jesus lives! No longer now.

我いくれば汝らも生ん　約十四〇十九

一 主いき(生)たまへば　し(死)のおそれあらず
はか(墓)はわがみ(身)を　つなぐ(繋)ちからなし
ハレルヤ

二 主いきたまへば　しはほろびならず
つきぬいのちに　いるべきかど(門)なり
ハレルヤ

三 主いきたまへば　きよきこゝろもて
そのみさかえ(光榮)を　ひたすらあらはせ
ハレルヤ

四 主いきたまへば　そのみまもり(御護)より
よ(世)もし(死)もよみ(幽冥)も　われらをうば(奪)はじ
ハレルヤ

五 主いきたまへば　あめつちをさむ(治)る
また(全)きちからを　ちゝよりたまはる
ハレルヤ

六 主いきたまへば　みくにのやすき(平安)と

六 われらのために ハレルヤ
とりなしたまふ ハレルヤ
あまつみくらに ハレルヤ
のぼりしきみよ ハレルヤ
たえずみくにを ハレルヤ
ゑたはせたまへ ハレルヤ

98 第九十八

WEBER. 7777

Where high the heavenly temple stands.

祭司の長たるイエスを深く思ふべし 來三〇二

一 これらのさが（性）を そなふるきみは
あまつみや（宮殿）にて まつり（祭）をつとむ

二 よびとのつみを あがなふちしほ（血）
ながしゝ耶蘇は とりなしたまふ

三 あめにのぼれど よ（世）のはらから（兄弟）の
よわきをゑりて あはれみたまふ

四 うき（憂）さかづき（杯）を あまさずのみて
いまぞなやみを なぐさめたまふ

五 わが主をたのみ めぐみのみざ（御座）に
ゆきてひたすら たすけをあふがん（仰）

97 第九十七

EASTER HYMN NEW. 74747474

Hail the day that sees Him rise.

彼らの見るが間にあげらる　徒一〇九

一
よろこびうたへ　ハレルヤ
よをあがなひし　ハレルヤ
かみのこひつじ　ハレルヤ
のぼりしてのひ(日)　ハレルヤ

二
とこしへのと(門)よ　ハレルヤ
つみにかちにし　ハレルヤ
さかえのきみを　ハレルヤ
いれたてまつれ　ハレルヤ

三
み(御)て(手)をあげつゝ　ハレルヤ
あめにのぼりて　ハレルヤ
よにあるともを　ハレルヤ
さきはひたまふ　ハレルヤ

四
きみはみくにの　ハレルヤ
さかえ(栄光)にいれど　ハレルヤ
なほよのひとを　ハレルヤ
いとしみ(愛)たまふ　ハレルヤ

五
ちゝのみそばに　ハレルヤ
ところをそなへ　ハレルヤ

Crown Him with many crowns.　　DIADEMATA.　　6686686 (D.S.M.)

其首は多くの冕をかむれり　　默十九〇十二

一
こひつじをば
たへ(妙)なるものね(音楽)
いざみたみよ
さかえのかむり(冕)を
ほめたゝふる
あめにきこゆ
めぐみの主に
さゝげまつれ

二
みつかひらも
主のきず(疵)のひかり
いざみたみよ
こがねのかむりを
うちふす(拝伏)まで
てりかゞやく
すくひの主に
さゝげまつれ

三
たゝかひやみ
いのりとうたとの
いざみたみよ
たからのかむりを
やさけびたえ
こゑはひゞく
へいわ(平和)の主に
さゝげまつれ

四
そらのきはみ
みさかえのひかり
ちゝとともに
とこしへのかむり
ちのはてまで
てりわたりぬ
しらすきみに
さゝげまつれ

99 榮光平光

S. BENET.　777777

He is the King of glory.

永遠の戶よあがれ榮光の王いり給はん　詩二四〇七

一
耶蘇よみがへり
よみ(幽冥)のちからを
とりことなして
みそら(天空)にのぼり
あまつみかど(御門)に
きたりたまへり

二
みかどにたちて
みつかひうたふ
とこしへのと(戶)よ
たかくあがりて
さかえ(光榮)のきみを
いれたてまつれ

三
さかえのきみは
たれぞやたれぞ
あらゆるあたを
ほろぼしたまふ
いくさにたけき
かちぬし耶蘇ぞ

四
あまつみやこの
たまのみかどよ
いまうちひらけ
いさを(功勳)しかたき
さかえのきみを
いれたてまつれ

五
さかえのきみは
たれぞやたれぞ
あまつつかひと
よろづのたみと
あらゆるものの
きみなる耶蘇ぞ

Hail! Thou once despised Jesus.

上天に在そ威光の右に座しぬ　來一〇三

一
いばらのかむりを　いたゞきまえし
さかえのきみなる　主のな(名)たふとし
わがためにうたれ　わがつみをおひ
よ(世)のひとのすくひ　なしとげませり

二
ちゝ(父)なるみかみの　みぎ(右)にいまして
とこしへのすまひ　そなへたまひて
われらをとりなす　耶蘇きみをほめ
ちよろづ(千萬)のつかひ　たえずぞうたふ

三
きみのみめぐみも　きみのみいづも
あまねくあらはれ　たへにたふとし
みつかひとともに　よ(世)のひとこぞり
かゞやくさかえを　ほめよたゝへよ

101 第百一

S. ATHANASIUS.　7777777

He sat on the right hand.

主は天に擧られ神の右に坐しぬ　可十六〇十九

一　かみのみ(御子)こなる　わがなひぬしは
あめにのぼりて　さ(光榮)かえをまとひ
いまはみちゝの　みぎにまします

二　はづかしめられ　ころされしかど
よろづのものの　かしらとなりて
いまはみちゝの　みぎにまします

三　つみにうづみし　われらをすくひ
いよゝあはれみ　とりなすために
いまはみちゝの　みぎにまします

四　われらをまもり　たのしみみつる
あ(天)まつす(住居)まひを　そなふるために
いまはみちゝの　みぎにまします

五　よみよりわれを　すくひいかして
み(御座)くらのまへに　た(立)ゝするために
いまはみちゝの　みぎにまします

（再唱）ちのはてまでも（地・極）　ながものと（汝）
なしておたふと（予）　のたまへり

104 第百四 聖靈降臨日

S. CUTHBERT. 8685

Our blest Redeemer, ere He breathed.

父かならず別に慰むる者を汝らに賜ふべし 約十四〇十六

一 わがきみてのよを　さりてのちに
なぐさむるものを　つかはせり

二 へりくだるこゝろ　みやとなして（宮）
ちからとよろこび　みたすなり（充）

三 たへなるみこゑは　つみをとゞめ（止）
おそれをえづめて　はげましむ

四 きよきにすゝみて（清潔）　あしきにかつ（悪）
めぐみをゆたかに　たまふなり

五 みたまよあはれみ（聖靈）　わがこゝろを
いさぎよきみやと（宮）　なしたまへ

六 ちゝみこみたまの　みつのくらゐ
ひとりのみかみに　さかえあれ（光榮）

103 第百三

S. GERTRUDE.　75757575

Why do the heathen rage.

われ我王をわが聖きシオンの山にたてたり　詩二〇六

一 あなかしがまし（囂）（慼）
よものくにびと
（再唱）すべてのたみは
むなしきことを
いかなれば
さわぎたち
うちつどひ
はかるぞや

二 もろもろのきみ
をさ（首長）らともに
（再唱）あまつみかみと
あた（仇）となりてぞ
たちかまへ
あひむかり
キリストに
さからへる

三 あまつみかみは
かのしれもの（頑愚者）を
（再唱）きよきみやま（御山）に
けふ（今日）よりたて（立）て
いきどほり
おぢ（怕）しめて
わがきみを
こ（子）となせり

四 われにもとめよ
よろづのくにを
さらばわれ
ゆづり（譲）とし

The Spirit helpeth our infirmities.

聖靈も亦われらの荏弱を助く　羅八〇二六

一　みたまのかみよ　をかせるつみを
あらはにてらし　くいさせたまへ（悔）

二　みたまのかみよ　けがれしみをば（身）
きよめてつねに　みやとしたまへ（宮）

三　みたまのかみよ　よわきこのみを（此身）
つよめてあたに　かたしめたまへ（仇）

四　みたまのかみよ　まよへるわれを
たゞしきみちに　みちびきたまへ

五　みたまのかみよ　いのりをたすけ
ちゝのみむねに　かなはせたまへ（御旨）

六　ちゝとみこより　いづるみたまよ
われをはなれで　なぐさめたまへ

105* 第百五

KORIYAMA.　57577

Blest Comforter, cleanse and guide.

もし神の靈なんぢらに住まば汝らは肉にあらで靈にあらん　羅八〇九

一　なぐさめを　くだすみたまよ
うきくも（雲）の　かゝるこゝろを
ひらきみちびけ

二　つみとがを　きよむるきみよ
あがなひの　ちしほのそゝぎ
われにえさせよ

三　うたがひの　さぎりはらひて
みすくひの　ひかりを之めせ
くらきこゝろに

四　あらたなる　いのちをたまふ
きみならで　たれによりてか
之（死）をのがるべき

五　わがこゝろ　みたまのひかり
うけてこそ　あきらかにしれ
あい（愛）のみ（御）かみ（神）を

凡そ神の靈に導かるゝ者は是即ち神の子なり　羅八〇十四

Come, gracious Spirit, heavenly Dove.

一　はとのごとくだる　めぐみのみたまよ
　　こゝろをやはらげ　なぐさめをたまへ

二　かしづきとなりて　こゝろのおもひも
　　おこなふしわざも　みなをしへたまへ

三　まことのひかりを　われらにてらして
　　あきらけきみちを　あゆましめたまへ

四　ちゝなるみかみの　みまへをはなれず
　　つゝしみうやまひ　つかへしめたまへ

五　いのちのみちなる　耶蘇にともなひて
　　みあとにしたがひ　すゝましめたまへ

六　われらをきよめて　かみのみすまひの
　　とこしへのさちに　いたらしめたまへ

107 第百七

LIGHT.　777777

Come, Thou Holy Spirit, come.

なんぢ靈を出し給へば百物みな造らる　詩百四〇三十

一
きよきみたまよ　うへよりくだり
くしき(奇妙)ひかりを　あまねくてらし
あい(愛)のなぐさめ　ゆたかにたまへ(賜)

二
かわきてむすぶ(掬)　たにのしみづも
つかれていこふ　みちのこかげも
主のなぐさめに　くらぶべきかは

三
もしみ(御)ひかり(光)の　てりきたらずば
こゝろのやみは　いぶせくくらく
わがわざ(行)ことば(言)　すべてはむなし

四
いたで(痛傷)をいやし　けがれをきよめ
よわきをつよめ　あい(愛)をもえ(燃)しめ
すくひのみちに　すゝませたまへ

五
主によりすがる　みたみのうへに
なゝ(七)のたまもの(賜)　いやましくはへ
つきぬよろこび　あふれしめてよ

しらせ(知)たまひて
うたはせたまへ
おほみな(大御名)を
とことはに

110* 第百十

VIENNA. 7777

Spirit Divine, attend our prayers.

神その子の靈を汝らの心におくれり 加四〇六

一
きませ(臨)みたまよ
くしきちからを
いのりにこたへ
あらはしたまへ

二
あまつひかりよ
いのちのみちに
くらきをてらし
すゝませたまへ

三
きよきほのほ(焔)よ
このみ(身)をにへ(犧牲)と
けがれをやきて
なさしめたまへ

四
はげし(烈)きかぜ(風)よ
よきおとづれを
よ(世)のはてまでも
ひゞかせたまへ

五
やはしきはと(鴿)よ
みたみをおほひ
あい(愛)のつばさ(翼)に
なぐさめたまへ。

六
きませ(臨)みたまよ
よ(世)をばみくにと
いのりにこたへ
ならしめたまへ

109 第百九　PENITENTIA.　75757575

Veni Creator Spiritus (1).

われ我靈を以て凡ての人に注がん　徒二〇十七

一　みたまのかみよ　いまくだり
あまつ(天)ほのほ(焔)を　わがうちに
もやしたまひて　なゝつ(七)なる
めぐみのあぶら　そゝぎませ

二　主よりたまはる　めぐみこそ
あい(愛)となぐさめ(安慰)　いのち(生命)なれ
とはにつきざる　ひかりもて
こゝろのやみを　てらしませ

三　主よりながるゝ　ましみづ(眞清水)に
けがれしおも(顔)を　きよくなし
そとなるあた(仇)を　しりぞけて
むね(胸)にやすき(平安)を　みたし(充)ませ

四　みちゝとみこと　もろともに
主はひとつなる　かみなりと

みてのわざなる　ものみなは
三 みつ(三)よいまして(在)　ひとつ(一)なる
かみのおはみな(大聖名)　ほめまつらん

112　第百十二

CAPETOWN.　7775

Three in One and One in Three.

汝のほかに我たれをか天にも地には汝のほかに我が慕ふ者なし　詩七三〇二五

一 みつのくらゐの　ひとりのかみよ
さゝぐるいのり　きゝたまへ

二 あさひとともに　われをてらして
めぐみのひかり　たまへかし

三 ひ(日)のいるころは　つみをゆるして
あまつやすきを　たまへ(賜)かし

四 いまはおぼろに　あふぎまつれど
まみゆるときを　えさせてよ

三位一體主日

聖なる哉（讃 三五）百十四

111* **第百十一**

NICEA. 86757575

Holy, Holy, Holy, Lord God Almighty.

聖かな聖かな聖かな主たる全能の神 默四〇八

一 せいなる聖なる　聖なるかな
みつ(三)ょいまして　ひと(一)つなる
かみのみ(御)な(名)をば　あさ(早)まだき(朝)
おきいでてこそ　はめまつれ

二 せいなる聖なる　聖なるかな
かみのみまへに　ひじりらも
かむ(冕)りをすてゝ　ふし(伏)をが(拝)み
み(天)つかひ(使)たちも　み(聖)な(名)をほむ

三 せいなる聖なる　聖なるかな
つみある め(目)には　みえねども
みいつくしみの　みち(充)た(足)れる
かみのさかえぞ　たぐひなき

四 せいなる聖なる　聖なるかな

第百十四

HART. 7777

I believe in One God.

神の僕よ神を畏るゝ者よ皆われらの神を讃美すべし　默十九〇五

一 よろづのものを　つくりたまひし
ちゝ(聖父)なるかみを　あがめたゝへよ

二 すべてのひとを　あがなひましゝ
みこ(聖子)なるかみを　あがめたゝへよ

三 えらびのたみを　きよくしたまふ
みたま(聖靈)のかみを　あがめたゝへよ

四 ちゝこみたまは　ひとりのかみぞ
ひとしく(同一)あがめ　たゝへうたへよ

三位一體主日　神を讃めよ

113 第百十三

87.87.87

STEWART.
REDHEAD 46.

互によびいひけるは聖なる哉聖なる哉聖なる哉　賽六〇三

Bright the vision that delighted.

一 おほみやにいのる
いとたかきあめの
かゞやくみくら(御座)の
みつかひかたみに(互)
ひじり(聖徒)のまへに
とびらはひらけ
みそばにたてる
うたひたゝへぬ

二 いまなほあめには
おなじたゝへごと
あやにたふとしや
あめにもつちにも
みつかひつどひ
たえせずうたふ
いときよきかみ
みさかえ(光榮)みてり

三 みつかひにならひ
ひとしくたゝへの
あやにたふとしや
あめにもつちにも
ちにあるたみも
うたをぞうたふ
いときよきかみ
みさかえみてり

一
サタナのくにを
みこ（聖子）のいくさの
したがひすゝむ
うちたひらぐる
ち（血）にそむはた（旗）に
つはものはたれ

二
はぢをいとはず
ほまれ（譽）たから（財）を
主のじふじかを
なやみをしのび
みなうちすてゝ
み（身）におふひと（人）ぞ

三
このみいくさ（御戰）に
あたのつみをば
ねぶりにつきし
さきがけせしは
ゆるせといのり
あかしびとなり

四
つぎにはみこの
つよきのぞみに
つるぎ（劍）けもの（獸）に
つかひびと（使徒）たち
こゝろいさみて
み（身）をばはたせり

五
あとにつゞける
さは（數多）のつはもの
みこのはたに
をとこをみなの
くびす（踵）をつぎて
したがふをみ（見）よ

六
主よわれらをも
つはものたちの
おそれたゆまず
はげましつよめ
ためし（例）にならひ
すゝませたまへ

115 第百十五

S. FULBERT.　8686 (C.M.)

God so loved the world.

神はその生給へる獨子を賜ふほどに世の人を愛し給へり　約三〇十六

一 ひとりのみこをば　たまふほどに
ひとをいつくしむ　ちゝ(天父)をほめよ

二 くるしみを忍のび　ち(血)をながして
つみをあがなひし　みこ(聖子)をほめよ

三 けがれしこゝろを　きよらになし
つよむるみたま(聖靈)を　ともにほめよ

四 ひとりのかみなる　ちゝ(聖父)とみこ(聖子)と
みたま(聖靈)のめぐみを　よゝ(永世)にほめよ

116 聖日

第百十六

MORNING.　777777

The Son of God goes forth to war.

我らの兄弟は羔の血によりて之に勝てり　默十二〇十一

五
主にあいせられ
なやみにたへし
かゞやくあめの
主のきますひ(日)を
主をあいして
みでしのごと
さかえをみて
しのびてまたん

嬰兒　日

六
いとけなくして
いのちをすてゝ
かのをさなごの
あまつさかえの
みこにかはり
いのちをえし
こゝろをもち
かむりをえよ

聖徒パウロ改心

七
みいづのひかり
みたみをせむる
みちのひかりを
かゞやかしめし
はなちてらし
あたをめでし
ちのはてまで
主をたゝへよ

八
よもひもたえず
しろきころもの
したひふみつゝ
いよゝはげみて
たゝへうたふ
とものあとを
みなをあがめ
つかへまつらん

九
えらびをえたる
あまつみくらの
ちゝこみたまの
さかえのひこそ
よものみたみ
もとにつどひ
みなをほむる
のぞましけれ

117 第百十七

HOLY DAYS.　7676 7676

From all Thy Saints in warfare. (I.)

彼等はみな信仰に由て美名を得たり　來十一〇三九

一
耶蘇のつはもの
さきてはやく
かちえしきみは
さかえのかむり
みなをはめよ
いこひをえぬ
かちをあたへ
さづけたまふ

聖アンデレ

二
ひとにさきだち
ひとにさきだち
みちびきたりし
ひとをすくひに
耶蘇をむかへ
そのはらから
みでしのでと
みちびかまし

聖トマス

三
うたがひまどふ
あかしゑめゑし
こゝろにかけて
かたくたのみて
みでしすら
みいつくしみ
主はかみぞと
ゑたがひゆかん)

聖ステバノ

四
いしにてうたれ
そらをあふぎて
ゑもべにならひ
をゝしきちから
あかしをなし
主耶蘇をみし
たへゑたがふ
ともにえまし

五　ユダのみやこの
おきてをかたく
主のはらからの
たゞしきわざをの

聖徒バルナバ

六　よのとみをすて
なぐさめのこの
めぐみのわざに
主のみさかえを

施洗者ヨハネ

七　きみのみまへに
くいあらためを
ヨハネのこゑに
をしへにかなふ

八　よもひもたえず
ゑろきころもの
ゑたひふみつゝ
いよゝはげみて

九　えらびをえたる
あまつみくらの
ちゝこみたまの
さかえのひてそ

みたみをすべ
まもりにける
あとにならひ
おこなはまし

ひとをとます
あいにならひ
いそしみつゝ
おらはさまし

みちをそなへ
のにさけびし
きゝゑたがひ
みをぞむすばん

たゝへうたふ
ともものあとを
みなをあがめ
つかへまつらん

よものみたみ
もとにつどひ
みなをはむる
のぞましけれ

118 第百十八

From all Thy Saints in warfare. (II.)　HOLY DAYS.　767676.

其行の果を視て其信仰に傚ふべし　來十三〇七

一
耶蘇のつはもの　みなをほめよ
さきてははやく　いてひをえぬ
かちえしきみは　かちをあたへ
さかえのかむり　さづけたまふ

聖徒マッテア

二
きみをわたえし　ユダにかへて
よきいへづかさし　えらびしでと
まめなるえもべ　いまもあたへ
いつはりびとを　ふせぎたまへ

聖徒マコ

三
きみのめぐみに　つよくせられ
でとくにびとよ　すくひをのべ
ふみをのこしゝ　みでしのでと
こゝろうごかで　みちにつかへん

聖徒ピリポ及ヤコブ

四
ことくにびとを　きみのもとに
みちびきてせし　ともをおもひ
ちゝをあらはす　みでをえりて
いのちのみちを　あゆみゆかなん

聖徒マタイ

五
まねくみこゑに
したがひゆきし
むさぼるこゝろ
すてゝわが主に
とみをもすて
おとにならひ
けがしきわざ
したがひゆけ

聖徒ルカ

六
みとたましひの
みでしのふみの
いきよすべての
いやすくすしの
くすりをしる
いくくすりに
たまのやまひ
めぐみをえて

聖徒シモン及ユダ

七
いのちをすてゝ
あかしとなりし
みちのまことを
こゝろあはせて
すくひのなの
ふたりのごと
かたくまもり
たゝかへかし

八
よもひもたえず
しろきころもの
したひふみつゝ
いよゝはげみて
たゝへうたふ
とものあとを
みなをあがめ
つかへまつらん)

九
えらびをえたる
あまつみくらの
ちゝこみたまの
さかえのひこそ
よものみたみ
もとにつどひ
みなをほむる
のぞましけれ

119 第百十九　HOLY DAYS.　767676

From all Thy Saints in warfare (III.)

彼ら信仰により義を行ひたり　來十一〇三三

一
耶蘇のつはもの
さきてはやく
かちえしきみは
さかえのかむり
みなをほめよ
いこひをえぬ
かちをあたへ
さづけたまふ

聖徒ペテロ

二
ひつじをかへと
みことをうけし
まめにをゝしき
いまもみたみに
みたびきみの
みでしのごと
つかへびとを
おくりたまへ

聖徒ヤコブ

三
しへたげびとの
たふれしでしの
きみのあたふる
よろこびうけよ
つるぎのはに
あとをしたひ
みさかづきを
主のますらを

聖徒バルトロマイ

四
このしたかげに
こゝろのまこと
きみとあがめし
まことをつくせ
すくひをまつ
みこにしられ
みでしのごと
みくにのたみ

REGENT SQUARE. 878787

In His Temple now behold Him.

嬰兒を携へて主に献んが為エルサレムに上れり　路二〇廿二

一　よろこびたゝへよ
よびと(世人)れのぞみし
けふ(今日)しおほみや(大宮)に
みちかひ(御契)のごと
みすくひぬしは
あらはれたまふ

二　はゝ(母)なるをとめの
さゝげまつるとき
すくひをみ(見)たりと
みこ(聖子)をいだきて
おきなはをがみ
いとよろこべり

三　さゝげられしみ(身)に
ちゝのみこゝろを
たふときさかえ(尊貴光榮)
なやみをうけて
なしとげし主に
とこしへにあれ

四　みさかえにみちて
われらをきよめて
かぐはしきにへと
き(臨)たまふときに
みちゝのまへに
なさしめたまへ

120 第百二十

The time has fully come.

DEERHURST. 87878787

主たちまち其殿に來らん　馬三〇一

一
みちゝ（天父）のさだめの　とき（時）はきたりぬ
みちかひ（御契）のつかひ　かみのひとりご（獨子）
をとめにいだかれ　おのがみとの（御殿）に
ハレルヤ、ハレルヤ　のぼりきませり

二
まづしきをとめの　そなへしにへ（贄）は
よのつみをのぞく　かみ（神）のこひつじ（羔）
これぞじふじかの　なだめのかたに
ハレルヤ、ハレルヤ　さゝげられける

三
かみにえらばれし　みたみのほまれ
ことくにびとらを　てらすひかりは
けふ（今日）こそあらはれ　すくひのみちを
ハレルヤ、ハレルヤ　しめしたまへれ

123 第百二十三　HOPKINS IN A♭.　777777

The Saints of God, their conflict past.

彼らは其働きを止めて休めり　默十四〇十三

一
かみのしもべは　たゝかひををへ
つるぎとたて(楯)を　みまへにおきて
こゝろのどかに　やすみ(安息)にいりぬ

二
かみのしもべは　たびぢををはり
あたのおそれも　つかれもうせて
たのしきそのに　いこひやすらふ

三
かみのしもべは　はやち(暴風)をしのぎ
あらなみにたへ　うみぢわたりて
いともうれしき　みなとにつきぬ

四
かみのしもべは　めをさましつゝ
きみのき(來)まして　つち(土)にふすみ(身)を
たゝ(起)しむるひ(日)を　よろこびのぞむ

五
ちゝこみたまよ　なはよ(世)にのこる
しもべをめぐみ　あたにかたしめ
つひにみくにの　いこひをたまへ

聖日　戰後の休み

122 第百二十二　DOMINICA.　6686 (S.M.)

Praise we the Lord this day.

時すでに至るに及びて神その子を遣し給へり　加四〇四

一 いにしへより　かみのたみは
みちかひをたのみ　けふをまてり

二 ダビデのすゑ　をとめ(處女)よりぞ
みこ(聖子)うまれいづと　みつげ(御告)ありし

三 いまをとめは　めぐみをえて
たへなるみこと(御言)を　よろこびたり

四 かみのたみは　みこをうめる
マリアのさち(福)をば　よゝ(永世)ことほがん

五 あまつつかひ　よびと(世人)ともに
ちゝみこみたまを　ほめたゝへよ

二 みて（御手）にみちびかれつゝ
きみのちからによりて
あたをおひえりぞけぬ
ハレルヤ

三 かち（勝）え（得）しとものごとく
いさましくこと（事）を（畢）へて
ともにかち（凱）うた（歌）うたはん
ハレルヤ

四 きみのて（隊）にあるともは
たゝかふもやすらふも
ひとしく主のつはもの
ハレルヤ

五 たゝか（戦）ひのもなかにも
や（休）すみのみことくだり
み（御）そ（園）のゝいこひにいらん
ハレルヤ

六 みさかえのひ（日）きたらば
よ（幽）み（冥）よりかゞやきいで
めされてあめにのぼらん
ハレルヤ

七 よもよりむれつどひて
すくひのかみをたゝへ
み（御）くら（座）のもとにうたはん
ハレルヤ

124* 第百二十四　S. ANDREW.　8787

Jesus calls us o'er the tumult.

我に從へ　可一〇十七

一　よ(世)のなみ(涙)さわげど　みこゑしづかに
　　われにしたがへと　耶穌よびたまふ

二　むかしみでし(弟子)らは　うから(族)をはなれ
　　すべて(一切)をうちすて　と(速)くしたがひぬ

三　かなしみたのしみ　はたらきやすみ
　　いづれのときにも　みこゑはきこゆ

四　むなしきよのもの　はかなきとみ(富)に
　　ひれふしつかへで　われにしたがへ

五　耶蘇よみまねきを　よろこびきゝて
　　みこゑのまにまに　したが(從)はせ(令)てよ

125 第百二十五　PRO OMNIBUS SANCTIS.　10 10 10 4

For all the Saints.

我ら斯く多くの見證人に雲の如く圍れたり　來十二〇一

一　このよのいくさををへ
　　やすらふともをおもひ
　　耶蘇きみをほめうたへ　ハレルヤ

第百二十七 RUTH. 7575757575

A re they not all ministering spirits.

凡て天の使者は救を嗣んとする者に事んため遣さるゝ靈にあらずや 來一〇十四

一 かみのみかほを あふぎつゝ
あがめたゝふる(讃稱) みつかひは
たへなるわざを なしうるも
みなわがかみの しもべなり

二 かみのみことを(勅言) かしこみて
よにあるたみの あやふきを
まもりたすけて そのあたを
さりてすくひに すゝましむ

三 みつかひたちの(天使) たすけにて
あたにうちかち もろともに
わがおほかみを ほめたゝへ
とはにぞあふがん そのみかほ

126 第百二十六

S. GEORGE.　77777777

Who are these in white robes?

この白き衣を着たる者は誰か且つ何處より來りしや　默七〇十三

一 しろきころもを　きよらにまとひ
かみのみくらと　主耶蘇のまへに
たちゐならびて　みなもろごゑに
めぐみをうたふ　ひとはたれぞや

二 これぞうきよの　なやみをしのび
ほふ(屠)られまし〻　こひつじのち(血)に
ころものけがれ　あらひすゝがれ
いさぎよきみと　なりたるみたみ

三 あしたゆふべに　みかほのさかえ
たのしみあふぎ　つかへまつれば
たふときかみも　ともにいま(在)して
はかりしられぬ　めぐみをたまふ

四 かみはなみだを　ぬぐひなぐさめ
耶蘇はいのちの　かて(糧)をそなへて
いけるいづみ(泉)に　みちびきませば
うゑずかわかず　よろこびみてり

第百二十九

Draw nigh and take the Body of the Lord.

COENA DOMINI. 10.10

汝ら來りて我が糧を食ひ我がませ合せたる酒を飲め

箴九〇五

一 つゝしみてちかく(近)より
主のにく(肉)とち(血)をうけよ

二 すくひのち(血)とにく(肉)とに
いか(活)されてほめ(讃)まつれ

三 かみのこ(神子)はし(死)をしのび
すくひをとげ(成就)たまひき

四 おのれのみ(身)をさゝげて
なだめのにへ(贄)となりぬ

五 いにしへのいけにへ(牲)は
みこのし(死)をあらはしき

六 し(死)をいかしよ(夜)をてらし
みたみ(神民)をたすけつよむ

七 たのむ(頼)ものをまもりて
とは(永遠)のいのちをたまふ

八 かわく(渇)ものをうるほし
うゝる(飢)ものをあかしむ

九 たゝへ(稱讃)つゝちかよりて
すくひのしるし(表式)をとれ

十 よ(世)のすゑ(末)のさばきぬし
こゝにいますかしこ(畏)め

128 第百二十八

DOMINUS REGIT ME. 8787

Thou standest at the Altar.

われら彼によりて常に讃美の祭を神に献ぐべし　來十三〇十五

一 かしこみ（畏）てあふげ（仰）
耶蘇きみたちて
まつりのにはにて
いのりをさゝぐ

二 よびと（世人）ののぼらぬ
耶蘇きみたえせず
あまつみやにて
とりなしたまふ

三 わが主のみて（御手）より
そらだきもの（薫香）ゝ
かぐはしきけぶり
みくら（御座）にのぼる

四 まつりのつかさ（祭司）も
にへ（贄）も耶蘇きみ
そのち（血）にきよまり
みまへにすゝまん

五 かみのこひつじよ
な（汝）がにく（肉）なが（汝）ち（血）
われらにめぐみて
やしなひたまへ

よわりしわれに　ちからをたまへ

二 いのちのかて(糧)よ　よびとのために
ながしたまひし　ち(血)をもあたへて
けがれしわれを　きよくしたまへ

三 いのちのかてよ　われらにいま(在)し
われら(天父)をきみに　つねにをらしめ
ちゝのみわざを　ならはせたまへ

132 第百三十二　VOX DOMINI.　9898

Bread of the world, in mercy broken.

わが肉は眞の食物わが血は眞の飲物なり　約六〇五五

一 わがきみはつきざる　いのちをしめ(示)して
しふじかのし(死)をもて　し(死)にか(勝)ちたまへり

二 つみをくや(悔)みながす　なみだ(涙)をあはれみ
くだ(碎)けしたましひを　みそな(見)はしたまへ

三 きみのにく(肉)とち(血)とを　いのちのかてとし
わがたまをやしなひ　よゝ(永世)いかしたまへ

130 第百三十

LEICESTER. 8686 (C.M.)

I am not worthy, Holy Lord.

わが家のうちに入れ奉るは恐多し　路七〇六

一 そなへ（準備）とゝのはぬ　けがれしみ（身）に
いかできよき主を　むかへまつらん

二 めぐみのひとこと（一言）と　たまはりなば
なやましきつみの　やまひはいえん

三 されどめぐみにて　いやしきみ（身）に
たまふにく（肉）とち（血）を　いかでいなまん

四 きたりみかて（御糧）にて　うゑをあか（飽）し
とこしへにわれに　やどりたまへ

131 第百三十一

BREAD OF HEAVEN. 777777

Bread of Heaven, on Thee we feed.

我が與ふるパンは我が肉なり　約六〇五一

一 いのち（生命）のかてよ　よびと（世人）のために
さかれたまひし　からだをあたへ

第百三十四

神われらと偕に在り

God with us.

CASSELL. 777777

太一〇廿三

一
よ(世)のはじめより　ち(天)ゝ(父)をしめしゝ
かみのことばは　よにあらはれ(在)ぬ
かみはわれらと　ともにぞいます

二
みたま(聖霊)によりて　をとめ(処女)にやどり
かみのひとりご　よ(世)にあれ(生)ませり
かみはわれらと　ともにぞいます

三
そのみちかひ(御誓)を　たのみてつどひ
こゝろをあはせ　もとむる(求)ときに
かみはわれらと　ともにぞいます

四
そのみさだめ(御定)を　うやまひまもり
主のち(血)とにく(肉)を　うけ(受)まつる(奉)とき
かみはわれらと　ともにぞいます

聖餐　神我儕と偕に在す

133 第百三十三　DIES DOMINICA.　767676

My flesh is meat indeed.

我は天より降りし活るパンなり　約六〇五一

一
かみのみこ（御子）なる
耶蘇キリストは
つみにしに（死）たる
いのちのかて（糧）と
すくひのぬし
あまくだりて
ひと（人）をいかし
なりたまひぬ

二
きみのあたふる
のみくふものは
うゑもかわきも
きよきよろこび
ち（血）とからだを
いのちをうけ
またきた（來）らで
つねにぞあらん

三
かみのみこなる
いのちのかてよ
やしなひつよめ
つきぬいのちを
すくひのぬし
このしもべを
きよ（清）らになし
えさせたまへ

136 第百三十六

NORTH COATES. 5757.

Come unto me, all that labour.

我に來れわれ汝らを息ません　六十一〇廿八

一 わがきみ耶蘇の　なぐさめ（安慰）を
こゝろにうけて　ちかづけよ

二 つかるゝものよ　きみにゆき
おもに（重負）をおろし　いこ（憩）へかし

三 かみはよびと（世人）を　いつくしみ
ひとりのみこ（聖子）を　つかはしぬ

四 みてにたよらば　かぎりなく
ほろび（滅亡）をのがれ　いき（生）ぬべし

五 よ（世）にくだりきし　キリストは
つみあるものゝ　すくひなり

六 なだめのにへ（牲）と　なりし主は
いまとりなしを　なしたまふ

七 このなぐさめを　よろこびて
わがきみ耶蘇に　ちかづけよ

135 第百三十五　TILL HE COME.　777777

Till He come! O let the words.

主の死を示してその來る時までに及ぶなり　哥前十一〇廿六

一 おまつみくにの　さきはひ(幸福)のぞみ(望)
たへしのびつゝ　うきよ(憂世)のなかの
たびぢをたどらん　きみきたるまで

二 したしきともは　よみ(幽冥)にさりゆき
かなしみ(悲)のくも(雲)　よも(四方)をおほへど
しのびてあゆまん　きみきたるまで

三 十字架のおもに　サタナのおそひ
よみのやみぢ(暗路)も　たゞしばしのみ
おそれですゝまん　きみきたるまで

四 わが主のかて(糧)に　ちからをうけて
みたみ(神民)なべて(一同)と　あまつ(天)ふるまひ(饗)
うくるひ(日)をまたん　きみきたるまで

四
つねにまもりて　をはりまで
しのぶ(忍耐)ちからを　たまへ(賜)かし
ちゝ(天父)よみもとに　われをめし(召)
いともたふとき　あめ(天)のかて(糧)
めぐみたまひ(賜)て　おしきわざ
いとひすてつゝ　よろこびて
つかへ(仕)しめてよ　とこしへに

138 第百三十八

RIVAULX.　8888 (L.M.)

Evermore give us this Bread.

主よ恒にそのパンを我らに予へ給へ　約六〇三四

一
あはれみのかみよ　いまたまはり(賜)たる
いのちのかてにて　われらをやしなへ

二
わが主のちしほに　つみをあらひさり
よ(世)にかつ(勝)ちからを　ゆたかにあたへよ

三
みもとにてうけし　めぐみのたまもの
よ(夜)もひ(日)もたもちて　主をあがめしめよ

137 第百三十七

And now, O Father, mindful of the Love.　TUI AMORIS.　7575757575

何處にても香と潔き献物をわが名にさゝげん　馬一〇十一

げん

一
われらをまたく(全)　あがなひし
ちしほのあい(愛)を　おもひつゝ
とりなすきみに　よりすがり
いとなみさゝぐ(献)　み(聖)こ(子)のにへ
うけいれたまへ　あまつちゝ

二
みこのみ(御)かほ(顔)を　みそなはし
われのいのりに　ま(至)こと(誠)なく
めぐみにそむく　つみとがを
み(覩)たまはずわれ　主のなやみ
つみのな(挽)だめ(回)と　なりたれば

三
われとともなる　主に(友)たより
いまこそいの(祈)れ　とものため
その身(み)とたま(靈)を　き(清)よらにし

一
わがきみ耶蘇よ
くらきたびぢに
あめ(天)よりいづる
ひかりをてらし

二
あがなひのち(血)に
われはいまより
みちびくみ(御)て(手)に
みくに(天國)のみちに

三
かみのいかりを
きよきしもべの
そのみ(御)しるし(記號)の
うくるいまこそ

四
ゆる(赦)さるゝみ(身)の
よ(世)にたぐ(比)ふべき
わがみ(身)もたま(靈)も
み(御)な(名)をたゝへて

つみのみ(身)は
さまよひぬ
みめぐみの
みちびけな
すくはれし
たゞきみの
よりすがり
すゝみゆかん
まぬかれて
かずにいる
バプテスマ
たのしけれ
さきはひは
ものぞなき
みなさゝげ
よ(世)をすごさん

139 第百三十九

PLEYELL'S HYMN. 7777

Suffer little children to come unto Me.

幼兒をわれに來らせよ　可十〇十四

一 ちゝなるかみよ　このをさなごを
めぐみのくによ　うけいれたまへ

二 みすくひぬしよ　このをさなごの
もとのけがれを　とりさりたまへ

三 きよきみたまよ　このをさなごに
いまあたらしき　いのちをたまへ（賜）

四 ちゝとみたまと　たゝふる（稱美）かみよ
またきすくひ（全救）に　みちびきたまへ

140 第百四十

COLYTON. ORIO. 75757575

We joy in God.

起てバプテスマを受け其罪をそゝぎ去るべし　徒廿二〇十六

第百四十二

NOTTINGHAM. 8686 (C.M.)

In token that thou shalt not fear.

汝われらの主の證をなすことを恥とする勿れ　提後一〇八

一　わが主じふじかに
はぢざるしるし（記號）を
しに（死）までしるしを
いまぞしるす

二　おそるゝことなく
しるしをひたひ（額）に
みな（御名）をたのむ
いまぞしるす

三　みはた（御旗）のもとにて
たゝかふしるしを
あた（仇）をふせぎ
いまぞしるす

四　じふじかをおひて
したがふしるし（記號）を
みあと（御跡）をふみ
いまぞしるす

五　そとのみすゝぎ（御洗）を
うちのみめぐみを
うくるものに
あたへたまへ

六　じふじをいたゞく
さかえのかむり（冠）を
このひたひに
えさせたまへ

聖洗　十字架の記號　百四十七

141 第百四十一　HOPKINS IN A♭.　777777

Ye must be born again.

惡しき念を灌がれ淸き水をもて身を洗はれ　來十〇廿二

一
あらたにうまれ
こ(子)につらなりて
えもべをめぐみ
あまつみ(御)ち(父)ゝの
よつぎ(世嗣)となれる
さきはひたまへ

二
いまつみとがの
つねにきよめて
ち(血)のみ(御)そゝぎを
ゆるされしみ(身)を
わがなひぬしの
うけしめたまへ

三
かみのみたまの
このたましひを
きよきおもひ(思念)を
めぐみをうけし
つねにつ(強)よくし
いだかせたまへ

四
いまちゝとこと
いれられしみ(身)に
よ(善)きたま(賜)ものを
みたまのみ(御)な(名)に
うへよりくだる
え(得)せしめたまへ

一
耶蘇よをはりまで
ちかひ(誓)をたてたる
みくにのまさみち
むれ(群)くるあた(仇)にも
つかへまつると
われをともなひ
ふみゆかしめて
かたしめたまへ

二
いざなふ(誘)よ(世)のこゑ
まどはす(惑)よ(世)のはえ(榮華)
あた(仇)のこゝろみは
主よちかくまし(在)て
よもひもたえず
よもにかゞやき
うち(内)と(外)にせまる
たすけをたまへ

三
しづけきみこゑ(御聲)を
さわ(騒)だつ(立)こゝろの
つぶやく(怨言)おもひの
きよきみこと(御言)ばに
さやかにきかせ
あらなみ(荒浪)しづめ
あらし(嵐)をとゞめ
したがはせてよ

四
きみのみあと(御跡)をば
みちから(御能力)をたのみ
つひにをはり(終世)まで
みちかひのさかえ(光榮)
たがへずふみて
ひごとにすゝみ
つかへ(事)しのちに
うけしめたまへ

143 第百四十三

PASTOR BONUS. 7575757575

Then laid they their hands on them.

彼等の上に手を按ければ彼ら聖靈を受けたり　徒八〇十七

一 あふぐみでし(御弟子)を　いは(祝)ひつゝ
あまつみくによ　のぼりにし
みすくひぬしよ　みめぐみを
のぞむしもべを　いはひませ

二 むかしみでしの　て(手)によりて
きよきみたまの　たまものを
くだしゝきみよ　ちかよりて
いまもみたま(聖靈)を　そゝぎませ

三 かみのみむねを　さと(諭)しつゝ
たえずまもりて　よき(善)わざ(事)の
み(果)をばゆたけく　むす(結)ばしめ
つひにみくによ　いたらせよ

144 第百四十四

FREIBURG. 87878787

O Jesus, I have promised.

我に事ふる者は我がをる所に在らん　約十二〇二六

一
いのちのきみよ
みまへ(御前)にたてる
たひら(平)にやすく(安)
とこしへまでも

二
きみよ(世)にき(來)まし
ひと(人)のさが(性)にぞ
きよめしたみ(民)を
つねにまもりて

三
きみをまねびて
めでいつくしみ
みたみ(神民)にならひ
めを(妻夫)のまさみち(正道)

四
きみのあはせ(合)し
とは(永久)にきよめて
うき(憂)もたすけて
あまつみくによ

結婚　大なる奥義

祝(いはひ)
いはひませ
いもとせ(夫婦)を
みちびきて
まもりませ
かみ(神)のさが(性)
むすびにし
むかへ(迎)とり
め(愛)でたまふ
にひ(新)よめ(婦)を
にひ(新)むこ(夫)を
うやまひて
ふましめよ
いもとせを
たのしみも
あひ(相)にな(擔)ひ
すゝませよ

145 第百四十五

NEWINGTON.　7777

Thine for ever, God of Love.

ヱが設る日に彼等をもて我が寶となすべし　馬三〇十七

一　あめ(天)のみちゝ(御父)よ　たよるわれらを
みまし(汝)のもの(屬)と　なさしめたまへ

二　なやみをえのび　あた(仇)とたゝかふ
よき(善)つはもの(兵)と　なさしめたまへ

三　つねにまもられ　やしなひ(飼養)うくる
まき(牧)のひつじと　なさしめたまへ

四　つみのゆるしと　あつきめぐみを
うくるみたみ(神民)と　なさしめたまへ

五　よ(世)にさそはれず　みくにをのぞむ
きよきよつぎ(世嗣)と　なさしめたまへ

146 結婚 第百四十六

RUTH.　75757575

Christ, we come before Thee.

この奥義は大なり　弗五〇三二

O Love, divine and tender.

AURELIA. 76767676

汝ら總て婚姻のことを尊ぶべし　來十三〇四

一
愛(あい)の御神(みかみ)よ
このいもとせを
いと美(うるは)しき
装(よそ)はせたまへ
みまへにたつ
めぐみ祝(ほ)くし
あいの衣(ころも)
とこしなへに

二
玉(たま)しく庭(には)も
うるほひなくば
埴生(はにふ)の小屋(こや)も
てり輝(かゞや)かば
あいの露(つゆ)の
など安(やす)からん
あいのひかり
たのしみ滿(み)たん

三
あいのみかみよ
たすけあひつゝ
愛(あい)にてみつる
住(す)まふそなへを
世(よ)のたびぢを
たどる間(ま)にも
天(あま)つ家(いへ)に
合(な)さ為(せ)たまへ

147　第百四十七

SOMETHING FOR JESUS. 75757775

O Christ, the King of human life.

二人の者一體となるべし　可十〇八

一
むすぶいもせの
ながきちぎりは
ちゝなるかみの
さかゆるすゑぞ
あい（愛）のひも（紐）
かはりなき
みむね（御旨）になりて
たのしかる

二
みまへにきよく
め（妻）を（夫）のなからひ
あらたにつくる
あまつよろこび
ならびたつ
さきはひて
いもせのいへ（家）に
みた（充）してよ

三
耶蘇とみたみ（神民）の
かたみ（互）にあいし
にな（擔）ひたすけて
いさみてすゝめ
あい（愛）のごと
おもに（重荷）をも
みくにのたびぢ
ためらはで

たがひにわかち（分）　ともににな（擔）ひて
よろこびすゝめ　主のみち（道）に

150* 第百五十

S. OSWALD.　8787

The voice that breathed o'er Eden.

神の合せ給へる者は人これを離つべからず　太十九〇六

一　いもとせ（夫婦）のみちを　ひらきたまひて
しく（祝）せしみこゑは　いまなほきこゆ

二　ちゝみこみたまも　くだりき（来）まして
いはひのむしろ（筵）を　さきはひたまはん

三　アダムにエバを　たまひ（賜）しちゝよ
なぐさめたすくる　ともをわたへよ

四　かみとひとのさが（性）　わはしゝみこ（子）よ
ならぶいもとせを　むすびわはせよ

五　耶蘇のはなよめを　まもるみたまよ
ひれふすふたりを　しく（祝）しきよめよ

六　とこしへのかみよ　めぐみまもりて
いくよ（幾世）もかはらず　さきはひたまへ

149* 第百四十九

In all good things united stand.　HOME.　7575775

愛はすべての德の帶なり　四三〇十四

一
いもせをちぎる
わが主もともに
ちゝなるかみの
いはひのむしろ
いへのうち
ゐたまひて
みむねになれる
ゑくしませ

二
いましみまへに
むすぶちぎりは
やちよもともに
まごゝろつくし
たちならび
かはらじな
たすけいそしみ
主につかへん

三
あいのいしずゑ
へいわのはしら
かみのみめぐみ
さいはひいへに
かたくすゑ
なほくたて
つねにおほへば
たえざらなん

四
きよきいもせの
なぐさめつきず
まじはりは
おもにをも

第百五十二　BETHLEHEM(1). 86868686(D.C.M.)

The thought of Christ's love cheers my heart.

主は慈悲ふかく且つ憐恤ある者なり

雅五〇十一

一
われやめる（病）ときに　なぐさめあり
われらにかむりて　ち（血）をながしゝ
耶蘇のくるしみを　おもひやれば
われらのいたみは　とみに（俄然）されり

二
くるしめるときに　め（眼）をさまして
かみのしもべなる　ヨブをみれば
サタナにうたれて（撃）　いたくなやみ
なみだのうちにも　かみ（神）をあがむ

三
わざはひのときも　よろこびあり
かみはいつくしむ　こ（子）をむちうち
ひ（火）をもてきたふる（鍛煉）　ことをしれば
み（身）をやくばかりの　く（苦）をもしのばん

151 第百五十一

HOLLINGSIDE.　7777777

Who healeth all thy infirmities.

主はなんぢの總ての病をいやし給ふ　詩百三〇三

一 やまひ(病)のとこ(床)に　なやめるものよ
わが主をあふぎ　くすり(藥)にまさる
み(御)こと(言)ばをうけ　みもたましひも
ほろぼすつみの　やまひをいやせ

二 やまひにかゝり　くるしむともよ
よしもゝ(百)とせ(年)の　よはひをふ(歴)とも
よ(世)はたゞゆめ(夢)の　またゝくひま(隙)ぞ
しな(不死)ぬいのちを　ひたすらねがへ

三 よるはねぶらず　あしたをしたひ
ひるはゆふべを　まちてなやめど
そのくるしみと　のちのさかえ(光榮)を
くらべてしのべ(忍)　やめる(病)わがとも(友)

よみがへるひ(日)を
ねぶるわがとも(友)を
たのしみのぞみ
ちゝのて(手)にゆだぬ

154* 第百五十四

S. AGNES. 8686 (C.M.)

Why should we mourn departing friends.

汝らの憂戚は望なき他人の如くならざらんことを願ふ　撒前四〇十三

一
よ(世)をさるとも(友)をば
し(死)てそかみ(神)にゆく
かなしむまじ
かど(門)なりけれ

二
まことのやす(安)み(息)は
し(死)のとく(屍)きたるを
あめ(天)にあれば
われいとはじ

三
なきがらおくるを
さきだちゆきにし
なげきなせそ(勿爲)
主をおもひて

四
主はよみがへりて
われらもすゑ(末)のひ(日)
さかえをうく
はか(墓)をぞいでん)

五
うづむるともをば
し(死)のねぶりさます
み(御)て(手)にゆだね
み(御)こゑ(聲)をまたん)

153 第百五十三　HEBRON. 777788

Now the labourer's task is o'er.

朽るものにて種かれ朽ざるものに甦さる
哥前十五〇四二

一 たゝかひををへ　つとめをはてゝ
いまぞみくにの　きし(岸)にていこふ
ねぶるわがとも(友)を　ちゝのて(手)にゆだぬ

二 なみだぬぐはれ　うたがひはれて
なほきみさばき　主にてそうくれ
ねぶる(眠)わがともを　ちゝのてにゆだぬ

三 十字架をあふぎ　ねぶりしものは
みその(御園)にきみの　あい(愛)をあぢはふ
ねぶるわがともを　ちゝのてにゆだぬ

四 みて(御手)にまもられ　うくるやすき(平安)は
よみのちからも　そこなひえじな
ねぶるわがともを　ちゝ(天父)のてにゆだぬ

五 つち(土)よりなりて　つちにかへれぞ

いまとれど　とはのいのちを
よそはせて　われらにかへさん

156 *　第百五十六

REST.　8888 (L.M.)

Asleep in Jesus ! blessed sleep.

今よりのち主に在て死る死人は福なり　默十四〇十三

一　耶蘇きみにありて　いぬるぞやすけき
このよのうれひに　またとはめさめじ

二　耶蘇きみにありて　いぬるぞたのしき
しのはりはいづこ　うたひつゝいこはん

三　耶蘇きみにありて　いぬるぞさちなる
おそれもなやみも　みかほをかくさじ

四　耶蘇きみにありて　いぬるぞうれしき
やすらかにふして　みこゑをこそまて

五　耶蘇きみにありて　さむるぞこよなき
ふたゝびあひみて　みもとによろこばん

155 第百五十五　DOLOMITE CHANT.　5757575757

Thou art gone to the grave.

陰府よ汝の勝はいづくに在りや　哥前十五〇五五

一
かなしみの　やみ(闇)にかくれし
わがとも(友)を　なげきはせじな
し(死)のかど(門)に　さきだちいりし
すくひぬし　みち(路)びきませば

二
なやましき　よ(世)のみちはてし
わがともは　め(眼)にはみえねど
つみ(罪)あらで　しにましゝ主に
ともなはれ　やすけく(ぞあらん)

三
とも(友)のたま(靈)　よしやなげきて
かり(假)のや(家)を　たちはなれしも
ねぶりさめ　主のみもとにて
みつかひ(天使)の　うたをこそきけ

四
よ(世)をさりし　とも(友)をなげかじ
わがかみは　あがな(贖)ひまもり

第百五十八

VENI CREATOR. 8888 (L.M.)

Veni Creator Spiritus (2).

聖靈なんぢらに臨むによりて汝ら能力を受くべし　徒一〇八

一 みたまよくだりて　なが（汝）つくりまし〻
こゝろにめぐみを　あふれしめたまへ

二 なゝ（七）のたまものゝ　あぶらをそゝぎて
いのちのいづみを　ひらきの（飲）ましめよ

三 こゝろのくらきを　てらしみちびきて
けがれもはぢをも　とりのぞきたまへ

四 わがうちにやどり　やすき（平安）をたもたせ
そと（外方）よりおそふ　あたをふせぎてよ

五 ちゝ（聖父）みこ（聖子）みたま（聖靈）の　みつ（三）のくらゐなる
ひとり（一）のみ（御）かみ（神）を　さとらしめたまへ

六 ちゝみこのおくる　みたまみちびけば
かみのみさかえを　とこしへにうたはん

157* 第百五十七　REDHEAD. 47.　7777777

When our heads are bowed with woe.

みづから我らの患をうけ我らの病を負ふ　太八〇十七

一　このよにうまれ　よのうきことを
つぶさ(委曲)にし(知)らす　わがきみ耶蘇よ
かへらぬひとの　あとをしたひて
かなしむときに　なぐさめたまへ

二　よのつみをおひ　はぢもなげきも
あぢはひましゝ　わがきみ耶蘇よ
わがみ(身)にもてる　つみをかなしみ
おそるゝときに　たすけをたま(賜)へ

三　十字架にかゝり　し(死)のくるしみを
しのびたまひし　わがきみ耶蘇よ
よをさるときも　をはりのさばき
うくるときにも　めぐみをたまへ

四
みひかり（御光）てらせ
あい（愛）をそゝげな
みちからたま（賜）ひ
われをたすけて

五
あた（仇）なすものを
とは（永遠）にやすきを
なやみ（艱難）おほかる
みちびきまさば

六
あまつみちゝを
めぐみのみこ（御子）を
みちゝみてより
みまし（汝）をつねに

七
よゝとこしへに
きよきみたまに
みこ（御子）よちゝより
なぐさめぬしを

つみ（罪）のやみ（暗）
わがこゝろ
いとよわき
つよくせよ
しりぞけて
たま（賜）へかし
よ（世）のみち（路）も
おそれなし
あらはせよ
さとらせよ
いでたまふ
たよらせよ
ちゝとこ（子）と
ほまれあれ
あさゆふに
おくりませ

159 第百五十九

S. ANGELO.　75757575

Come, Holy Ghost, our souls inspire.

耶蘇息をふきて彼等に云けるは聖靈をうけよ　約廿〇廿二

一
みたまの神(かみ)よ　くだりませ
御手(みて)につくられ　みてにつく
われをあはれみ　わが衷(うち)に
たへなるめぐみ　充(み)たしてよ

二
慰(なぐさめ)主(ぬし)と　たゝへいふ
神(かみ)のめぐみの　たまものは
きよき天(あめ)の火(ひ)　活(い)ける水(みづ)
奇(くし)き膏(あぶら)の　灌(そゝぎ)なり

三
つよき能(ちから)・力(ちから)の　かみの指(ゆび)
七(なゝ)の御事(みわざ)を　なしたまふ
天父(ちゝ)のちかひの　みたまこそ
ことばを口(くち)に　富(と)ましむれ

161* 第百六十一

The Church's One Foundation.

AURELIA. 76767676

敎會は彼の體にして彼は其首なり 西一〇十八

一
いともたふとき
ち(血)のあたひ(價)もて
きよきすまひを
そのいしずゑと
主はあもり(天降)て
たみをあがひ(贖)
つくりたてゝ
なりたまひき

二
よものくにより
のぞみもひとつ
ひとつのみかて
ひとりのかみを
えらばるれど
わざもひとつ
ともにうけて
をがみたのむ

三
さは(數多)のあらそひ
よびとそしりて
かみはたえざる
なみだにかへて
み(神)たみ(民)をさき
なやむれども
いのりをきゝ
うたをたまはん

四
よ(世)にのこるたみ(民)
ともにまじはり
とはのやすきを
きみのきますを
さりしたみ(民)と
かみをあふぎ
まちのぞみて
せちにいのる

160 第百六十

LIGHT.　777777

Lord, pour Thy Spirit from on high.

汝の祭司たちは義を衣なんぢの聖徒はみな歡び號はん　詩百三二〇九

一 耶蘇よみたまを
うへ(上)よりそゝぎ
めされ(召)しものに
めぐみをあたへ
ぎ(義)のころも(衣)ゝて
よそはせたまへ

二 みとの(御殿)にたちて
主のみをしへを
のぶるゑもべを
みぎのみてなる
ほし(星)とひとしく
まもらせたまへ

三 たふときち(血)にて
あがなひましゝ
みたみをあいし
もゆるこゝろに
やはしきさとり
いだかせたまへ

四 よ(夜)もひ(日)もたえず
め(目)さ(覺)ましいのり
むれをみちびき
まもりやしなひ
きよきつとめを
つくさせたまへ

五 ゆだねたまひし
わざ(事)ををはりて
まみゆるときは
いのちのかむり
いたゞきてよゝ
さかえしめてよ

我らの救の神よ聖名の榮光のために我らを助け給へ

詩七九〇九

一
あまつかみ　わがすくひぬし
みたみらは　おほまへにふし
ねぎ(祈求)まつる　あはれみゆるし　すくひてよ

二
よもやもに　あたびとつどひ
ひや(火矢)をいて　はげしくおそひ
せめく(攻來)なり　みたみをかこひ　すくひてよ

三
おもきつみ　さそひてやまず
ふせげども　ちからはたらず
みたすけ(御助)に　よら(頼)ずばかたず　すくひてよ

四
あたびとに　まことをしめし
よこしまの　こゝろをかへし
みこ(聖子)のち(血)に　つみとがをけし　すくひてよ

五
みたみらに　やすきをあたへ
かなしみを　よろこびにかへ
とことはに　さきはひたまへ　みくにまて

162 * 第百六十二

Glorious things of thee are spoken.　　AUSTRIA.　　87878787

シオンの山は美しく喜悦を地にあまねく與ふ　詩四八〇二

一
さかえにみちたる（充）
とこしへのいはの（岩）
すくひのいしがき（石垣）
みたみのやすきを（平安）
かみのみやこは
いしずゑかたく（基礎）
たあくかこめば（侵）
たれかはをかさん）

二
つきせぬあいより（愛）
ゆたかにわきいで（饒・湧出）
かみのみたみらは（神民）
あふるゝめぐみに（溢）
いのちのいづみ
くめどつきねば（汲・盡）
かわくときなく（渇）
たえずうるほふ（潤）

三
かみにまもらるゝ
はかなきたのしみ（誇）
ほこるよのひとの（世人）
こよなきよろこび
みやこのたみは（都民）
むなしきとみに（富）
あざみにあふも（嘲）
つゆもかはらじ

163 第百六十三

Lord of our life, and God of our salvation.　　CLOISTERS.　　5757575

165* 第百六十五

NUREMBURG. 7777

Lord of Hosts, to Thee we raise.

我なんぢの爲に住むべき家を建たり　代下六〇二

一　あめつち（天地）の主よ　みさかえのため
たてしみとのを　さきはひ（幸）たまへ

二　みまへ（聖前）にきたり　つどふ（會）みたみ（神民）に
うたといのりの　こゝろをたまへ（賜）

三　あめのかて（天糧）なる　みことばをもて
うゑたるものを　やしなひたまへ

四　あめつち（天地）ともに　たゝへ（稱）のこゑを
よろづよまでも　たからかにあげん

164 * 第百六十四　MANNHEIM. 878787

Christ is our Corner-stone.

此の基礎は即ち耶蘇キリストなり　哥前三〇十一

一　われらのおやいし（首石）　主耶蘇のうへに
このみやをたてゝ　たえせずもとむ
ひどとのめぐみと　みくにのさち（福）を

二　このみやにつどひ　みつ（三）のくらゐの
ひとり（一）のみかみを　たゝへうたひて
そのみさかえをぞ　つねにあらはさん

三　かみよちかより（近）て　あつきいのりと
こゝろのなげき（悲歎）に　みゝ（耳）をかたぶけ
あふるゝめぐみを　そゝぎたまひね

四　ちゝのみことばを　よろこびきゝて
ちから（能力）をうけつゝ　あまつみとのに
のぼりゆくみちを　あゆませたまへ

第百六十七

ITALIAN HYMN. 6646664

主よわが神よ僕の祈禱と懇願を顧みたまへ　王上八〇廿八

Come, Thou Almighty King.

一 よろづのもの(万物)　とはに(永久)しらす　みちゝよ
いまめぐみを(恵)　くだしたまへ
きよきみなを(聖名)　たゝへなん(称)

二 ひととなりし(人)　かみのみこよ(神子)　ことばの
ときうるぎを(鋭剣)　おびてきたり(帯)
しめしたまへ(示)　まことを(眞誠)

三 いともつよき(最)　なぐさめぬし　みたまよ(聖霊)
わがこゝろを　をさめたまへ
いまよりのち　はなれで

四 みつにまして(三)　ひとりのかみ(一)　みいづと
みさかえとを　とこしへまで
ほめたゝへて　まつろはん

166　第百六十六

NEWLAND. 7575

We love the place, O God.

汝の大庭にすまふ一日は千日にも勝れり　詩八四〇十

一　かみのみやゐの（宮居）　よろこびは
よのたのしみに（世）　まさるなり

二　みたみのつどひ（神民）　いのるとき
かみもちかより　きゝたまふ

三　つきぬいのちと　なぐさめを
しめすみふみは　よろこばし

四　みたまのたまふ　みめぐみの
たるゝいづみぞ　うるはしき

五　かみにちかづく　たましひを
やじなふかてぞ（糧）　したはしき

六　かみのめぐみを　たゝへつゝ
みくにのうたを　ならはゞや

七　かみのみやゐの　よろこびは
よのたのしみに　まさるなり

うけ(受)よめぐみ
かなしみうせ
このとのに
たえずたまふ

二 くもゐのみや
なべてもれぬ
ひとはくさの
あさのはえ(榮)は
とこしへの
このみとのに

三 主のすくひは
ときくたりて
なみだかわき
あい(愛)のみかほ
よろこびは
うきはうする

あふるゝあい(愛)
うきもきえん
とくきたれ
そのめぐみ

しづがふせや
うき(憂)ため(例)し
はなにひとし
よべ(夕)にちらん
さちぞある
とくきたれ

よ(世)にあまねし
くいよつみ
つみきよまる
むけ(向)たまはん
つねにみち
このみとの

168 第百六十八

FERRIER. 7777

Come to the morning prayer.

夕に朝に晝に主わが聲をきゝ給ふべし　詩五五〇十六

一 あさのつどひに　きたりていのれ
みくにへのぼる　ちからとぞなる

二 あつきひ(日)かげの　はげしきときは
よゝへしいは(岩)に　のがれていのれ

三 ゆふぐれどきは　つとめをへて
すべてをかみに　まかせていのれ

四 よは(夜)にこのみ(身)は　ふ(臥)しねぶるとも
こゝろはさめて　たえせずいのれ

169* 第百六十九

AGAPE.
SHEAVES. (P.M.)

Come to this place of prayer and bless.

人は我に向ひていざ主の家に往んと云るとき我よろこべり　詩百廿二〇一

一 かみのめぐみ　主耶蘇のあい(愛)
ゆたかにみつ　このみとの(御殿)

まもられゆく　みち（道）のとも（友）
このみとの（御殿）に　きたりつどひ
かみのみな（御名）を　ほめうたへ
（反折）
このとのに　いざうたはん）
めぐみふかき　かみのみな

二

このみとのに　みなをたゝへ
いのるま（間）こそ　よのなかの
うきもきえて　いとたのしき
みくによすむ　こゝちすれ
（折反）

三

このみとのに　たえずつどふ
われらはよ（世）を　やすくすぎ
やがて耶蘇の　そなへましゝ
あまついへに　いたりすまん）
（折反）

170　第百七十　TRŬSTING.　7777

Lead me in Thy truth.

主よわが唇をひらき給へ　詩五一〇十五

一 かみよみまへに　つどふわれらに
みたまをくだし　みちびきたまへ

二 まごゝろをもて　うた（讃歌）といのりを
さゝぐるかたに　みちびきたまへ

三 み（聖）ふみ（書）のむねを　ふかくこゝろに
あぢはふかたに　みちびきたまへ

四 つみをばくいて　耶蘇によら（頼）しめ
すくひのみちに　みちびきたまへ

171　第百七十一　BANNER.　(P.M.)

Blessed are they that dwell in Thy House.

汝の家にすむものは福なり　詩八四〇四

一 よ（世）のなみかぜ　さわぐなかも

禮拜　閉會祈念　（讃　三二）

一　かみよみやをさるとて
たゝへ（稱美）のうたをさゝぐ
きをいはふ（祝）みこゑ（御聲）
われにかけさせたまへ

二　みなをよびしわがくち
わがこゝろをきよめて
かへるいへぢをまもり
やすきをあたへたまへ

三　よもすがら（終夜）主のこ（子）らに
あたするあた（仇）をふせぎ
くらきをひかり（光）にかへ
やすき（平安）をあたへたまへ

四　よ（世）とたゝかふ（戰）ちからを
いまわれらにくだして
こと（事）はて（畢）ばとこしへの
やすきをあたへたまへ

172 * 第百七十二　WINCHESTER NEW. 8888 (L.M.)

Jesu, where'er Thy people meet.

我は世の終りまで常に汝らと共に在るなり　(馬太二八〇二十)

一 いづこにみたみ(神民)の　よりつどふをり(時)も
主はともにまして　みめぐみ(恩恵)をたまふ(賜)

二 たくみ(工匠)のわざなる　みや(宮)にすみまさで
へりくだる(謙卑)ものゝ　こゝろ(心)にゐ(居)たまふ

三 すくひ(拯救)のよろこび　われらにみたし(充)め
うつくしきみな(聖名)を　たゝへ(稱讚)しめたまへ

四 いのり(祈)のちからに　のぞみ(希望)をかたくし
たのしきみくに(神國)を　ちかづか(近)せたまへ

173 * 第百七十三　ELLERS.　10 10 10 10

Saviour, again to Thy dear Name we raise.

主は平安をもて其民を幸給はん　詩二九〇十一

一 かみよみめぐみを　われらにそゝぎ
よろこびにみちて　みまへをさらせ
あい（愛）のはたらきを　よ（世）になさしめよ

二 うゑ（植）しみことばを　こゝろのはた（畑）に
しげ（繁）らせみ（實）のらせ　むすぶよきみ（善果）を
あめ（天）なるみくら（御庫）に　たくはへしめよ

三 主のめし（召）うけなば　よろこびいさみ
あめ（天）なるみとの（御殿）に　やすらにのぼり
みすくひのちから　たゝへしめてよ

176 第百七十六　VESPER HYMN.　878787

May the grace of Christ our Saviour.

聖靈のまじはり　哥後十三〇十四

耶蘇きみのめぐみ　ちゝ（天父）のあはれみ
みたまのまじはり　つねにうけつゝ
おほかみ（大神）のもとに　ともにむつびて
あまつよろこびを　とはにえ（得）まほし

174 第百七十四

EILENBURG.　777777

Now may He who from the dead.

願くは平安の神凡ての善事において汝らを完したまはんことを　來十三〇二十

一　ひつじかひなる　わがきみ耶蘇を
よみがへらしゝ　へいわ（平和）のかみよ
むれ（群）をまもりて　やすからしめよ

二　われらのこゝろ　あらた（新）につくり
みむねにかなふ　よきみ（善果）をむすび
ことば（言）もわざ（行）も　またく（全）あらせよ

三　みすくひぬしの　ちしほ（血）によりて
とは（永遠）のちかひを　かためし（歷世）かみに
さかえ（光榮）あれかし　よゝとこしへに

175* 第百七十五

ROUSSEAU (GREENVILLE.) 878787　（讃　三三）

Lord, dismiss us with Thy blessing.

わが平安を汝らに予ふ　約十四〇二七

五　なゝつ（七）のたまもの
おくりてわれらを
そゝぐみたまを
いかし（活）たまへり

六　やはらぎ（平和）をあたへ
あたふるみかみ（御神）に
みくに（天國）れのぞみ
なにをかさゝげん

七　わがくら（庫）のたから
なにかはつきざる
ひめもつ（秘藏）こがね
みなさび（銹）くされ（腐）ん

八　かみをたゝへつゝ
あめ（天）なるみくら（御庫）の
そなふる（供）ものは
たからとぞならん

九　いまさゝげまつる
みくにのみつぎ（貢）に
くつ（朽）べきものも
うけいれたまへ

十　みいつくしみには
み（身）もたましひをも
むくいたらねど
よろこびさゝぐ（献）

177* 第百七十七　LANGDALE.　8787

O Lord of heaven and earth and sea.

われ如何して其の賜へる諸の恩惠を主に報んや　詩百十六〇十二

一 あめつちをゑらす（治）　たふときかみ（神）の
ふかきみめぐみに　なにをかむくいん

二 はる（春）ははな（花）さかせ　あき（秋）はみ（實）のらせ
をりにふさはしき　めぐみをたまふ

三 うから（親族）のなさけも　とも（友）のむつびも
すべてみ（身）のさちは　かみのたまもの（恩賜）

四 みこ（御子）をもをしまず　よびと（世人）のつみの
なだめのにへ（牲）にと　くだしたまへり

Thine are all the gifts, O God.

各人その受しところの賜物を以て互ひに施すべし　彼前四〇十

一　よろづ(萬)のもの(物)は　たれかはうけぬ　主ぞたまふ　主のめぐみ

二　はだし(跣)のもの(者)に　うゑ(飢)たるひと(人)に　くつ(靴)あたへ　かて(糧)たまふ

三　さは(多)にうけたる　めぐみ(恩)をひろく　みたみ(民)らの　わか(分)たせよ

四　つか(疲)るゝものは　まづしきものは　いこひ(憩)をえ　やす(休)むなり

五　かなしむものも　はな(花)のゑまひ(笑)を　はる(春)にあひ　ひらくなり

六　めぐみを謝する　とり(鳥)のね(音)よりも　こゑごゑ(聲)は　こゝちよし

七　あい(愛)のたのしき　主のみくらまで　み(果)のかをり　のぼりゆかん)

信施　共愛

(讀 百四八)

第百七十八

NARENZA. 6686 (S.M.)

We give Thee but Thine own.

我らは只なんぢの手より受て汝に献げたるなり
代上二九〇十四

一
わがさゝぐる(献)　ものはなべて(物)
かみ(神)よりうけたる　たまもの(恩賜)なり
二
うけしたから(財寶)　よく(善)もちふる(用)
いへづかさ(家宰)のごと　われもつとめん(勤)
三
をり(圏)をいでゝ　やまにまよふ
かみのひつじ(羊)らも　あまた(數多)ぞある
四
こゝろはしに(死)に　あい(愛)はひえ(冷)て
のぞみ(望)なきいへ(家庭)も　よ(世)にはおほし
五
まよへるをば　みち(道)にかへし
みなしご(孤兒)やもめ(寡婦)を　なぐさめ(慰)まし
六
主にならひて　なし(作)しわざ(業)を
なべて(悉)さゝぐれば　うけ(受)たまひね

願くは神その聖顔を我らの上に照し給んことを　詩六七〇一

一
いつくしみにみち　みちからにとみ
あめつちをすぶる（統）　かみ（神）のみまへに
よろこびのゐや（禮）を　つゝしみさゝぐ

二
くにのわざはひと　あた（仇）とをふせぎ
なりいでもの（産物）をも　ゆたかにたまふ
みめぐみをなどか　たゝへざるべき

三
みことばのひかり（光）　めぐみのつゆ（露）を
みね（峰）にもたに（谷）にも　えきほどこして
あまねくよきみ（善果）を　むす（結）ばせたまへ

四
くにびとひとしく　めぐみをおもひ
たかぶり（驕慢）をすてゝ　つみをとくい
わがなひのぬしを　あふ（仰）がせたまへ

五
主あらはれますひ（日）　たみ（民）みな（皆）つどひ
よろこびいさみて　かみのみまへに
すくひのかちうた（凱歌）　うたはせたまへ

180 國祭

第百八十 國に賜ふ恩惠

BARNBY IN D. 88888888 (D.L.M.)

O God, beneath Thy guiding hand.

神はいや遠永に我らの神なり　詩四八〇十四

一 あめつちをしらす(治)　おほかみのみては(御手)
よゝのおやたちを(列祖)　たえずみちびけり
しげれるしこぐさ(醜草)　みなかりつくして(刈)
やすけきいはねに(岩根)　くにをおきたまふ(國)

二 みめぐみわすれし　たみをもみすてず(民)
みてはいまもなほ(御手)　このくにのうへに
とまりてこゝだの(止　許多)　さきはひをあたへ(幸福)
いよゝひのもとの(日本)　ひかりをぞそふる

三 ちゝなるみかみよ　いつくしむたみに
ゆたけきめぐみを　おもひいでしめて(思出)
よろづくにたみと　こゑをうちあはせ
みいづとみさかえ(稜威　光榮)　うたはしめたまへ

181

第百八十一

MAGDEBURG. 878787

Before the Lord we bow.

一
いかづち（雷）をつの（角）ぶえ（笛）とし
いなづま（電）をつるぎ（剣）とし
あめつちをしらす（治）かみ（神）よ
やすき（平安）をくだしませ

二
あめ（天）のみざ（御座）によ（世）をさばき
たゞしきものをまもり
あやふき（危難）をすくふかみ（神）よ
やすきをくだしませ

三
われらきよきみち（道）をさり
おきて（律法）をすてしなれど
いかり（怒）をはなち（發）たまはで
やすきをくだしませ

四
へいわ（平和）のきみがかみ（神）に
みいづ（稜威）とみさかえ（光榮）あれ
あをくも（青雲）むかふす（向伏）かぎり
みな（御名）をたゝへうたはん

國祭　平和を祈る　（讃三六九）　

182*

第百八十二

HINOMOTO.　6646664

God bless our native land.

我らの神よ我らは只汝を仰ぎ望む　代下二十〇十二

一　わがやまと（大和）の　くにをまもり
　　あらぶる（暴）　かぜ（風）をゑづめ
　　よゝやすけく　をさめたまへ

二　わがかみ
　　わがあいする（愛）　くにをめぐみ
　　けがしき　なみ（涙）たゝせで
　　とこしなへに　きよめたまへ

三　わがかみ
　　わがひ（日）のもと（本）　ひかりをそへ
　　みこゝろ　お（成）こなはれて
　　主のみくにと　ならせたまへ
　　わがかみ

183*

第百八十三

RUSSIAN HYMN.　11 10 11 9

God the All-terrible.

主よ汝はわれらの爲に平和を設け給はん　賽廿六〇十二

彼等は收穫時に喜ぶが如く聖前に喜べり　賽九〇三

一　ゆき(雪)し(霜)もしげき　た(田)の(面)もゆたけく　いさみかりいれ　みや(宮)につどひて
ふゆ(冬)にさきだち　たるゝやつかほ(八束穂)　よろこぶたみは　めぐみをうたふ

二　このよ(世)はかみの　おしね(晩稲)くろびえ(黒稗)　みのりみのらば　みて(神勅)とのまゝに
し(治)らするたはた　まじりおふとも　みつかひ(天使)きたり　とがま(利鎌)をぞいれん

三　たのもふさぎて　はえ(生)たつ(立)ものを　よきものえらび　あまつみくら(天御庫)に
たゞいたづらに　わかちやきすて(燒棄)　とこしへまでも　とりいれ(納)をさめん

四　かみよみたみを　つみもなやみも　みつかひたち　うたふひ(日)をとく
みまへにおつめ　あらぬみとの(御殿)に　かりいれ(收穫)うた(歌)を　きたらせたまへ

184* 第百八十四　SPANISH CHANT.　777777

Now pray we for our country.

わが心に願ふ所と神に祈る所はイスラエルの救れんことを也　羅十〇一

一　かみよわれらは
さち(福)をいのれぞ
うまれしくにの
よろづのくにの
ことわけ(特別)いのる
たみのさきはひ

二　よも(四)のさかひ(境)に
くぬち(國內)やすけく
みやこもひなも
なみかぜたゝず
たはた(田畑)はみのり
にぎはせたまへ

三　くにをこぞりて
たのしきうたの
の(野)にもやま(山)にも
みかみ(御神)につかへ
こゑいやたかく
ひゞかせたまへ

四　いま(今)わがくにを
たみのまもりの
たえずみかげ(庇蔭)に
みて(御手)にぞまかす(委)
いはほとなりて
す(住)ましめたまへ

185* 收穫　第百八十五　S. GEORGE.　7777777

Come, ye thankful people, come.

第百八十七

WIR PFLUGEN. 767676 (CHO.)

We plough the fields, and scatter.

汝よき時に食物を之に與へ給ふ　詩百四〇廿七

一　われらたがへし（耕）　たねをまけど（種）
ゆきもておほひ　あめをそゝぎ
ひにてあたゝめ　かぜをおくり
おほしたつるは（生育）　たゞかみなり
（折）よきものみな　あめよりきぬ（天）
（反）かみのみめぐみを　ほめたゝへよ

二　あめかぜをすべ　はなをかざり（花）
とりをやしなひ　まもりたまふ
わきてわれらを（別）　みこととなへ（神子）
ひごとのかてを　あたへたまふ
（折　反）

三　つなぐたまのを（魂緒）　みのさきはひ（身）
みのるいなほも　ちゝのめぐみ
まごゝろをもて　いまさゝぐる
このゐやしろを　うけたまひね
（折　反）

收穫　感謝信施　（讃　三七四）

186 第百八十六

Praise, oh praise our God and King.

MONKLAND. 7777

恩恵をもて年の冠と之給へり　詩六五〇十一

一
ほめよたゝへよ
われらのかみの
ふかきめぐみは
いつもかはらず

二
ひ(日)ごと(毎)たがはで
あま(天)つひ(日)てらす
ふかきめぐみは
いつもかはらず

三
よ(夜)ごと(毎)きらめく
つき(月)ほし(星)かざる
ふかきめぐみは
いつもかはらず

四
さなへ(稲苗)うるほす
あめ(雨)つゆ(露)たまふ
ふかきめぐみは
いつもかはらず

五
たのも(田面)ゆたけく
みのり(實)たらはす
ふかきめぐみは
いつもかはらず

六
かりいれ(収穫)ものを
くら(倉)にみ(充)たする
ふかきめぐみは
いつもかはらず

七
つきぬいのちの
かて(糧)さへたまふ
ふかきめぐみは
いつもかはらず

八
よろづのたみよ
ふかきめぐみの
ちゝこみたま(聖父聖子聖靈)を
ほめよたゝへよ

第百八十九

CHIMES. 87878787

REAPERS.

Far and near the fields are teeming.

収穫は多く工人は少し

太九〇三七

一 みわたすたのもの（田面）　たりほのいねは
てるひにてがねの（日）　いろかゞやけり（色）
（折）たりほはいろづき　とがまをまてり
（反）かりいれせさせよ　ときすぎぬまに

二 はたらくゑもべの（刈人）　かずもすくなし
たのもにかりてを　とくましたまへ
（折　反）

三 あさひのぼるとき　あつきまひるも
ゆふひのてるまも　からしめたまへ（刈）
（折　反）

四 かりいれをへなば（終）　みちゝのいへに（天父）
やつかほになひて（八束穂）　かへらしめてよ
（折　反）

188 第百八十八

REDHEAD 45.　7777

How beauteous are the feet.

平和なる言を宣る者のその足は美しき哉　羅十〇十五

一 みやま（聖山）にたちて　よきおとづれを
つたふるものの　あし（足）はうるはし

二 みたみのきみは　あだ（仇）にかちぬと
つげくるこゑぞ　いといさましき

三 さき（前）のひじり（聖者）も　せち（切）にもとめて
きかざるこゑを　きくぞうれしき

四 よゝ（歴世）のをさたち　まちしにみ（見）ざる
あま（天）つひかり（光）を　みるぞさち（幸）なる

五 ものみ（斥候）のつげを　よろこびきゝて
みやこもひなも　かちうた（凱歌）うたふ

六 みて（御手）のちから。の　くすし（奇）きみ（君）の
すくひをあふげ　よものくにびと

一 きた(北)のはてなる
てるひ(日)にやく(熱)る
さけびもとむる
まよひのくさり

二 めぐみのつゆは
ゆたかにかゝり
のにもやまにも
などかひと(人)のみ

三 うへなき(無上)ちゑ(智慧)に
われらはいかで
くらき(暗黒)にまよふ
てらさでかくし

四 おはきみ耶蘇の
とき(時)のくるまで
すくひのひかり
あまねくてらせ

布教

救をよぶ聲

（讃百五三）

百九十七

こはりのやま(氷山)
まさごのはら
こゑぞひゞく
ときはなてと
くさき(草木)にすら
あまつさかえ
みちわたる(充満)を
つみにそみし
てらされたる
このひかりを
よ(世)のたみらに
ひめ(秘)おくべき
みよ(御代)をゑらす
いよゝはげみ
たかくかゝげ(國學)
よものくにゝ

190 第百九十番

UPTON CRESSETT. 7575

Lord, here am I; send me.

我こゝにあり我を遣したまへ 賽六〇八

一 かみ(神)のつくりし ひと(人)なれど
けがれのみちに まよふなり

二 みち(道)のあかしを つたへずば
いかでまこと(眞理)に かへるべき

三 すくひをえたふ わがたま(靈)に
まづみひかり(御光)を てらしませ

四 ちゑのことばを くち(口)にみ(充)てて
みな(聖名)をたゆまず のべしめよ

五 たかきいやしき おしなべて
かみのめぐみに いれしめよ

191 * 第百九十一番

BP. HEBER.

MISSIONARY HYMN. 76767676

From Greenland's icy mountains.

渉りて我らを助けよ 徒十六〇九

いまはかりいれの　ときとはなりぬ
などて(手)をつかねて　むなしくたつ(立)ぞ

二
うみやまへだつる　ことくにびとに
めぐみのおとづれ　つたへえずとも
かどべにまぢかき　さまよふものを
なぐさめみちびく　たづき(便)なきかは

三
おまつみつかひの　のぶるがごとく
ちからのことばは　かたりえずとも
よびとにかはりて　ちしほながしゝ
わがきみのみなを　えらせえぬかは

四
くものゐのみやびと　さとかるひとに
すくひのみをしへ　さとしえずとも
いやしきふせや(伏屋)の　をみなわらべに
主のいつくしみを　えめしえぬかは

五
なすわざなしとて　あだになたちそ
よびとのたましひ　ほろびにちかし
たそあるゆきねと　よべるみこゑに
われこそゆかめと　いさみてすゝめ

192 第百九十二　LEIPZIC.　777777

God of mercy, God of grace.

神我らが神は我儕を福ひ給はん　詩六七〇六

一
かみよあはれみ　われをさきはひ
みかほ(御顔)のひかり　つねにてらして
すくひのみちを　あらは(彰)さしめよ

二
かみよみたみの　くち(口)をひらきて
いともたゞしく　をさむるきみを
たえずたゝへて　うたはしめてよ

三
なりいでもの(産)を　ゆたけくあたへ
まことのさち(幸)を　たまふみかみを
よろづのひとに　ほめ(讃)しめたまへ

193* 第百九十三　YOUR MISSION.　87878787

Hark! the Voice of Jesus calling.

目を擧て見よはや畑はいろづき穫時になれり　約四〇三五

一
耶蘇きみのみこゑ　さやかにきこゆ
みよやよものた(田)は　みないろづき(熟)て

われ汝の眞實と汝のすくひとをのべ傳へたり

詩四十〇十

一
いともかしこし　耶蘇のめぐみ
つみにしにたる　みをもいかす
主よりたまはる　あめのかてに
うゑしこゝろも　あきたらひぬ
（反折）
よにあるかぎり　きみのさかえと
いつくしみとを　かたりつたへん

二
よのたのしみは　しばしのゆめ
とはにかはらぬ　たのしみある
耶蘇のめぐみを　うけしわれは
もれなくひとに　つげひろめなん
（折　反）

三
すくひのめぐみ　つぐるわれは
たのしみあふれ　うたぞとなる
ほろびをいでし　このよろこび
あまねくひとに　えさせまほし
（折　反）

四
たへにくすしき　主のめぐみは
よにみちわたり　あるかひなき
われをもすてず　めしたまへば
たれかもるべき　主のすくひに
（折　反）

194　第百九十四　BETHLEHEM (2).　757575

Rivers of water run down mine eyes.

人なんぢの法を守らざるに由てわが眼のなみだ川の如くに流る　詩百十九〇百三六

一　いかにかなしき　くらきたみ
かみのひかりを　いみさけて（忌避）
よこさのみちに　ふみまよふ（邪曲）

二　このよのとみの　まばゆきに（世）
めくらみまよひ　とこしへの（目眩）
いのちのたから　すつるなり

三　きよくたゞしき　みさばきを（審判）
よもにつたへて　ひとみなに（人）
かみのあかしを　しめさばや

四　うれひとなやみ　よせくとも（來）
まことをおびに　ゆひかため（眞理）
かたくしたてば　やすけしや（確立）

195*　第百九十五　TELL THE STORY.　76767676

I love to tell the story.

なんぢ朝に種を播け夕に手を歇るなかれ　傳十一〇六

一　はるのわした
あきのゆふべ
いそしみまく
た(足)りほ(穂)となる
（折反）
かりいるゝ
よろこびまて

二　み(天)そ(空)らかすむ
いぶ(吹)きすさ(進)む
ときをわかで
かりいるべき
（折反）

三　うさつらさも
きみがために
つひにみ(實)のる
きみはめでゝ
（折反）

なつのまひる
ふゆのよも
みちのたねの
ときゝたらん
ひ(日)はちかし
そのたりほ

のどけきひも
あらしにも
ま(播)けるたねの
あきゝたらん

み(身)にいとはで
たねをまけ
そのた(足)りほ(穂)を
み(見)そなはさん

196 第百九十六

S. Oswald. 8787

Preach the Gospel to every creature.

凡ての人に福音を宣べ傳へよ　可十六〇十五

一 よろこびのみつげ（御告）　あまねくのべよ
こはすくひぬしの　おほせのみむね（聖旨）

二 みこ（聖子）をよにたまふ　みいつくしみの
よろこびのみつげ　あまねくのべよ

三 すべてのよびとを　あがなひまし〵
よろこびのみつげ　あまねくのべよ

四 おはれみとりなす　きみのましまず
よろこびのみつげ　あまねくのべよ

五 なぐさめのみたま（聖靈）　つかはしたまふ
よろこびのみつげ　あまねくのべよ

六 もれなくいづこの　さとのたみにも
よろこびのみつげ　あまねくのべよ

197 第百九十七

Sheaves. (P.M.)

Sowing seeds of kindness.

みさかえ（光栄）うたふそのひ（日）を
のぞみ（望）つゝいそしめよ

199* 第百九十九

MELCOMBE.　8888 (L.M.)

O Spirit of the Living God.

彼等みな聖霊に満されて臆する所なく神の道を宣ぶ　徒四〇三一

一　いける（活）主のみたま　みめぐみのつゆ（露）を
のやま（野山）のすゑまで　ゆたかにおき（置）ませ

二　もえ（燃）たつことば（言）と　あい（愛）とをあたへて
やはらぎのみち（道）を　つたへさせたまへ

三　みだれのむらくも（叢雲）　のこりなくはらひ
へいわ（平和）のひかりを　かゞやかしたまへ

四　こゝろをとぢたる　ゆき（雪）しも（霜）をとき（融）て
いのちのわかくさ（若草）　おひたゝ（生立）せたまへ

五　いける主のみたま　よ（世）のたみ（民）をきよめ
十字架のかちうた（凱歌）　ひゞかしめたまへ

198 第百九十八

Far, far away in heathen darkness dwelling. McGRANAHAN. 11 10 11 10

死の蔭に坐する者の上に光出たり 太四〇十六

一 みち(道)わかぬやみ(闇)にまよひ
　し(死)のたに(谷)によすむひとに
　すくひのひかりをてらせ
　主のあとにしたがひて

二 よも(四)のと(戸)はいまひらけぬ
　耶蘇きみのつはものら
　ちからをともにあはせて
　とりこ(俘)をすくひいだせ

三 耶蘇きみのよみがへりて
　し(死)をほろぼしたまひし
　いのち(生命)のおとづれ(音信)をのべ
　すくひのめし(召)をつげよ

四 もろびとし(死)よりすくはれ
　みくら(御座)のもとにつどひ

第二百一

WEBB (TENTERN?)　767676

The morning light is breaking.

かれ國々の民に平和を諭さん其政治は海より海に及ぶべし　亞九〇

一
あした（朝）のひかり（光）　やゝあらはれ
くらきやみよの　あけゆくとき
ち（地）にすむこら（子輩）は　め（目）をさまして
なみだ（涙）ながらに　つみ（罪）をくいぬ

二
ことくにびと（異邦人）は　わがかしこむ（畏）
主のおほまへに　みなひれふし（平伏）
よろづのたみ（民）は　までゝるより
めぐみ（恩恵）をえたひ　そら（空）をあふぐ

三
あなたふと（貴）しや　すくひ（救）のかは（河）
つみあるたみ（民）も　主きませり（來）と
よろこぶひ（日）まで　ながれ（流）めぐり
よも（四方）のくにぐに（國々）　うるほしゆかん

200　第二百番

NEW CALABAR.　7777

Thy kingdom come, O God.

神國を臨らせ給へ　路十一〇二

一　主よくろがね(鐵)の　つゑ(杖)とりもちて
あた(仇)のかしらを　うちくだきてよ

二　きみのあたふる　やすき(安)とむつび(睦)
なほき(直)とすくひ(救)　いづこにありや

三　みちかひ(御誓)のごと　あらそひたえて
いくさ(戰)やむとき　いづれのひ(日)ぞや

四　あふぎまつめ(目)を　よろこばしめて
とく(速)みちからを　あらはしたまへ

五　みち(道)さへわかぬ　まくらき(眞黒)くにの
やみ(闇)をばてらせ　すくひのあさひ(朝日)

第二百三　WINCHESTER NEW.　8888 (L.M.)

Go labour on, spend and be spent.

凡て汝の手にたふる事は力を盡して是をなせ　傳九〇十

一　主耶蘇にならひて
ひびとのかて（日糧）とし
ちゝのみこゝろを
よろこびつとめよ

二　このよのさかえは
ゆめ（夢）よりはかなし
あめ（天）なるほまれ（譽）を
のぞみてつとめよ

三　つきせぬいのちの
ときこそちかけれ（近）
かむり（冠）をいたゞく
いさみてつとめよ

四　むなしくすぎゆく
よ（世）のたびゞとらに
かみのまさみち（正道）を
たゆまずをしへよ

五　のぞみもなくして
さりゆくぞおほき
よみ（幽冥）のみちてらす
ともしび（燈火）かゝげよ

六　はなむこ（新郎）きたりて
ほむるときちかし
さめて（醒）まつものを
しのびて（忍耐）つとめよ

布教奬勵

202 第二百二

Thou, Whose Almighty Word.

REDEMPTION.　878787

神光あれと言ひ給ひければ光ありき　創一〇三

一
とこよ（常夜）のやみをば
みことばをきかせ
てらさぬくにまも
わかち（分）しかみ（神）よ
みすくひのひ（日）の
ひかりをたま（賜）へ

二
めしひ（盲者）のかなしみ
よびとをあはれみ
くらきこゝろにも
いやしゝきみよ
わづらひなやむ
ひかりをたまへ

三
いのちをあたふる
まこと（眞理）とめぐみ（恩惠）の
このよのやみぢに
きよきみたま（聖靈）よ
ともしび（燈火）をもて
ひかりをたまへ

四
ちゝみこみたまの
おほうみ（大海）にみつる
あまねくひかりを
ひとり（一）のかみ（神）よ
うしほのごとく
みた（充）しめたまへ

第二百五

おのれを神に献ぐべし

Father, Son and Holy Ghost.

HALLETT.

7777777

羅六〇十三

一 ちゝこみたまの
あめになるごと
きよきみむねを
ひとりのかみよ
あまねくつちに
おこなはしめよ

二 つみふかきみも
きみのみさかえ
われをきよめて
ゆるしをうけて
あらはしえなば
もちひたまひね

三 わがみたましひ
おもひもすべて
うけてあらたに
ことばもわざも
そなへまつれば
つくりたまひね

四 よにふるつきひ
ちからもちゑも
いまこそかへせ
わがもてるもの
みなきみのもの
みてにとりてよ

五 このよのほまれ
やまひすこやか
わがことごとは
とものまじらひ
まがさちともに
きみのまにまに

六 きみにつくみは
わがよのたびぢ
さかえのみかほ
たのしみあふる
はてたるときは
みてぞよろこばん

修養　献身の決心

204 修養　耶蘇と偕に休む

第二百四　BEAUMARIS.　10 10 10 10

Come ye yourselves apart and rest awhile.

汝ら我とともに靜なる所に往て休むべし　可六〇三一

一
きたれつかれしものよ
にぎはふちまたをさけ
しづかにわがもとにて
しばしともにやすらへ

二
はなれよよのたのしみ
とれよよのほかのさち
きたりしたしみかたれ
あめのちゝとわれとに

三
おそれをものぞみをも
ことばわざをもつげよ
あはれやすきものかは
よびとをすくふつとめ

四
つとめのにはむひろく
ながちからはおとろふ
いのちのかてをくらひ
わがさかづきよりのめ

五
あたらしきちからをえ
もちばにかへりゆきて
わがあとをふみならひ
ひのいるまでいそしめ

はてはさかえの　みかほ（御顔）をあふぎ
あまつよろこび　むかへしめてよ

207* 航海

第二百七

Eternal Father, strong to save.　MELITA.　888888

主は彼等をその望むところの港に導き給ふ　詩百七〇三十

一　はてし（際限）もしられぬ　あをうなばらをも
しろしめすかみ（神）よ　やへ（八重）のあらしほ（荒潮）の
なみぢゆくとも（友）を　やすくまもりませ

二　さかまくなみ（浪）をも　すさむはやち（暴風）をも
みこゝろのまゝに　しづめし主耶蘇よ
なみぢ（浪路）ゆくともを　やすくまもりませ

三　くぐもり（溟涬）みだるゝ　くらきおほなだ（大海）を
おほひはぐゝみ（覆育）て　をさめしみたまよ
なみぢゆくともを　やすく（安然）まもりませ

四　めぐみとちからの　もとなるみかみ（神）よ
あやふきときにも　たひらけくまもり
のぞむみなと（港）まで　みちびかせたまへ

206* 第二百六

LEYDEN. 7777777

Lord, speak to me that I may speak.

われらは神とともに働く者なり　哥前三〇九

一
わがきみ耶蘇よ
をしへのまゝに
われをたづねし
まよふひつじ(羊)を
われををしへて
かた(語)らしめてよ
あい(愛)にならひて
たづねしめてよ

二
やすけき(平安)みちに
まどへるものを
うまき御かて(糧)を
うゝる(饑)やからに
われをあゆませ
みちび(導)かせてよ
われにたま(賜)ひて
わか(分予)たしめてよ

三
御ちから(力)を
あやふき(危)ものを
われをいこ(憩)はせ
つかれしものに
われをつよくし
たすけしめてよ
きみのなぐさ(慰)め
あたへしめてよ

四
われをめぐみの
みむね(聖旨)のまゝに
うつは(器)となして
もち(用)ひたまひね

209* 第二百九　GOD BE WITH YOU. (P.M.)

願くは主なんぢらと倶に在さんことを　得二〇四

God be with you, till we meet again.

一　かみ(神)ともにいま(在)して　ゆくみち(途)をまもり
あめのみ(御)かて(糧)もて　ちからをあたへませ
(折反)　またあふひ(日)まで　またあふひまで
かみ(神)のまもり(守護)　なが(汝)み(身)をはなれざれ

二　あれの(曠野)をゆくときも　あらしふくときも
ゆくて(往方)をしめして　たえずみちびき(導)ませ
(折反)

三　いぶせきくも(雲)おほひ　ゆきなやむときも
あまつみ(御)ひかり(光)を　てらしなぐさめ(慰)ませ
(折反)

四　み(御)かど(門)にいるひ(日)まで　いつくしみひろき
み(御)つばさ(翼)のしたに　たえずはぐゝみ(育)ませ
(折反)

送別　祝福を乞ふ　(讃 三九二)

友を委ね

第二百八

Prayer for Christ's leading.　BLUMENTHAL.　77777777

我すべて汝のゆく處にて汝を守らん　創二八〇十五

一
みめぐみふかき　わがきみ耶蘇よ
ながくむつびし　われらのともは
はるけきたびに　いまいでむかふ
つゝがあらせで　みちびきたまへ

二
はやちあらなみ　しづめし耶蘇よ
たゞみちからに　すがりていづる
ゆくてやすけく　ともなひまして
きみのしもべに　まもらせたまへ

三
よゝあめつちを　をさむる耶蘇よ
わかるゝのちも　いのりてともに
みたまのめぐみ　ゆたけくうけて
つねにまさみち　ゆかしめたまへ

主は今より永遠に至るまで汝の出ると入るとを守り給はん　詩百廿一〇八

一　みちとはき　わがとも（友）を　ゆだねていのる
たび（旅）にいでゆく　あまつみちゝに

二　うみ（海）ゆくも　まさきく（幸）て　みちびきたまへ
をか（陸）ゆくときも　よ（夜）もひ（日）もやすく

三　よこしまの　いざなひ（誘惑）の　まもりたまひね
まが（禍）かせ（風）ふくも　なみ（涙）さわぐとも

四　なぐさむる　すまふ（住）とも　たえずわれかし
とも（友）なきさと（郷）に　みたまのめぐみ

五　みめぐみは　わがともの　うるはしたまへ
いづみ（泉）とながれ　かわくこゝろを

送別　保護を求む

210* 第二百十

HOLYROOD. 6686 (S.M.)

Blest be the tie that binds.

視よ兄弟相睦びて共に居るは如何に善く如何に樂しき哉　詩百三三〇一

一 かみ(神)によりて　いつくしめる
とも(友)のまじらひは　いともたのし

二 ちゝ(天父)のまへに　せち(切)にいのらん
のぞみもおそれも　ともにおなじ

三 とも(共)にえのぶ　うきなやみも
みめぐみのもとに　やがてきえなん

四 わかるゝとき　かなしけれど
またあひみるひ(日)は　うれしくあらん

五 つみとうれひ　なきみくに(天國)の
としへのむつび(親睦)　よろこびまたん

211 第二百十一

NOYES. 57577

With the sweet word of peace.

うみやまへだてゝ　み(身)はなるとも
こゝろ(心)といのり(祈)は　ともにゆきかひ
はげ(勵)みつく(盡)さまし　よ(世)になすつとめ(責務)

213 童蒙

第二百十三　　S. STEPHEN.　　8686 (C.M.)

The morning bright with rosy light.

主よ朝に汝わが聲を聞たまはん　　詩五〇三

一 あさひのひかりに　いま(今)しめさ(目覺)む
みまもり(御守)にやすく　ひとよ(一夜)をすぐ

二 このひ(日)もつみより　われをすくひ
ひねもすみまへに　す(住)ませたまへ

三 ちゝみこみたまよ　われをめぐみ
みくにゆくみち　ふ(踏)ませたまへ

212 學生の送別

第二百十二

FAREWELL.　8787878787

Soon to our homes we shall go.

願くは主われと汝の間を監み給はんことを　創三一〇四九

一
みかみのたまひし　こゝろのたまを
みがきしまなびの　いへをたちいで
ゆくてをことにし　たがひにわかる
わかれていづくに　ゆくともともに
をしへのひかりを　よにかゞやかさん

二
なれにしまなびの　いへをわすれず
をしへのみおやの　めぐみをおもひ
かみのみさかえを　つねにあらはし
したしきともどち　うからやからに
まことゝわいとを　いへづとにせよ

三
まなびのまどにて　かたくむすべる
むつびのくさりは　とくるときなし

第二百十五　KALOKAGATHIA. 7676 (CHO.)

All things bright and beautiful.

主は総ての物を其用の為に造り給へり　箴十六〇四

一　くしき（奇）うるはし（美）　よ（世）のことごと（事物）
　　あめつちもみな　かみのみわざ

二　あをきやま（山）をか（岡）　きよきながれ（水流）
　　かゞやくひ（日）つき（月）　ちひろのうみ（海）
　　（折反）
　　くしきうるはし　よのことごと
　　あめつちもみな　かみのみわざ

三　みそら（天空）とぶとり　ち（地）にはふむし
　　にほふはる（春）はな（花）　あきのもみぢ（紅葉）
　　（折反）

四　なつのすゞ（涼）かぜ（風）　ふゆのみゆき（雪）
　　ののべ（野邊）のわかくさ　とし（年）のみのり（收穫）
　　（折反）

五　ものみるまなこ（眼）　さときこころ
　　みわざ（御業）ほむべき　くち（口）をたまふ
　　（折反）

214　第二百十四　　EUDOXIA.　7575

Now the day is over.

なんぢ臥とき怖るゝ所あらず臥ときは甜く睡らん　箴三〇廿四

一
たそがれ（黄昏）のそら　くれゆきて
このひのをはり　つぐるなり

二
くもまにほしの　ほのみえて
はな（花）もことり（小鳥）も　ねぶるなり

三
かみよつかれし　まなぶたに
やすきねぶりを　さづけてよ

四
ゆめにわらべを　よろこばせ
やみふす（病臥）ひとを　なぐさめよ

五
あしきしわざを　おしとゞめよ
ふなぢゆくひと　まもりませ

六
あまつつかひの　つばさにて
わがふすとこを　おほひてよ

七
あさひとともに　おきいでて
こゝろきよらに　うたはせよ

八
ちゝこみたまの　わがかみに
よゝかぎりなく　さかえあれ

FLOWERS. 6565 (CHO.)

Children, ye are flowers.

かれは百合の如く花さかん　何十四〇五

一　こらよこらは（兒輩）　エデンのはな（花）
かみのみて（御手）に　おほしたつ（育）
めぐみのつゆ　おきそひて
（折反）いやさか（榮）ゆく　エデンのはな

二　エデンのはなよ　かを（香）はなち
よもにしめせ（示）　主のめぐみ
（折反）

三　こらよこらは　あい（愛）のはな
主のひかりに　いろ（色）ましぬ
（折反）

四　あいのはなよ　いろにでゝ（出）
よ（世）にあらはせ　耶蘇のあい
（折反）

第二百十六

SILVER.　8886 (CEO.)

Oh what can you tell, little pebble.

主よ汝の凡ての事蹟は汝に感謝す　詩百四五〇十

一
いとしきていしよ　いざわれにかたれ
うるはしきはまむ　なにのためぞ
あめつちつくりし　かみのみめぐみを
いさでのかずかず　ほむるためぞ

二
いとしききくさばな　いざわれにかたれ
たへなるいろかは　なにのためぞ
あめつちつくりし　かみのみめぐみの
さかえをのやまに　みたすためぞ

三
いとしきことりよ　いざわれにかたれ
たのしきねいろは　なにのためぞ
あめつちつくりし　かみのみめぐみを
よろこびたゝへて　うたふためぞ

四
いとしきこどもよ　いざわれにかたれ
うれしきゑがほは　なにのためぞ
あめつちつくりし　かみのみめぐみを
あまねくよびとに　ゑめすためぞ

(合唱)
かくてぞわれらの　ちゝなるみかみに
ほまれとさかえは　とこしへなれ

われらをまもり
すべてよきもの
そのをりをりに
あいする(愛)か
そなへおき
めぐむなり

219 第二百十九

悪を離れて善を行へ

Do no sinful action.

CLARENCE. 7777

詩三四〇十四

一 耶蘇のこどもら
あしきしわざを
あらきことばと
つねにつゝしめ

二 きみのにうわ(柔和)の
きよらになほき
みすがた(御)うつし
みわざ(行)にならへ

三 わらべ(兒童)いざなふ
耶蘇にすがりて
あた(仇)いとおほし
つみにな(勿)おち(落)そ

四 かみにたてたる
サタナのわざ(所爲)に
ちかひをまもり
とほくはなれよ

五 きみなる耶蘇の
そのみめぐみを
みあとをしたひ
あさ(朝)ゆふ(夕)いのれ

218 第二百十八

PASTOR BONUS.　75757575

God dwells in heaven.　創十六〇十三

汝は見たまふ神なり

一 あめにまします
わらべ(兒童)のいのり
よろこびきゝて
しるしのさち(幸)は

ちゝ(父)がみ(神)は
きゝますや
みこたへ(御答)の
いとおほし

二 あめにまします
あしきしわざを
よるひるともに
わざ(行)をもらさず

ちゝがみは
みたまふ(見)や
よしあしの
みそなはす

三 あめにまします
いつはることを
うちにかくれし
あらはにしりて

ちゝがみは
しりますや
ひめごと(秘事)も
むくゆべし

四 あめにまします

ちゝがみは

よきことなさば　つひにたのしき
みくにゝのぼり　きみにぞまみえん

221* 第二百二十一　SWEETEST NAME.　87.87.87

There is no name so sweet on earth.

その聖名は高くして比類なし　詩百四八〇十三

一 耶蘇にまさるなは（名）　あめつちになし（天地）
ちゝのみこゝろを（聖意）　よにあらはせり（世）
（折反）わがきみ耶蘇よと　よろこびうたふ
みなのたふとさは（御名貴）　よにたぐひなし（世）

二 いとたかきかみの（世神）　みこにしませど（聖子）
よをすくふゆゑに（救）　耶蘇とはよびぬ
（折　反）

三 ゑふじかのうへに　かゝげしみなを（御名）
よろづのくにたみ（國民）　いまなほあいす（愛）
（折　反）

四 ちゝなるみかみの（御世父神）　みぎにのぼりて（右）
みよゑらす耶蘇の　みいづかしこし（稜威）
（折　反）

第二百二十

IRBY.　777777

Once in royal David's city.

耶蘇ちゑも齡も彌增り神と人とにます〲愛せられたり　路二〇五二

一
ダビデのむらの　うまや(厩)のうちに
おはする(居)みこ(聖子)と　みはゝ(聖母)とをみよ
みはゝなるマリア　みては耶蘇きみ

二
よろづのひとの　きみにいませど
うまやのうちに　うまれたまひて
いやしきものと　うちにゐたまふ

三
をさなきときも　やさしくまめ(忠實)に
おやにつかへて　うやまひつくし
こ(子)たるつとめの　のり(法)とはなりぬ

四
ちゑ(智慧)もよはひも　ひ(日)にひ(日)にまして
なきもわらひも　なしつゝそだち
よのさましりて　ひとをあはれむ

五
いま耶蘇きみは　うまやにまさで
ちゝなるかみの　みぎにいまして
よろづのものを　をさめますなり

六
あい(愛)のきみをば　われらもあい(愛)し

小事に正しき者は大事にも正し　路十六〇十

一
みめぐみうくる　耶蘇のみために
をさなき（幼）われら　なにをかすべき

二
耶蘇のためには　ひ（火）にやかれたる
をさなでもし（死）に　おとな（成人）もありき

三
われらも耶蘇の　み（身）にふさはしき（相應）
み（御）はた（旗）のもとに　はたらきせ（爲）まし

四
をさなごとても　うち（内）と（外）のあたと
よろひ（鎧）をまとひ　いさみたゝかへ

五
こゝろのうちに　ふせぎしづめよ
いか（怒）りおこらば　あらきこと（言）ばも

六
たかぶるおもひ　おさへしりぞけ
むね（胸）にきざゝば　いやへりくだれ

七
ゑみ（笑）やはらぎて　むつ（睦）びのひかり
耶蘇のみためよ　よもにてらせよ

八
よわきわらべも　きみのほまれ（光榮）を
じふじかをおひ　あらはすべきぞ

よき戰ひ

222* 第二百二十二 JESUS LOVES ME. 7777 (CHO.)

Jesus loves me, this I know.

主はわれらの爲に生を捐て給へり之に由て
愛といふことを知たり　約壹三〇十六

一 主われをあいす（愛）　主はつよければ
われよわくとも　おそれはあらじ
わが主耶蘇　わが主耶蘇
（反折）わが主耶蘇　われをあいす（愛）

二 わがつみのため　さかえをすてゝ
あめ（天）よりくだり　十字架につけり
（折　反）

三 みくにのかどを　ひらきてわれを
まねきたまへり　いさみてのぼらん
（折　反）

四 わがきみ耶蘇よ　われをきよめて
よきはたらきを　なさしめたまへ
（折　反）

223 第二百二十三 INFANT CHILDREN. 7777

We are but little children weak.

一　かよわきこら（兒輩）を　すくふために
かみのひとりご　くだりたまふ
ふかきめぐみを　よもにしめす
みつかひのこゑ　いとうるはし
（反　折）さかえのきみの　いつくしみを
つたふるこゑは　たのしきかな

二　すくひのぬしは　われらのでと
をさな（幼）ご（兒）となり　たゞしきみち
あゆみつくして　おのがあと（跡）を
ふむわらべをば　めぐみたまふ
（折　反）

三　をさなほめ（讃）うた（歌）　きゝます主を
こゑたからかに　うたひまつれ
のちはみくによ　のぼりゆきて
みつかひたちと　ともにうたはん）
（折　反）

224 第二百二十四　HOLY CROSS. 8686 (C.M.)

I want to be like Jesus.

わが軛をおひて我にならへ　太十一〇廿九

一 耶蘇きみにならへ　きみのことば(言)
いつもやはらかに　いか(怒)りまさず

二 耶蘇きみにならへ　きみはつねに
みち〵にいのりを　さゝげませり

三 耶蘇きみにならへ　せめらるれど
みちならぬわざを　なしたまはず

四 耶蘇きみにならへ　ひとをおい(愛)し
たえずよきわざ(善事)を　つと(勉)めませり

五 わらべをみもとに　まねきし主よ
きみのみえわざ(御行爲)に　ならはせてよ

225 第二百二十五　I LOVE TO HEAR. 7676 7676 (CHO.)

I love to hear the story.

測るべからざるキリストの愛　弗三〇十八

このよ(世)はあい(愛)の　はな(花)さきにほふ
たのしきその(園)と　なりぬべし

227* 第二百二十七　HAPPY LAND.　7575775

There is a happy land.

我らの國は天にあり　讃三〇二十

一　あまつみくには　たのしきぞ
きよきともがら　うちつどひ
ゑみよろこびて　すくひのきみの
耶蘇のいさをを　ほめうたふ

二　うたがひ(疑)まよひ(迷)　ためらはで
たのしきくにへ　すゝみゆけ
つみきよまりて　耶蘇のみそばに
すむ(住)たのしみは　かぎりなし

三　ちゝ(天父)のみもとの　まじはりは
ゑたしみながく　あい(愛)ふかし
かみのこ(子)どもよ　つとめはげみて
あまつみくにを　つげよかし

226 第二百二十六

S. EDMUND.　75757775

Little drops of water.

誰か小事の日を輕しむる者ぞ　亞四〇十

一 いはほ(巌)のこけ(苔)の　したつゆは
あをうなばらの　みなもと(源)ぞ
はま(濱)のまさごは　こまやかなれど
つもりつもれば　をか(岡)となる

二 うつるひ(日)かげの　すぎゆくは
ひきてはなてる　や(矢)のごとし
わづかのひま(時間)と　おもひをりしも
すぐればやがて　とし(年)となる

三 み(視)よやわれらの　あやまちを
ふたば(二葉)のうちに　つまざれば
つみはいばらの　しげるがごとく
きよきみ(御)たね(種)を　ふさぐべし

四 をさなきことば(言)　わざ(行)だにも
かみのみ(御)むね(旨)を　おこなはゞ

きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

七 ちゝ(天父)のみむねを　みや(宮)にてとひし
きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

229 第二百二十九

LITANY. 7777

Children's Litany, Part II.

悪より救ひ出したまへ　太六〇十三

一 たか(高)ぶり(慢)いか(怒)り　いつ(虚)はり(偽)にくみ(憎)
かゝるつみ(罪)より　耶蘇すくひませ

二 むさ(貪)ぼり(欲)をしみ(吝)　なさけをえらぬ
かゝ(斯)るつみより　耶蘇すくひませ

三 おこ(怠)たり(惰)ねたみ(妬)　おや(親)につかへぬ
かゝるつみより　耶蘇すくひませ

四 いのりをわすれ　かみ(神)をおそれぬ
かゝるつみより　耶蘇すくひませ

228　第二百二十八　LITANY.　7777

Children's Litany, Part I.

主はわれらの造られし樣を知りたまふ　詩百三〇十四

一　ちゝてみたまの　ひとりのかみよ
あめ(天)よりのぞみ(臨)　かへり(顧)みたまへ

二　をとめにやどり　わらべとなりし
きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

三　ひつじのもり(守者)の　ふし(伏)てをがみ(拝)し
きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

四　はかせ(博士)きたりて　あがめまつりし
きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

五　シメオン、アナの　よろこびみ(見)たる
きよき主耶蘇よ　あはれみたまへ

六　ヘロデのつるぎ　さけ(避)てのがれし

つきひ（月日）はうつり　かはるとも
みいつくしみは　かはりなし

二
わらべのすまひ（住居）　あめにあり
をさむ（治）るきみは　耶蘇なれば
よ（世）のすまひとは　ことかはり
やすきもさちも　かぎりなし

三
わらべのうた（歌）は　あめにあり
すくひ（救）をうけて　さゝぐれば
あまつつかひの　うたよりも
まさりてたへ（妙）に　きこゆなり

四
わらべのかむり（冠）　あめにあり
いとうるはしく　かゞやけり
耶蘇にしたがひ　つかへなば
みもとにめし（召）て　たま（賜）ふべし

五
わらべのころも（衣）　あめにあり
よきねのこと（琴）も　しゆろ（棕櫚）のは（葉）も
耶蘇はそなへて　まち（待）ませば
みそば（御側）にゆきて　うけよかし

230 第二百三十　LITANY.　7777

Children's Litany, Part III.

誘はるゝ者を助け得るなり　來二〇十八

一　をさなきときに　わびしきことを
おぼえたまひし　耶蘇すくひませ

二　たゞしき(正義)をなし　なやみ(艱辛)のかぎり
しのびたまひし　耶蘇すくひませ

三　いばら(荊棘)をかぶり　しふじかにち(血)を
ながしたまひし　耶蘇すくひませ

四　はてはし(死)にかち　みちゝ(御父)のみぎに
のぼりたまひし　耶蘇すくひませ

231 第二百三十一　S. JOHN DAMASCENE (2)　75757575

There's a friend for little children.

此の小子の一人の亡るは天に在す汝らが父の尊旨に非ず　太十八〇十四

一　わらべ(童)のとも(友)は　あめ(天)にあり
このよ(世)のともに　いやまさる

一 かひぬし（牧主）わが主よ　まよふわれらを
わかくさ（若草）のべに　みちびきたまへ
われらをまもりて　やしなひたまへ
われらは主のもの　主にわがなはる

二 よきとも（善友）なりて　つねにみちびき
まよはゞたづねて　ひき（牽）かへりませ
われらのいのりを　うけいれたまへ
われらは主のもの　たゞ主にたよる

三 ゆるしのみちかひ（御誓）　すくひのめぐみ
きよむるちからは　みな主にぞある
われらをあがなひ　いのちをたまふ
われらは主のもの　主にあり（在）ていく（活）

四 みいつくしみ（御愛憐）をば　われらにみたし（充）
いまよりみむね（御旨）を　なさしめ（行令）たまへ
われらをあはれむ　みめぐみふかし
われらは主のもの　主をのみあいす

232

第二百三十二　JEWELS.　8685 (CHO.)

When He cometh, when He cometh.

われ我設くる日に彼らを以てわが寶となすべし　馬三〇十七

一　耶蘇きみあらはれ　きよきたま（玉）を
はて（地極）よりはて（地極）より　あつめまさん
（反折）　きみのかむりに　そのたま（玉）ひかり
ほしのごとくに　かゞやきなん

二　主耶蘇につかふる　きよきこ（子）らは
たふときかむり（冠）の　たまとならん

三　とくこ（來）よこどもら　すくひぬしの
みめぐみをうけて　たまとなれ
（折反）

233*

第二百三十三　SAVIOUR, LIKE A SHEPHERD.　87878787

Saviour, like a shepherd lead us.

我はよき牧者なり　約十〇十一

（折反）

第二百三十五　CHILD'S MISSIONARY HYMN.

76767676

Far out upon the prairie.

未だ述ぶる者あらずば如何で聞ことを得んや　羅十〇十四

一
つゞうらうら(津々浦々)の　あまたのこら(兒童)
みふみよまねば　かみをしらず
かみをしらねば　きよきひにも
いのりだにせで　あそびくらす
あはれさちなき　とものために
(反折) あさゆふたえず　いのりねがへ

二
ひつじかひなる　耶蘇のみな(御名)と
いつくしみとを　きくすべなく
なぬか(七日)にひとひ(一日)　ゆきてまなぶ
いともたのしき　いへもみえず
(折反)

三
わらべのために　あめ(天)をくだり
うきとなやみを　み(身)にしのびて
いばらのかむり　かぶりましゝ
耶蘇のし(死)をだに　しらでぞある
(折反)

234

童蒙　幸なるもの

第三百四　FARRER.　7777

Blessed are the poor in spirit.　太五〇三

心の貧しき者は福なり

一 かみよこゝろを　まづしくせしめ
あまつみくにの　たからをたまへ

二 つみをかなしむ　こゝろをおこし
主のなぐさめを　ゆたかにたまへ

三 やさしきこゝろ　つねにたもたせ
ちをつぐさちを　えさしめたまへ

四 たゞしきことを　あつくしたはせ
うゑかわくみを　あかしめたまへ

五 ひとをあはれむ　こゝろをさづけ
主のあはれみを　うけしめたまへ

六 きよきこゝろを　たえずいだかせ
かみにまみゆる　めぐみをたまへ

七 やはらぐことを　せちにねがはせ
かみのこどもと　ならしめたまへ

三 かはらぬのり（法）もて
かみにたよるたみ
ともによろこびて
みいづ（稜威）はかゞやき
すくひのかみをば

をさめたまへり
ゑ（死）とつみ（罪）にかち
よゝ（世々）にたゝへよ
み（御）ちかひ（誓）かたき
もろびとうたへ

第二百三十八

諸の天は神の榮光を彰はす

詩十九〇一

SPANISH CHANT. 777777

The spacious firmament on high.

一 あまつみそらの
めぐりゆくひ（日）も
み（御）て（手）のちからを

はて（極）よりはてに
み（御）つくり（造）ぬし（主）の
あまねくゑ（示）めす

二 くるればやがて
すみたるつき（月）も
かみ（神）のさかえを

きらめくほし（星）も
あかしをなして
くまなくをしふ

三 こゑなきことば
あめとつちとに
つくりそなへし

よ（夜）もひ（日）もきこゆ
み（充）ちた（足）るたから
かみ（神）をを（拝）がめと

236* 第二百三十六　OLD HUNDRED.　8888 (L.M.)

All people that on earth do dwell.

知れ主こそ神にますなれ　詩百〇三

一　よろづのくにびと（國人）　わが主にむかひて
こゑ（聲）をたからかに　よろこびうたへよ

二　主こそかみ（神）にませ　主はわがかひぬし（養主）
われらはそのたみ（民）　みまき（御牧）のひつじ（羊）ぞ

三　いざやよろこびの　うたをうたひつゝ
みかど（御門）にいりゆき　おほみや（大宮）にのぼらん

四　めぐみはゆたかに　あはれみはたえず
みかみ（御神）のまこと（眞理）は　とは（永遠）にかはりなし

237 第二百三十七　AUSTRIA.　87878787

Praise the Lord, ye heavens, adore Him.

もろ〳〵の天より主を頌めたゝへよ　詩百四八〇一

一　あめ（天）もみつかひ（天使）も　かみ（神）をたゝへよ
ひ（日）もつき（月）もほし（星）も　よろこびうたへ
かみみことば（御言）にて　あめつちつくり

雜歌　神の稜威

そのみいづは
とこしなへに
二 みそ空らゆく
いなづまを
うみやまをも
そのち能か力らを
お地ほつ球ちに
も百ゝたか財ら
三 よ世のもとゐを
うみのみづを
の野にや山まに
い照てらすひ日
た田をうるほす
そのめぐみを
五 つ罪みふかき
みめぐみの
きよめられて
ともにみ聖な名を

み充ちわたり
つくるなし
く雲もにのり
つかひとし
とゞろかし
あらはせり
はかりなき
み充ちみた満し
かたくす置ゑ
めぐらしむ
た谷にみまで
いぶ吹くか風ぜ
あ雨めつ露ゆも
よにゑめす
よのひとも
あが贖なひに
み天つか使ひと
ほめうたへ

239 第二百三十九

Oh sing unto the Lord a new song.　　ANON IN G.　　7777

新らしき歌を主にむかひて謳へ　　詩九六〇一

一 よ(世)にすむひと(人)よ　あまつみかみに
あたらしきうた(歌)　よろこびうたへ

二 み(御)な(名)をほめつゝ　く(奇)しきみわざを
ことくにまでも　ひろめつたへよ

三 ことくにびと(人)の　あがむるかみは
みなひとのて(手)の　たく(工)みになれり

四 あめつちよろづ　つくりしかみは
ち(能)から(力)とさ(光)かえ(榮)　み(充)ちた(足)る主なり

五 み(稜)いづ(威)にかなふ　きよきゐや(禮)しろ(物)
たづさへきたり　さゝ(献)げまつれよ

240 第二百四十

Oh worship the King.　　HANOVER.　　55556565

永遠より永遠まで汝は神なり　　詩九十〇二

一 み(御)あらか(舎)は　あまつそら
みこころも　てる(照)ひかり

242* 第二百四十二　S. ANN.　8686 (C.M.)

O God, our help in ages past.

主よ汝は往古より世々われらの住家にて坐ませり

詩九十〇一

一　むかしよりよゝの（歴世）　わがたすけよ
なほもゆくさきの　わがのぞみよ

二　あめつちわかれぬ　よのさきより（世）
かはらぬかみこそ（神）　わがかみなれ（神）

三　ちとせやちとせも（千年八千年）　主のまへには
みじかきひとよの（一夜）　ゆめにひとし（夢）

四　あかつきのつゆの（曉　露）　きゆるごとく
ひとはうせさりて（人）　あとだになし

五　あめつちうつれど　とこしなへに（永遠）
うごかぬみざこそ（御坐）　わがかくれが（隱家）

241 第二百四十一

EASTER SONG. 57577

All Thy works praise Thee.

主の仁惠あまねく地にみつ　詩三三〇五

一　うらうらと　のぼるあさひの
かげうけて　あらたにおぼゆ
かみのめぐみを

二　たのしげに　このまにうたふ
とりのねを　きゝてもおもふ
みいつくしみを

三　のべにさく　はなのすがたを
みてだにも　くしきみわざは
しるけかりけり

四　おほぞらに　かゞやくほしの
ひかりにも　あふぎたゝへなん
かみのみさかえ

244* 第二百四十四 BRUCE. 7575

There's a wideness in God's mercy.

天の地よりも高きが如く主のあはれみは大なり　詩百三〇十一

一　かみのめぐみの　はかりなや
あい(愛)のふかさぞ　ゑりがたき

二　たれかあはれむ　わがうれひ
たれかはゆるす　われのつみ

三　つみのをさ(長)なる　わがために
すくひのかど(門)は　ひらかれぬ

四　つみのおもに(重荷)を　主のかた(肩)に
まかせてすゝまん　ためらはで

五　すくひのちかひ　きくひと(人)の
さいはひ(幸福)いかに　おほ(大)いなる

六　めぐみのみとく(御徳)　はかられず
くち(口)にたゝへの　こゑあふる

243* 第二百四十三　DUNDEE. 8686 (C.M.)

God moves in a mysterious way.

わが爲すことを汝今しらず後これを知るべし　約十三〇七

一 かみ(神)はかぜ(風)にのり　なみ(浪)をあゆむ
みわざをあらはす　うみ(海)はひろし

二 こがね(黄金)にまさりて　いとたふとき
たからをひめおく　やま(山)はたかし

三 みそら(天空)にくろくも　みちわたれど
ふりくるめぐみの　あめ(雨)はすゞし

四 主のみかほさへも　しばしかくす
やみ(暗)のたちふさぐ　よ(夜)はみじかし

五 やがてうきくもの　はるゝをまて
みひかりかゞやく　あさ(朝)はちかし

第二百四十六

BARNES. 57577

Come sound His Name abroad.

主は能力を衣となし帶となしたまへり　詩九三〇一

一　あめつちに　ひゞかせうたへ
かみのこら（神子輩）　うけしめぐみと
そのみさかえ（光栄）を

二　おほわだ（大海）も　くが（陸）もなりでし
みちからの　かみ（神）のみわざぞ
たへ（妙）にくすしき（奇）

三　そむきにし　よ（世）にもすくひを
たまひたる　ふかきめぐみは
はかりえられず

四　つくすとも　いかでめぐみに
むくゆ（報）べき　たゞみ（身）とたま（魂）を
さゝげ（献）てつかへん

245*

第二百四十五　DUKE STREET.　8888 (L.M.)

God is the Refuge of His Saints.

神はわれらの避所また力なり　詩四六〇一

一　かみ（神）はわがちから　わがたかきやぐら（櫓）
くるしめるときの　ちかきたすけ（援助）なり

二　たとひち（地）はかはり　やま（山）はうなばら（海）の
なかにうつるとも　われいかでおそれん

三　かみのみやこ（聖都）には　しづかにながるゝ
きよきかは（河）ありて　みたみ（神民）をうるほす

四　みことば（聖言）のみづ（水）は　つかれをいやして
あらたなるいのち（生命）　あたへてつき（盡）せじ

五　かみのみ（御）もとべ（邊）は　つねにやすらけく
くるしみなやみも　きえてあとぞなき

第二百四十八

The Lord is King.

LUBECK. 7777

主よなんぢ全地の上に坐まして甚高し　詩九七〇九

一
あまつみかみ（御神）は
おほつち（大地）こじま（小島）
よ（世）をすべをさむ
ともによろこべ

二
くも（雲）とくらき（幽暗）そ
なほれさばきは
まはりにあれど
みくら（御座）のもとゐ

三
たけくもゆる（燃）ひ（火）
よものあた（敵）をば
みまへにすゝみ
やきほろぼせり

四
たゞしきひとを
あたのくはだて（謀畧）
たえずまもりて
のがれいでしむ

五
あまつみかみを
つみ（罪）をにくみて
いつくしむたみ（民）
まこと（眞理）をえたへ

247　第二百四十七

God's wondrous grace.　BOHEMIA.　7575757575

汝の義は神の山のごとく汝の審判は大なる淵なり　詩三六〇六

一　かみ（神）のめぐみは　いとたかし
あふぐたかね（高峰）の　しらゆき（雪）に
あさひ（朝日）にはゆる　ヘルモンの
やま（山）にもまさり　たかきかな

二　かみのめぐみは　いとふかし
そこひなぎさを　うつなみ（涙）に
ゆふひ（日）かゞやく　ガリラヤの
うみ（海）にもまさり　ふかきかな

三　かみのめぐみは　いとひろし
はてしわれのゝ　くさ（草）のつゆ
つき（月）にきらめく　アラビヤの
はら（原）にもまさり　ひろきかな

主に依頼む者はシォンの山のごとし

詩百廿五〇一

一
あまつみかみに　よりたのむ
そのたましひは　いときよき
みやま(御山)のごとく　そびえ(聳)たつ(立)
いは(巖)はのごとく　うごかじな

(折反)
いははのごとく　かたくたち
みやまのごとく　うごかじな

二
かみ(神)のきよけき　ともがらを
いだけるあい(愛)の　み(御)て(手)こそは
サレムのみやこ(都)　まもりまし
やま(山)とかき(垣)とに　まさるなれ

(折反)

三
あまつみくにの　かゞやける
たまのみ(御)かど(門)に　みちびかれ
わが主とともに　すまひ(住)なば
とこしへまでも　やすらけし

(折反)

249 **第二百四十九**

CAMBRIDGE. 7575.

The Lord is my Shepherd.

主はわが牧者なりわれえしきことあらじ　詩廿三〇一

一 わがかひぬし[牧主]は　あまつかみ
ともし[乏]きことの　うれひなし

二 きよきながれ[水流]に　みちびきて
[illegible]かくされの[野]に　いこはしむ

三 よわきこゝろを　つよめつゝ
たゞしきみちを　あゆましむ

四 かみ[神]ともなはゞ　しのかげ[死蔭]の
たに[谷]をゆくとも　おそれじな

五 よ[世]にあるかぎり　みめぐみと
あはれみたえず　み[身]をそふ

六 あま[天]つみやこ[都]に　すゝましめ
とは[永久]のすまひに　いれたまふ

250 **第二百五十**

S. ALBANS. 75757575 (CHO.)

Unshaken as the sacred hills.

God my Rock.

神こそはわが磐わが救なれ　詩六二〇二

一 かみ（神）のまことは　いはほ（巖）のごとく
あらきなみかせ　うてどうごかず
（折反）わがおほかみの　まことゝめぐみ
ちよとこしへに　ほめよたゝへよ

二 かみのめぐみは　いさご（眞砂）のごとし
よみ（算）つくすべき　ときこそなけれ
（折反）

三 み（身）におひがたき　つみのおもに（重荷）を
おろしたまへば　これいとやすし
（折反）

四 われよわ（弱）けれど　まごゝろつくし
かみにすが（依頼）らば　みちから（御力）たまはん
（折反）

251 第二百五十一

The Lord is a great God.

PLEYELL'S HYMN.　7777

主なる我儕の神は惟ひとりの主なり申六〇四

一
よゝかぎりなく　いけるまことの
ひとりのかみを　をがみたふとべ

二
そのたゞしきと　きよきまことと
ちゑもめぐみも　かぎりしられず

三
はじめもあらず　をはりもあらず
ときはかきはに　かはらぬみかみ

四
よろづのものを　ことごとつくり
たえずまもりて　たゞしくをさむ

五
みなをたゝへて　あふぎたふとび
つかへまつろへ　すべてのたみよ

四 ヨルダンがはよ　いたるとき
こゝろのおそれ　たひらげて
みくにのきしよ　つゝ(恙)がなく
もたらしめてよ　わがみかみ

254* 第二百五十四　LISBON.　6686. (S.M.)

How gentle God's commands.

主に依り頼むは善し　詩百十八〇八

一 かみ(神)にたより　主にえたがへ
みおきて(御律)はかろく　のり(法)はやすし

二 あめつちをも　たもつみて(御手)は
などかそのこら(子輩)を　まも(護)らであらん

三 ちゝのみざ(御座)に　いそぎゆきて
おもに(重荷)をおろし　やすみ(休憩)をえよ

四 かみ(神)をうた(謳)ひ　主をたゝへよ
みめぐみはつきず　あい(愛)はふかし

253

第二百五十三　IMAYŌ.　75757575

The Lord is the strength of my life.

神はゾアンの野にて妙なる事をなし給へり
詩七八〇十二

一
よも(方)にくもきり　たちふさぎ
たづき(便)えられぬ　おほのはら(野原)
まよひつかるゝ　よわきみ(身)を
まもりたまひね　そがみかみ

二
あめのみ(御)かて(糧)を　ふりくだし(降下)
いのちのいづみ　わきいだし
うゑかわきたる　おとろへを
やしなひたまへ　わがみかみ

三
くも(雲)のみはしら　ひ(火)のはしら
いまもあらはし　それのゆく
みちあきらけく　てらしつゝ
みちびきたまへ　わがみかみ

五
ほのほ（焔）もそこなひ（害）えじな
たゞなれ（汝）をきたふ（鍛錬）のみぞ
おい（老）のさか（坂）こえてはこえ
かしらのゆき（雪）つもるとも
かはらぬわがあい（愛）にをり
よ（世）をやすく（安）へ（經）よわがたみ（民）

256 第二百五十六

S. PETER.

The word of God. ARLINGTON 8686 (C.M.)

主の法は全くして靈魂を生かへらしむ 詩十九〇七

一
かみのみことば（御言）は たへ（妙）にくすし
みゝ（耳）をかたぶけて つどひきけよ

二
みふみ（聖書）にいのちの いづみ（泉）あふれ
よびと（世人）のかわきを とみ（速）にいやす

三
みふみのひかりは やみ（闇）をてらし
ほろびのみちより すくひいだす

四
やみぢ（暗路）をはなれて ひかり（光明）につき
いのちのいづみを くみていきよ

255ª

第二百五十五

PORTUGUESE HYMN.　11 11 11 11

How firm a foundation.

われシオンに一の石を据て基となせり　賽廿八〇十六

一　主のたふときみことばを
ゆるぎなきみち(道)のもとゐ(基)
たよるわれはやすけ(安)しや
よ(世)にはまたなきみことば

二　われはな(汝)がかみ(神)な(汝)がとも(友)
な(勿)おそれ(畏)そつねにまもらん
めぐみのて(手)つよきかひな(肘)
な(汝)がみ(身)にそひてはなれじ

三　ゆ(往)けよためらはでゆけよ
なやみのかは(河)ふかくとも
ためらはでわたりゆかば
よろこびのきし(岸)にぞつかん

四　ひ(火)はみちにもえ(燃)たつ(立)とも
わがめぐみたえずあれば

二 よろづのものみな　つねにありて
み(御)こと(言)にしたがひ　いやさか(榮)ゆ

三 われもみことばを　たのしまずば
なやみのうなばら(海原)　わたりえじ

四 かみのみ(御)さとし(諭)を　つねよもとむ
いのち(生命)をたまひて　すくひませ

261 第三百六十一　S. CECILIA.　6666

Before I was troubled, I went wrong.

汝は眞實をもて我を苦しめ給へり　詩百十九〇七五

一 めぐみふかき　あまつちゝの
いましめ(懲戒)こそ　あい(愛)のひかり

二 みちをはなれ　まよへるとき
われをこらし　をしへませり

三 きびしかりし　ちゝ(聖父)のしもと(笞)
いまはすべて　さち(福)とぞなる

四 よろこびにも　かなしみにも
あいのひかり　したひ(慕)まつる

259　第二百五十九　GREY.　7775

Shew the light of Thy countenance.
願くは聖顔を汝の僕の上に照し給へ　詩百十九〇百三五

一　たへにたふとき　ひかりのちゝ(聖父)よ
　　わがたましひに　のぞみ(臨)ませ

二　ひとのひかりと　なりよしみこ(聖子)よ
　　いのちのみちを　しめしませ

三　たみのさとりを　ひらくみたま(聖靈)よ
　　くしきみのり(御教)を　さとしませ

四　とは(永久)にかゞやく　ちゝこみたまよ
　　くらきこのよ(此世)を　てらしませ

260　第二百六十　WREFORD.　8685

O Lord, Thy word endureth for ever.
主よ聖言は天にて永遠に定れり　詩百十九〇八九

一　あめつちをしらす(治)　主なるかみ(神)の
　　すゑ(置)しまこと(眞理)とこそ　ゆるがざれ

第二百六十三

Incline my heart unto Thy testimonies.

TROY. 8787

わが心を汝の證詞に倚しめ給へ

詩百十九〇三六

一
つくりぬしにます
をぢなき（愚昧）こゝろに
ちゝなるかみよ
さとりをたまへ

二
いつはり（虚偽）たかぶり（傲慢）
あた（仇）はいとつよく
つみとけがれの
ゑれはかよわし

三
はげみをあたふる
くはゝらざりせば
あい（愛）のしもと（笞）の
とくほろびたらん

四
みことば（聖言）によりて
みたみらのむれに
きよめられたる
つらならせよな

五
ゑれをあはれみて
なぐさめ（安慰）といのち（生命）
みいつくしみの
あたへたまひね

262　第二百六十二

HANNUM.　57577

My soul longeth for Thy salvation.

わが靈魂は汝の救を慕ひて絶入るばかり也　詩百十九〇八一

一　わがたまは
したふなり
あはれみたまへ
あまつすくひを
せち(切)なるおもひ(思)

二　なぐさめの
うき(憂)さか(坂)を
ちからたまひね
み(御)ことば(言)たより
こゆるしもべよ

三　つみのに(荷)の
つかれたり
かみのたすけを
おもきにいとゞ
ひた(専)にぞあふぐ

四　きえやすき
たゞし(救)ばし
とくすくへかし
つゆのいのちの
ながらふうちに

第二百六十五　WONDERFUL WORDS.　868666 (CHO)

Sing them over again to me.

この生命の言をことごとく民に語れ　徒五〇廿

一　いのちのみことば（聖言）　たへにくすし
みえざるみかみの（御神）　むね（旨）をゑめし
つかへまつる　みち（道）ををしふ

（折反）　いのちのみことば　たへなるかな
いのちのみことば　くすしきかな

二　主耶蘇のみことば　いとゑたはし
あまねくひゞきて　まよひなやむ
つみびとらを　あめ（天）にまねく

（折反）

三　うれしきおとづれ（音信）　たえずきこえ
ゆるし（赦）とやはらぎ（平和）　よ（世）たまふかみの
ふかきめぐみ　にあらはる

（折反）

第二百六十四　MAGDALENE. (1) 767676

Thy words have I hid within my heart.

われ汝の言を心のうちに蓄へたり

詩百十九〇十一

一
いざなひおほき
つまづきおほき
わがみ(身)とたま(靈)を
たもつ(保)はかみの
つみのよ(世)にも
とし(歳)つき(月)にも
さき(幸)くまもり
み(聖)をし(敎)へなり

二
かみのことばを
くち(口)にあらはし
よ(世)にみさかえを
つねにこゝろは
こゝろにしめ(占)
わざ(行)にしめし
あらはしなば
やすからまし

三
あめ(天)のかて(糧)にて
いのちのみづ(水)に
かみのまこと(眞理)を
あぢはふことを
うゑ(飢)をいやし
かわき(渴)をとめ
ひる(日)もよる(夜)も
え(得)しめたまへ

ちゑ（智慧）のことばを　はめたゝへよ
よ（世）のひかり（光）なる　みふみ（聖書）をもて
われのあゆみ（歩）を　てらしたまふ

二
ひろくこ（此）のよ（世）を　てら（照）せよとて
主よりわれらは　あた（予）へられぬ
これやかゞやく　こがね（黄金）のはこ（函）
まこと（眞理）のたま（玉）は　うち（裡）にみてり

三
ゆくさきくらく（暗）　さぎり（霧）てむる
ふなぢ（船路）をてらす　ともしび（燈火）なり
あるゝしほせ（潮瀬）の　かくれいは（暗礁）の
なか（中）をことなく　みちびきゆく

四
うきくも（雲）はれ　やみ（闇）はきえて
したしくきみ（君）に　まみゆるまで
よろづのくに（萬邦）に　このひかり（光）を
てらすつとめ（任務）を　なさ（行）せたまへ

266　第二百六十六

Thy word is a lamp unto my feet.　CHARITY.　7775

汝の聖言はわが足の燈火なり　詩百十九〇百五

一 かみのをしへは　みくよのさち（福）を
てら（照）しあらは（彰）す　ひかりなり

二 うきくるしみの　かこめるときも
みふみ（聖書）はわれの　ちからなり

三 めぐみのことば　まもり（守護）となりて
あやふきときの　たすけなり

四 かみのあかし（證詞）は　こよなきたから
ゑばしはなさで　たも（保有）てかし

267*　第二百六十七

O Word of God Incarnate.　MUNICH.　76767676

かれの名は神の言といふ　默十九〇十三

一 あめ（天）よりくだり　ひと（人）となりし

かみのことのむ

二
いしぢ（磽地）のたねは
そのね（根）はあさし
うけしをしへを
すつるはこゝろ

三
いばらのなかよ
むえいづれども
よ（世）のわづらひよ
いかでをしへの

四
よきち（沃壌）のたねむ
みのりよみのり
なほきこゝろに
よき（嘉）み（實）をさむよ

五
かみよめぐみの
これのこゝろよ
たねをむえ（生）しめ
あめ（天）のみくら（庫）よ

もえ（萌）ぬなり
むゆれども
やがてかる（枯）
たちまちよ
うすきなり
おつるたね
み（實）はならず
ふさがれて
そだつべき
はえいでゝ
いやさかゆ
いるをしへ
むすぶなり
つゆをたれ
みをしへの
み（實）のらしめ
いれ（収）しめよ

268　第二百六十八

SANCTUARY (2).　8787

Open Thou mine eyes.

汝の法のくすしき事を我に見せたまへ　詩百十九〇十八

一　くらきよ(世)をたどる　くらきこゝろに
みをしへのひかり　てらしたまひね

二　まこと(眞理)にさからひ　なほき(正直)をそしる
けがれしてのよに　これをなすて(勿棄)そ

三　たびぢ(旅路)ゆくひるも　かりね(假寝)のよるも
わするゝひまなく　みをしへえたふ

四　ちゝ(聖父)よあはれみて　たへよくすしき
みをしへをさとる　さとり(知覺)をたまへ

269　第二百六十九

QUARTUS.　7575575

The seed is the Word of God.

種は神のことば也　路八〇十一

一　みちのほとりよ　まくたね(種)は
ふみよじられて　はえ(生)いでず
かたくなびと(頑人)の　こゝろよは

悔て生よ

結一八〇三二

一
さまよへるものよ
あまつふるさとの
つみとがをくやむ
ちゝよりあたふる
たちかへりて
ちゝをみ（見）よや
こゝろこそは
たまものなれ

二
さまよへるものよ
ちゝなるみかみの
まことのくいをば
ひとはえらずとも
たちかへりて
みまへにゆき
いひあらむせ
えりたまへり

三
さまよへるものよ
耶蘇のあしもとに
耶蘇はあむれみて
こぼるゝなみだを
たちかへりて
とくひれふせ
みて（御手）をのばし
ぬぐひたまむん

四
さまよへるものよ
十字架のうへなる
ちしほのながるゝ
いのちをうけよと
たちかへりて
耶蘇をみよや
みてをひろげ
まねきたまふ

270* 第二百七十

To-day the Saviour calls.　To-DAY.　6464

今日なんぢら聖聲を聞けよかし　詩九五〇八

一 主いままねく(招)　とくこ(來)よ
　やみ(暗)よまよふ　つみびと

二 主いま(今)まねく　み(御)まへ(前)よ
　へりくだりて　ひれふせ

三 主いままねく　し(死)のとき(時)
　さばきのひ(日)も　ちかきぞ

四 主いままねく　いそぎて
　さけ(避)どころ(所)を　え(得)よかし

五 主いままねく　きたりて
　み(身)もたま(靈)をも　まかせよ

271* 第二百七十一

FOUNTAIN. 8686886 (D.C.M.)

Return, ye wanderers, return.

我は死る者の死を好まざるなり然れば汝ら

すくひのちからを　ゆめうたがふな

二　よ（夜）ふかきその（園）にて　ひれふしいのり
しふじかのうへに　み（身）をすてましゝ
主のあい（愛）とちから　たの（頼）めつみびと

三　あめ（天）にのぼりにし　耶蘇きみならで
つみあるわれらは　たれにかたよらん
たゞ耶蘇きみこそ　すくひ（拯救）をたまへ

274　第三百七十四

Trust not in to-morrow.　JOSEPHINE.　57577

今日と稱ふるうちに日々互ひに相勸めよ　來三〇十三

一　あす（明日）ありと　おこたるひと（人）よ　いそぎきけ
けふとぞつぐる　あまつおとづれ

二　けふといふ　けふ（今日）そのこゑの　きこえなば
けふのすくひ（救）を　なほざりにすな

三　たれ（誰）にても　きたるものをば　すてじとの
めぐみのちかひ　たのめつみびと

272* 第二百七十二

(讃 百九七)

WEBER. 7777

Hasten, sinner, to be wise.

汝ら明日のことを知らず 雅四〇十四

一 いそぎてきたれ
よ(世)のつみびと(罪人)よ
すくひのみちに
あ(明日)そをなま(勿待)ちそ

二 こよひ(今宵)もと(求)めよ
あすをおもはば
つみのゆるしを
を(期)りこそさらめ

三 つゆのいのち(生命)の
と(速)くたちかへれ
きえうせぬまま
ちゝ(天父)のみもとに

四 おもはぬときよ
あまつさきはひ(天福)
ほろび(滅亡)はきたらん
いそぎもとめよ

273* 第二百七十三

(讃 百九十二)

INVITATION. 878787

Come, ye sinners, poor and needy.

汝ら我を仰ぎのぞめ然ば救はれん 賽四五〇廿二

一 つみ(罪)よなやむひと(人)と
いつくしみふかき
とくときたれ
耶蘇まちたまふ

すくひのちからは　かぎりぞなき

（折　反）

276　第二百七十六　IMAYO.　7575757575

Flee, save your lives.

遁れて汝の生命を救へ　創十九〇十七

一　いそげやいそげ　たびのひと
みちにていこひ　たゆたふな
ときをうつさば　よとなりて
やみとなやみに　あひぬべし

二　そらかきくもり　あめそゝぎ
かぜすさまじく　ふきすさび
しのやみとみに　おそひきて
ながゆくみちを　ふさぐべし

三　かみのつかひに　みちびかれ
やまべをさして　とくのがれ
うしろをみるな　とゞまるな
いそげやいそげ　たびのひと

雜歌　滅亡をさく遁れよ

273 第二百七十三　I AM COMING.　6686 (CHO.)

I hear Thy welcome voice.

その子耶蘇キリストの血すべて罪より我らを潔む　約壹一〇七

一 わがちしほに　　みを(身)あらへと
よびまねくみこゑ　　われはきけり

(反折) 主よわれは　　いまぞゆく
十字架のちにて　　あらひたまへ

二 よわきわれも　　みちからをえ(得)
このみ(身)のけがれを　　みなぬぐはれん

(折　反)

三 わがこゝろに　　いつくしみと
こよなきやすき(平和)を　　さづけたまへ

(折　反)

四 つみのなわめ(纏)　　ときはなちて
めぐみにめぐみを　　くはへたまへ

(折　反)

五 ほむべきかな　　十字架のあい

たかぶるこゝろの　かうべ（首）をたれて
ゑふじかのもとに　きたりひれふせ

278 第二百七十八

REJOICING. 75757575

Arise, shine, for thy light is come.

汝ら光の子となるべき爲に光のある間に光を信ぜよ　約十二〇三六

一 くらきよねぶる　つみびとも
おまつひかりよ　てらされて
いぶせき（悒鬱）ゆめを　さましなば
うれしきみ（身）とは　なりぬべし

二 すくひのぬしの　わがなひと
きよきみたまの　めぐみよて
こゝろのけがれ　さられなば
いさぎよきみ（身）と　なりぬべし

三 かみのまさみち（正道）　つゆゑらで
やみにさまよふ　つみびとも
くい（悔）てかへらば　やがていま
あまつよつぎ（天嗣）と　なりぬべし

277 第二百七十七

NETTLETON.　878787

To this man will I look.

寶座をその高處にする己を卑くして天と地とを顧み給ふ　　詩百十三〇六

一 われらのちゝなる　まことのかみは
いとたかきあめ(天)の　みくら(御座)にませど
へりくだるものを　みや(宮)とえたまふ

二 われらのきみなる　耶蘇キリストは
いとたかきかみの　ひとり子(獨子)でなれど
さかえ(光榮)をすてゝぞ　よにくだりける

三 めぐみのみちたる　みたまのかせは
あまつみそらより　よ(世)にふきくだり
あをひとぐさ(萬民)をぞ　なびかせたまふ

四 ひと(人)はあらがねの　つち(土)よりいでゝ
かよわくいやしき　ものにしあれど
そのみ(身)をわすれて　おごりたかぶる

五 いざへりくだれや　つみ(罪)あるとも(徒)よ

一 つみのけがれに
みちふみまよふ
おはれむかみ（神）は
くだしてみちを

二 み（身）をひくゝして
うまれたまひし
すくひ（救）のかど（門）を
ひとをみちびき

三 十字架のうへに
そのちしはにて
けがれをあらひ
きよくあらたに

四 すくひのぬしの
みちゝ（天父）のおい（愛）を
みな（聖名）をたゝへて
かみのみくによ

おほはれて
よのひとを
みこ（御子）をさへ
しめ（示）しけり
よのために
すくひぬし
うちひらき
いれたまふ
ち（血）をながし
よのつみの
もろびとを
なしたまふ
めぐみにて
いまぞしる
うたひつゝ
すゝまゝし

279 第二百七十九　ELLERTON. 8787.

I will be merciful to their unrighteousness.

我かれらが不義を恤む　來八〇十二

一 われらはみかみ(御神)を　むなれたれども
かみはあはれみて　つねにまもれり

二 われらはみむね(聖旨)よ　さかひ(悖)たれども
かみはいつくしみ　みこ(聖子)をくだせり

三 われらはおほみな(大御名)　けがしたれども
かみはみすくひの　そなへをなせり

四 われらはつきひ(月日)を　あだ(徒)にすぎ(過)しが
まねきのみこゝろを　きかせたまへり

五 かくもいつくしみ　ふかきみかみよ
なとかみ(身)もたま(靈)も　さゝげざるべき

280 第二百八十　S. JOHN (1). 75757575

He shall save His people.

その民を罪より救ん　太一〇廿一

二 めぐみによらずば
いつくしみの主に
かよわきわがみ(身)を
あま(天)つみくに(國)まで
いまはいき(活)じ
われはしたがはん
つねにまもりて
みちびきたまへ

283 第二百八十三

SABBATH. 777777

God, Who is rich in mercy.

汝ら恩によりて救を得　弗二〇五

一 めぐみにとめる
つみををかして
あはれみあい(愛)し
まことのかみは
し(死)にたるわれを
まねきたまへり

二 みこ(聖子)にあはせて
あまつみくにの
たか(高)きところ(處)に
いのちをえしめ
よつぎ(嗣)となして
のぼらせたまふ

三 いさをなきみ(身)は
みいつくしみに
めぐみのとみ(富)を
たゞみ(御)すく(救)ひと
ひたすらたより
たゝへてうたふ

281 第二百八十一

Light of mercy, shine upon me. KEBLE. 8888 (L.M.)

主は永遠に汝の光となり給はん　賽六十〇二十

一 めぐみのひかりは　いたらぬくまなし
まよへるこゝろの　やみをもてらせり

二 ねぶれるよのまも(夜間)　わがみ(身)をはなれず
めさめてのちにも　ゆくみちをまもる

三 ひかりにてらされ　まさみち(正道)にすゝみ
かみのみさかえ(光榮)を　いざあらはさ(彰)まし

282* 第二百八十二

(讃百六五)

Come, Thou Fount of every blessing. BLESSING. 87878787

彼は地を潤ほす白雨の如く臨まん　詩七二〇六

一 めぐみのいづみ(泉)よ　たえずわきいで
あまねくながれて　よも(四方)をうるほせ
おとろへはてたる　よ(世)のたみくさも
さかえ(榮)てすくひを　ほめつゝうたはん

第二百八十五　VADE IN PACE.　777777.

Surely my hope is even in Thee.

主よ今何をか待んぞ我が望は汝にあり　詩三九〇七

一
われはつみ(罪)ゆゑ　しに(死)しづみ(沈)しを
すくひのぬしは　じふじかにし(死)に
いのちのかどを　ひらきたまへり

二
われはつみゆゑ　けがれおほ(多)きを
すくひのぬしは　たふときち(血)にて
けがれをあらひ　きよめたまへり

三
われはつみゆゑ　うれひおほきを
すくひのぬしは　なや(苦難)みをうけて
うれひ(憂愁)をのぞき　なぐさめたまふ

四
われはつみゆゑ　さまよひたるを
すくひのぬしは　たづね(尋)まねきて
かみのみくによ　ともなひたまふ

284　第二百八十四

COOK.　7777

The dayspring from on high.

我に從ふ者は暗き中をあるかず生の光を得るなり　約八〇十二

一　耶蘇はよびと（世人）の　こゝろのやみを
　　てらすまことの　ひかりにぞある

二　すくひのひかり　つねにてらせば
　　うたがふものは　まよふやみ（闇）なし

三　よのうきくも（雲）に　おほはるゝとも
　　ひかりきえねば　おそれはあらじ

四　主のひかりこそ　わがいのち（生命）なれ
　　つみのやみをも　のがれいでしむ

五　みくに（神國）によゆかば　くまなくはれて
　　あまつひかりを　とは（永久）にぞあふがん

一
つみのくもりに
ふみ（踏）わけ（分）がたき
おも（重）に（荷）をおひて
おぼつかなくも

二
おつればきゆる
いのちをたのみ
むなしきからと
つみのちまたに

三
うきよのさまの
あはれみたまふ
ひとりのみこ（御子）を
ふかきめぐみぞ

四
きよきみたま（聖靈）の
むね（胸）のうきくも
すくひのぬしの
あふぎみ（見）るこそ

みち（途）さへも
よのなかを
たびびとの
たどりゆく
えらつゆの
うつせみの
なるまでも
さまよへり
はかなさを
あまつかみ
よ（世）にくだす
はかりなき
たすけにて
はれわたり
みくに（御國）をば
うれしけれ

286 第二百八十六　HOLY VOICES.　8787

Thou art the Way, to Thee alone.

我は途なり眞なり生命なり　約十四〇六

一 つみふかきわれを　ちゝ(天父)のみもとに
ゆかしむるみちは　たゞ耶蘇のみぞ

二 まよへるこゝろの　やみぢ(暗路)をてらし
かゞやくまことは　たゞ耶蘇のみぞ

三 しぬ(死)べきよ(世)にすみ　しにたるわれを
いかしむるいのち(生命)　たゞ耶蘇のみぞ

四 まこと(眞)といのちと　みち(途)なる耶蘇を
さとるみめぐみを　いやましたま(賜)へ

287 第二百八十七　EDINA.　75757575

In me is thy help.

今苦難を受れども後には闇なかるべし　賽九〇一

みかぜより　　いづるひかりに
たよりてぞゆく

289　第三百八十九　AYLESBURY.　6686 (S.M.)

Not all the blood of beasts.

かれ一の献物をもて潔まる者を永遠に全うせり　來十〇十四

一 いにしへより　ほふり(屠)たりし
なべてのいけにへ(犧牲)　いさを(功)はなし

二 あまつかみの　こひつじ(羔)こそ
つみとがをのぞき　けがれをされ

三 まごゝろもて　くゆるつみを
こひつじにおきて　あふぎいのる

四 いつくしみの　きみのおひし
十字架のなやみぞ　わがつみなる

五 わがなはれし　かみのみたみ(御民)
あまつこひつじを　ほめたゝへよ

第二百八十八

HASHIMOTO.　57577

The people who sat in darkness.

幽暗にをる民は大なる光を見たり　太四〇十六

一　みめぐみの　ひかりはあめ(天)の
み(御)かど(門)より　いでゝあまねく
よ(世)をてらしけり

二　し(死)のかげの　おほへるたに(渓)も
み(御)めぐみの　ひかり(光)をうけて
みな(名)をこそよべ

三　主のみこゝろ　つかれしみゝ(耳)に
きこゆなり　つみのおもにを
きたりおろせと

四　けふこのひ(日)の　みこゝろきかずば
すゑ(末)のひ(日)に　あまつ(天)よつぎ(嗣)と
いかでなるべき

五　主のみこゝろ　よろこびきゝて

291ᵃ 第二百九十一

SPOHR. 8686 8686 (D.C.M.)

VOX DILECTI.

I heard the voice of Jesus say.

人もし渇かば我に來りて飮め　約七〇三·七

一
つかれ(疲)たるものよ　われにきたり
おもに(重荷)をおろして　とくやすめと
まねく主のこゑに　こゑたがひゆき
やすけきいこひ(休息)を　うる(得)うれしさ

二
かわき(渇)たるものよ　わがあたふる
いのち(生命)のきよみづ(清水)を　きたりのめと
まねく主のこゑに　こゑたがひゆき
すくひのいづみを　くむうれしさ

三
くらきにすむもの　われのてらす
まことのひかりを　あふぎみ(仰見)よと
まねく主のこゑに　こゑたがひゆき
かみ(神)のまさみちを　ふむうれしさ

290* 第二百九十番

FOUNTAIN. 8686886 (D.C.M.)

There is a fountain filled with blood.

罪と汚穢を清むる一の泉ひらくべし

亞十三〇一

一 みめぐみあふるゝ　イマヌエルの
ちしほのいづみに　つみをあらへ
しふじかのうへの　ぬすびと(盗人)すら
このいづみをみて(親)　よろこびけり

二 われらもいづみを　ふかくくゞり
くれなゐのつみを　みなあらはれん
かみのこひつじの　ながせるち(血)の
きよむるちからは　かぎりあらじ

三 主にたよるたみの　みなひとしく
きよめらるゝまで　な(泉)がれ(流)たえじ
われいける(生)ときも　し(死)にてのちも
イマヌエルのち(血)を　たゝへうたはん

第二百九十三

REDHEAD 76. 777777

Rock of ages cleft for me.　　哥前十〇四

その磐は即ちキリストなり

一
ちとせのいはよ（千年）　わがみをかこめ（身）
さかれしわきの（脇）　ちしほとみづに（血）（水）
つみもけがれも　あらひきよめよ

二
かよわきわれは　おきてにたへず（律法）
もゆるこゝろも　たぎつなみだも（涙）
つみをあがなふ　ちからはあらず

三
ゑふじかならで　たのむかげなき
わびしきわれを　あはれみたまへ
みすくひなくば（御救）　いくるすべなし（活術）

四
よにあるうちも　よをさるときも
ゑらぬよみにも（冥）　さばきのひにも（日）
ちとせのいはよ　わがみをかこめ

292* 第二百九十二　AZMON. 8686 (C.M.)

Oh for a thousand tongues to sing.

我が靈はわが救主なる神をよろこぶ　路一〇四七

一　耶蘇のみさかえ（光榮）と　みめぐみを
ことぞのかぎりに　たゝへまほし

二　めぐみあるきみ（君）よ　たか（尊）きみな（名）を
ひろむるわがみ（身）を　たすけたまへ

三　かなしみ（悲歎）をのぞき　おそれ（恐懼）をさる
みな（御名）をいつみび　きくうれしさ

四　つみのひとや（獄）をば　耶蘇はくだき
ち（血）をもてわがなひ　すくひたまふ

五　しに（死）しこゝろをも　いきかへらせ（復活）
のぞみをあたふる　みな（御名）をたゝへん

第二百九十五

ORTONVILLE. 8686 (C.M.)
TOTTENHAM. 來三〇二

Majestic sweetness sits enthroned.

祭司の長たる耶蘇を深く思ふべし

一　わがすくひぬしを　みかほ(御顔)はさかえ(光榮)に
あふぎ(仰)みれ(見)ば　てりかゞやく

二　あめ(天)にもつち(地)にも　みつかひ(天使)こぞりて
たぐひあらじ　たゝへまつる

三　われをあはれみて　十字架のはぢをも
みざ(御座)をくだり　おひ(負)たまへり

四　よみ(幽冥)よりすくひて　よろこびをわれに
し(死)にかたしめ　みた(滿)せたまふ

五　かゝるみめぐみを　うけしわれは
こゝろのかぎりを　さゝげ(献)まつらん

294*

第二百九十四

RATHBUN.　8787

In the cross of Christ I glory.

主耶蘇キリストの十字架の他に誇る所なからんことを願ふ　加六〇十四

一 うつりゆくよ（世）にも　かはらでたてる
主の十字架にてぞ　われはほこ（誇）らめ

二 みふみ（聖書）のひかりは　つみをあがなふ
十字架のうへにぞ　みな（皆）あつまれる

三 おそれとなやみに　かこまるゝとも
十字架はやすきと　よろこびみてり

四 十字架のうへより　さしくるひかり
ふむべきみち（道）をば　てらしてをしふ

五 わざはひさいはひ　よしあしともに
たゞ十字架にてぞ　きよくせらるれ

297* 第二百九十七

SACRIFICE. 666.8686

I gave my life for thee.

我を愛してわが爲に己をすてし神の子

加二〇二十

一
主はいのちを　あたへませり
主はちしほを　ながしませり
そのあがなひにて　われはいきぬ
われなにをなして　主にむ(報)くいし

二
主はみちゝ(天父)の　もとをはなれ
わびしきよ(世)に　すみたまへり
かくもわがために　さか(光榮)えをすつ
われは主のために　なにをす(捨)てし

三
主はゆるしと　いつくしみと
すくひをもて　くだりませり
ゆたけきたまもの(恩賜)　み(身)にぞあまる
たゞみ(身)とたま(靈)をば　さゝげまつらん

296* 第二百九十六　DISMISSION.　8888 (L.M.)

我とわが道を恥る者は人の子も亦これを恥べし。　路九〇廿六

Jesus, and shall it ever be.

一 あまつみつかひの　たえずほめうたふ
さかえの主耶蘇を　たれかはづ（恥）べき

二 やみ（闇）をうちはらし　あさひのごとくに
てりかゞやく主を　いかでかはづべき

三 わがつみかなしみ　みにおひたまへる
よきとも（友）主耶蘇を　なにとてはづべき

四 じふじかのはぢ（恥）を　わがためしのび（忍）し
きみ（君）をはぢらはで　ほてらしめたまへ

五 さばきのみくら（寶座）に　つきたまふときに
耶蘇きみよわれを　はぢ（恥）らひたまふな

一
きみ(君)なる耶蘇よ　けがれしわれを
あらひきよめて　めぐみをたま(賜)へ
わがひ(日)わがとき(時)　わがものみな(悉皆)は
きみのみために　もち(用)ひたまひね

二
わがて(手)はきみの　み(聖)わざ(業)をならひ
われのあゆ(歩)みは　み(聖)あと(跡)をふみて
いそしみすゝみ　主のみちからに
つねにたよりて　つよからしめよ

三
われのした(舌)をば　すくひのぬしの
めぐみをうたふ　うつ(器)はとなして
わがくちびる(唇)に　よきおとづれを
あふるゝばかり　みたしめたまへ

四
こがねしろかね　ちゑもちからも
いまさゝぐれば　みな(皆)とり(收)もち(用)ひ
われのこゝろを　み(御)くら(座)となして
み(聖)むね(旨)のまゝに　しろし(統治)めしてよ

298* 第二百九十八

FLEMING.　8886

われら見る所によらず信仰によりて歩む　哥后五〇七

O Holy Saviour, Friend unseen.

一 うつりゆくよ(世)にも　みて(御手)によりすがり
いつくしみの主に　えたがひゆかん

二 さくはな(花)うつろひ　あをば(青葉)かるゝとも
わがみき(幹)とたのむ　主をはなれじ

三 ふるさとをはなれ　たび(旅)につかるれど
耶蘇のみもとにて　いこひ(休息)をぞえん

四 よ(世)れのぞみ(願望)はたえ　とも(友)はすてさるも
かはらぬめぐみの　耶蘇よたよらん

五 あらし(嵐)ふきすさみ　あめ(雨)ふりあるゝも
いは(巖)なるわが主の　みかげ(御蔭)によらん

299* 第二百九十九

MESSIAH.　7777 7777

汝らおのが身を潔き活る祭物となして神に献げよ　羅十二〇一

Take my life, and let it be.

七　やはらぎ（平和）もとむる　ひと（人）ぞさち（幸）なる
あまつかみのこ（神子）と　となへらるべし

八　よきわざ（善事）なしつゝ　せめらるゝもの
みくにのさきはひ（福祉）　いまし（汝）をまてり

301　第三百一

FRANCONIA.　6686 (S.M.)

Blest are the pure in heart.

心の清き者は幸ひなり　太五〇八

一　こゝろきよき　ひと（人）はつねに
ちゝ（父）なるみかみ（御神）を　み（見）てたのしまん

二　いともきよき　かみのみこ（御子）は
このよ（世）にやどりて　のり（範）となれり

三　みこはいまも　こゝろきよき
へりくだるものゝ　うちにすまふ

四　みこ（御子）にきたり　われをきよめ
ちゝ（天父）をみるさちを　えさせたまへ

300 第三百

CONCONE. 8787

Blessed is the man whom Thou choosest.

天國は則ちその人のものなれば也　太五〇三

一 こゝろのまづしき　みくに（天國）のたからは
ひと（人）ぞとみ（富）なる　な（汝）がものなれば

二 かなしむともがら　なぐさめらるべき
ゑばしゑのべよ　ときはきぬべし

三 なごやか（温和）なるもの　よろづのくにをば
のぞみてまてよ　つぐひ（嗣日）ぞちかき

四 うゑかわくごとく　きみのいさを（功）もて
ぎ（義）をゑたふもの　やがてあきたらん（飽足）

五 あはれむこゝろを　かみ（神）のあはれみを
いだけるものよ　うけてたのしまん

六 こゝろきよきもの　み（眞）かみ（神）みまみゆる
いよいよすゝめ　さち（福）ぞそなはる

303* 第三百三

ELLESDIE.　87878787

Jesus, I my cross have taken.

我ら一切をすてゝ汝に從へり　路十八〇廿八

一
耶蘇よじふじかを　みて(御手)よりうけて
われはよ(世)のほまれ　むな(虛)しきのぞみ(望)
す(棄)つともをしまじ　たゞ主によりて
みかみ(御神)のくにをば　うるぞうれしき

二
耶蘇をすてしよ(世)は　わがもつたから(財寶)
わがみ(身)のたのしみ(快樂)　みなうばふとも
われはかなしまじ　たゞ主よりて
みかみのとみ(富)をば　うるぞうれしき

三
われはめぐみ(恩惠)より　さかえ(光榮)よすゝみ
のぞみはまこと(眞實)に　いのりはうた(讃歌)に
やがてかはりゆかん　たゞ主によりて
みかみのあい(愛)をば　うるぞうれしき

302* 第三百四

A charge to keep I have.　NEWLAND.　6686 (S.M.)

汝らも怠らずして守れ　可十三〇三五

一　われはかたく(確)　こゝろにとむ(認)
まもるべきつとめ(責務)　み(身)におへるを

二　かみ(神)をあがめ　すくひをえて
あめ(天)にかな(適)ひたる　ものとぞならん

三　よ(世)のためよは　いそしみつゝ
み(聖)むね(旨)をな(成)すこそ　わがせ(責)めなれ

四　さめていのり　たゞ主にのみ
よりたのむことを　え(得)しめたまへ

五　主よみまへを　あゆむわれに
さばきび(審判日)のそなへ　なさせたまへ

第三百五

CLEWER. 7575

If we die with Him.

我儕もし彼と共に死ば彼と共に生べし　提後二〇十一

一　わが主とゝもに　え（死）にたらば
　　また主とゝもに　い（生）きぬべし

二　ともになやみを（苦難）　えのびなば
　　また主とゝもに　よ（世）をさばかん

三　耶蘇をえらずと　われいはゝ
　　われをえらずと　主のたま（宣）はん

四　あさきこゝろは　うたがへど
　　きみのまことは　かはりなし

五　まこと（眞）とあい（愛）の　かみ（神）なれば
　　み（聖）ちか（約）ひいかで　たがふべき

304*
第三百四

I NEED THEE. 6464 (CHO)

I need Thee every hour.

汝ら我を離るゝ時は何事をも爲し能はず　約十五〇五

一 めぐみふかき　主のほか
たれかわれを　なぐさめん

（折反）
わが主わがかみ　めぐみたまへ
たゞたよりゆく　わがみ（身）を

二 わが主とともに　いま（在）さば
サタナわれを　いかよせん
（折反）

三 きよきみ（御）むね（旨）を　しめして
はた（果）したまへ　み（御）ちかひ（誓）
（折反）

四 たふとき主よ　われをば
きみのものと　したまへ
（折反）

五 之のかはなみ（死・河・涙）　うちよすとも
やすけく　みてによりて（御手）
あまつきしに　つかせたまへ
わが主よ

307 第三百七　QUAM DILECTA.　5757

汝いづれの時われに來りたまふや　詩百一〇二

I will come to you.

一 あゝ耶蘇よ　きみいまさずば（坐）
それいかで　やすきをうべき（平安）

二 とくきたり　こゝろのうちに
すみたまへ（住）　おそれはさりなん

三 つかのまも（暫時）　はなれたまはで
そがあたを（仇）　さりぞけたまへ

四 もろもろの　まどひをのぞき
みこゝろを　さとらせたまへ

五 みたみらと（神民）　ともにまもりて
あまつさち（天福）　えさしめたまへ（得）

306* 第三百六

OLIVET.　6646664

My faith looks up to Thee.

視よ我等はわが神に目をそゝぐ　詩百廿三〇二

一 まごゝろもて　あふぎまつらん
のろひの　きにかゝりて
しにたまひし　すくひのぬし
わが主よ

二 わがつみ(罪)とが(咎)　けがれもみな
あらひて　いまよりのち
きみのものと　なさせたまへ
わが主よ

三 いともあつき　めぐみをもて
ひえたる　わがこゝろに
きよけきひ(火)を　もやしたまへ
わが主よ

四 よのやみぢに　ゆきなやめり
くらきを　ひるにかへて
めぐみのひ(日)を　てらしたまへ
わが主よ

311 第三百十一

STEPHANOS. 8585

Art thou weary, art thou languid.

凡て疲たる者また重を負る者は我に來れ 太十一〇廿八

一 つかるゝものみな
いこひ(休息)をあたふる
きたりきけ
みこゑあり

二 いかなるしるし(徴)か
みて(御手)あしあばらの
あらはるゝ
いたで(重傷)なり

三 おほきみ(大君)のかむり
いたゞき(戴)ませるは
かゞやくや
いばら(荊棘)なり

四 したがひつかへば
なげきとなやみと
なにをう(得)る
なみだなり

五 これらをしのばゞ
かちえ(勝得)てまてとの
すゑいかに
やすみ(安息)なり

六 みたすけをこはゞ
よのをはりまでも
たまは(賜)るか
たすく(助)なり

七 よゝのひじりら(聖者)も
かはらぬめぐみの
みでし(御弟子)らも
あかし(證)なり

310

第三百拾

我は世の光なり

I am the Light of the world.

KOBE.
MOEL LLYS.
757575

三百十二

約八〇十二

一　わがきみ耶蘇は　よ（世）のひかり
ちゝ（天父）よりいでゝ　よのひとに
まことのかみ（神）を　しらすなり

二　わがきみ耶蘇は　よのひかり（光）
くらき（幽暗）にねぶる　よのひとに
み（身）のつみとがを　さとらしむ

三　わがきみ耶蘇は　よのひかり
わがゆくさきを　てらしつゝ
あやふき（危難）ことを　のがれしむ

四　わがきみ耶蘇は　よのひかり
したがふものは　やみ（闇）をいで
そのみひかり（御光）を　あふぐなり

五　わがきみ耶蘇は　ひ（日）のごとく
よろづのくによ　かゞやきて
よのつみびとを　てらすなり

はかりえられぬ　みいつくしみ
よろこびうけて　きみをたゝへん

313　第三百十三　NEAR THE CROSS. 7676 (CHO.)

Jesus, keep me near the Cross.

誇る者は主に頼りて誇るべし　哥前一〇三一

一　わがきみ耶蘇よ　あいのたるゝ
十字架のもとに　すませたまへ
（折　われのほこり　十字架にあり
反）十字架のほかに　たからはなし

二　十字架のうへに　よろこびあり
たえずみかげに　よらせたまへ
（折　反）

三　十字架にすがる　よわきわれは
みたすけをえて　つよくぞなる
（折　反）

四　あまつみやこに　いるときまで
十字架のもとを　われはなれじ
（折　反）

312　第三百十二

Come unto me, ye weary.　EDENGROVE.　7676 7676

われは光にして世に來れり　約十二〇四六

一
つかれしものよ　これにきたり
いこひ(休息)をえよと　よびたまへり
みもとにいたり　つみのゆるし
つきぬよろこび　みて(御手)よりうけん

二
まよへるものよ　これにきたり
ひかりをえ(得)よと　よびたまへり
きみのひかりに　てらされつゝ
ひびごと(日毎)たゞしき　みち(道)をあゆまん

三
よこれるものよ　これにきたり
いのちをえよと　よびたまへり
きみのちからを　よろひ(鎧)となし
よせくる(來る)あた(敵)に　かちてすゝまん

四
われにくるもの　われはすてじ
すくひをえよと　よびたまへり

弗一〇七

我儕その血により贖を得るなり

一
つみのおもにを
おきてぞこれは
めぐみのちしほ（血）
のこるくまなく

耶蘇のかたに
やすらはまし
こがけがれを
あらひきよむ

二
これはともしく（乏）
うゝる（飢）たましひ
うきぞなやみも
こゝろのどかに

主はゆたけし
あかせ（飽）たまふ
主にまかせて
よ（世）をぞすごさん

三
つかれしたま（靈）も
みて（御手）にすがりて
あやふきときも
おそれはうせて

つよききみ（君）の
ちからをぞえん
きみとあれば
いとやす（安）けし

四
みいつくしみよ
きよきみたまを
みちゝ（天父）のむねに
なしてぞあめ（天）に

とめる（富）きみの
われはうけて
かなふこざを
すゝみのぼらん

314　第三百十四　BLUMENTHAL. 7777 (CHO.)

I am coming to the Cross.

己れ既に活るにあらずキリスト我に在りて活るなり　加二〇二十

一　ほろぶるこのよ（此世）　くちゆく己がみ（身）
なにをかたのまん　十字架にすがる
（折）耶蘇よ十字架に　たゞたよりゆく
（反）己れをあはれみ　すくひ（救）をたまへ

二　ながくもとめて　え（得）ざりしすくひ
十字架によりて　うるぞうれしき
（折　反）

三　とき（時）もたから（財）　このみ（身）もたま（靈）も
みな主にさゝげん　己れは既やし（死）ねり
（折　反）

四　主にありいくる（活）　よろこびあふれ
みさかえ（光榮）うたふ　うたとこそなれ
（折　反）

315　第三百十五　HOME SWEET HOME. 76767676

I lay my sins on Jesus.

四　きみはいのちの　みなもと（源）なれば
たえずわき（湧）いで　こゝろにあふれ
それをうるほし　かわき（渇）をとゞめ
とこしへまでも　やすき（平安）をたまへ

317　第三百十七　S. AELRED.　8885

Fierce raged the tempest.

耶蘇風をいましめ又海に静まりて穏になれと云へり　可四〇三九

一　はげしきはやて（暴風）に　ふね（船）あやふきとき
耶蘇のみ（而已）しづかに　いねませり

二　みでし（御弟子）はさけびて　たすけをねがへば
なみ（浪）よしづまれと　のたまへり（宣）

三　みことば（御言）いづれば　すさまじかりける
なみかぜにむ（眠）かに　しづまりぬ

四　このよ（世）のうきなみ　あらだつときにも
耶蘇よあはれみて　しづめ（鎮）ませ

316* 第三百十六

HOLLINGSIDE.　77777777

Jesu, Lover of my soul.

願くは我を瞳の如くに守り汝の翼の蔭にかくし給へ　詩十七〇八

一
わがたましひを　あいする耶蘇よ(愛)
なみ(浪)はさかまき　かぜ(風)ふきあれて
しづむばかりの　このみ(身)をまもり
あめ(天)のみなと(港)に　みちびきたまへ

二
われにはほかの　かくれが(隠家)あらず
たよるかたなき　このたましひを
ゆだねまつれば　みいつくしみの
つばさ(翼)のかげに　まもりたまひね

三
わがみ(身)はまたく　けがれよそめど
きみはまこと(眞理)と　めぐみ(恩惠)にみちて
われのうちと(内外)を　ことごときよめ
つかれしたま(靈)を　なぐさめたまはん)

汝は平康よ平康をもて志堅き者を守り給ふ　賽廿六〇三

一 またき(全)やすき(平安)は　かみ(神)にあり
いづみのごとく　わきいでゝ
ながれひろがり　いやふかく
かわけるつち(土)を　うるほしぬ
(折) かみのちかひを　たのむみ(身)は
やすきにみちて　さちおほし
(反)

二 みて(御手)のうちなる　たみ(民)なれば
いざなひ(誘惑)もなく　あた(仇)もなし
よものなみかぜ　さわぐとも
かくるゝみかげ(庇蔭)　やすらけし
(折 反)

三 みいつくしみの　ひ(日)のひかり
さゝぬくまなく　てりわたる
かみ(神)のまことは　うごきなし
まごゝろつくし　よりたのめ
(折 反)

雜歌　神の平安

318　第三百十八　PRECIOUS NAME.　8787 (CHO.)

汝の聖名は地に普くして尊きかな　詩八〇一

Take the Name of Jesus with you.

一
なげきのしぐれよ　そで(袖)しぼるとき
たゞよびまつるは　きよきみな(御名)なり
(折)耶蘇のみなは　このよののぞみ
(反)耶蘇のみなは　あめのよろこび

二
サタナのいくさの　うちせまるとき
たて(盾)としいのるは　きよきみななり
(折　反)

三
みな(御名)によりたのむ　み(身)はいとやすく
くしき(奇)みちから(大能)に　つねにおほはる
(折　反)

四
よ(世)のたび(旅)をはら(終)ば　みくによのぼり
みなのかゞやき(榮耀)を　よろこびあふがん
(折　反)

319　第三百十九　S. BARNABAS.　75757575 (CHO.)

Like a river glorious.

四 よのことすべて（世 事） かへりみず
わしのくもゐに（鷲） ひゝるごと（沖）
たゞひとすぢに いのるとき
さかえはみざを（光榮） おほふなり

321 第三百二十一

I am not alone. BATTY. 8787

われ汝を捨て孤とせず再び汝らに來らん 約十四〇十八

一 よのあくるときも（夜） ひくるゝときも（日）
耶蘇ともにませば こゝろやすけし

二 このよをはなれて（世） さりゆくときも
耶蘇ともにまさば おそれはあらじ

三 かみのみさばきを（審判） よはをのゝけど（世）
耶蘇によるみは（身） よろこびまてり

四 みくらのまへにて（御座） わがきみ耶蘇に
まみゆるさきはひ うるぞうれしき（得）

第三百二十番

SULLIVAN.　75757575

There is a calm, a sure retreat.

われ汝にあひ贖罪所の上より汝に語らん　出廿五〇廿二

一
うきよのなだ（灘）の
あらなみに
たゞよはさるゝ
わがふね（舟）を
よするみなとは
みめぐみの
みくら（寶座）のもとに
あるぞかし

二
したしきとも（友）は
うみやまを
よし（縱）へだつとも
こゝろだに
あはせいのらば
みめぐみの
みくらのもとに
ともにあはん

三
あた（仇）のおそ（襲）ひと
いざなひよ
かこまるゝとき
をり（機）にあふ
たすけをこふは
いづこぞや
めぐみのみざ（御座）の
ほかはなし

第三百二十三

PAX TECUM. 10.10

Peace, perfect peace.

彼はわれらの平和なり　　弗二〇十四

一　やすし(安)やつみのよ(世)にも
　　主のち(血)によりてやすし

二　やすしやよ(世)のわざ(業)にも
　　主にしたがひてやすし

三　やすしやかな(悲)しみ(歎)にも
　　主のふところはやすし

四　やすしやわかれをるも
　　主のまもりにてやすし

五　やすしやみ(見)ぬゆくて(往方)も
　　主のしりませばやすし

六　やすしやし(死)のかげ(陰)にも
　　主ともにませばやすし

七　主耶蘇のみて(御手)にすがり
　　とは(永遠)のやすき(平安)にすゝまん)

322　第三百二十二　S. CATHERINE.　888888

We saw Thee not when Thou didst tread.

見ずして信ずる者は幸なり　約廿〇廿九

一
よにましゝときの（世・坐）
しにしをいかしゝ（死）
あまくだりしをば（天・降）
みかほをあふがず（御顔）
みこゑをきかねど
うたがはずしれり

二
あらなみをしづめ
いやしたまふとき
くすしきみわざを（奇）
めしひあしなへを（盲・跛）
みそばにをらねど
うたがはずしれり

三
きのもとにたちて（木・下）
やりにてみわきを（槍・御脇）
みまかりたまふを
みいのりをきかず
さしゝはみねども（刺）
うたがはずしれり

四
みでしをはなれて（御弟子）
よをいはひたまふ
あめにのぼりしを
くもゐにゆきつゝ（雲居）
みことばきかねど
うたがはずしれり

五
あまつみくににて
よをすぶるきみの（世・統）
いのりつたゝへつ
ちゝのみぎにたち（天父・右）
みさかえをみねど
よもひもをろがむ（夜・日・拜）

みくにのひかり　てりかゞやかん)

(祈　反)

325*

第三百二十五

S. AGNES.　8686 (C.M.)

How sweet the Name of Jesus sounds.

汝の名は灌がれたる香膏のごとし　歌一〇三

一 耶蘇きみのみな(名)は　たへなるかな
きけばかなしみも　おそれもきゆ

二 つかれしこのみ(身)の　いこひとなり
うゑしわがたま(靈)の　マナとぞなる

三 すくひのいはなる　このみな(聖名)こそ
あふるゝめぐみの　みなもとなれ

四 いのち(命)とみち(道)なる　わが主耶蘇よ
たゝへのことばを　うけたまひね

五 みな(聖名)はうるはしき　ゑらべとなり
いまのたましひ　なぐさめまし

六 みくによいたらば　きみにまみえ
みなにふさ(適)はしき　うたをさゝげん)

第三百二十四 IN SINU JESU. 767676(CHO.)

Safe in the arms of Jesus.

我は世の終りまで汝らと共に常に在るなり 太廿八〇廿

一
みすくひぬしの ふところ(懐)にて
みいつくしみに とは(永久)にいこふ
みつかひのこゑ みゝ(耳)にひゞき
みくにのたゝへ いまぞきこゆ

（反折）
みすくひぬしの ふところにて
みいつくしみよ とはにいこふ

二
みて(御手)にいだかれ まもられつゝ
いざなひおそれ さりていこふ(休)
かなしみもうせ なやみもつき
なみだのかわく ときはちかし

（反折）

三
耶蘇わがために しにたまへる(死)
みいさを(御功)よより やすくいこふ
やゝによ(夜)はすぎ あした(朝)となり

第三百二十七 HE LEADETH ME. 8888888(D.L.M.)

He leadeth me, oh blessed thought.

聖名の故をもて我を正道に導き給ふ　詩廿三〇三

一 いつくしみふかき　主のてにひかれて
このよのたびぢを　あゆむぞうれしき
(反折) いつくしみふかき　主のともとなりて
みてにひかれつゝ　あめにのぼりゆかん)

二 さびしきのべにも　にぎはふさとにも
主はともにまして　われをぞみちびく
(折 反)

三 ゆきなやむさかも　おづべきたにまも
主のてにすがりて　やすけくすぎまし
(折 反)

四 よのたびをてなば　しのかはなみをも
おそれなくわたらん)　主のたすけあれば
(折 反)

326* 第三百二十八

CRUSADERS. 568558

Fairest Lord Jesus.

汝は人の子らに優りて美はし　詩四五〇二

一
耶蘇きみは　いとうるはし
あめつちの主なる　かみ(神)のみ(御)こ(子)
ひと(人)のこ(子)を　なによかはたとへん

二
はる(春)のあさ　つゆ(露)よにほふ
はな(花)よりうつくし　あき(秋)のよる
そらにすむ　つき(月)よりきよ(潔)けし

三
なつ(夏)のゆふ　ふくかぜ(風)にも
ましてすがすが(清々)し　ふゆ(冬)のひ(日)の
しらゆき(雪)に　すぎていさぎよし

四
耶蘇きみは　いとうるはし
あめつちの主こそ　わがさかえ(光榮)
わがかむり(冠)　わがよろこび(歡喜)なれ

わがいへ(家)はいとゝほし　さびしき
やみ(闇)のなかにまよへる
　われをみちびきたまへ

二　とほくまでみる(見)ことを　のぞまじ
主よわがよわきあし(足)を　まもりて
ゆくてのひとあゆみ(一歩)を
　しめしたまはばたりなん)

三　われはさだめなきよ(世)に　さそらひ
おそれなきにあらねど　たかぶり
あだ(徒)にすごしゝとし(年)を
　主よわすれたまひてよ

四　みちからはかくながく　しのびて
われをしく(祝)したまへば　やま(山)にも
の(野)にもよ(夜)のあくるまで
　なほもみちびきたまはん)

五　とこしへのあけぼの(曙)と　なりなば
よ(世)にてなごりをしくも　わかれし
とも(友)のかゞやくかほ(顔)は
　ゑみ(莞爾)つゝわれをむかへん)

328*　第三百二十八

ROUSSEAU (GREENVILLE.)　87878787

Guide me, O Thou great Redeemer.

主は彼等を直き道に導き給へり　詩百七〇七

一
わがおほみかみ(大御神)よ　つよきみて(御手)もて
あれの(曠野)にさまよふ　われをみちびき
あめ(天)のみかて(御糧)よて　あか(飽)しめたまへ

二
めぐみのいづみ(泉)を　わ(湧)きあふれしめ
くも(雲)のはしらもて　ゆくて(往方)をしめし
わがたて(盾)となりて　まもりたまひね

三
ヨルダンのきしべよ　のぞ(臨)めるときも
おそれずやすらに(安然)　かなたにわたり
たゝ(稱)へしめたまへ　つきぬめぐみ(恩恵)を

329*　第三百二十九

LUX BENIGNA.　10 4 10 4 10 10

Lead, kindly Light, amid the encircling gloom.

主は永遠になんぢの光とならん　賽六十〇二十

一
みめぐみあるひかり(光)よ　ひ(日)はくれ

NOGEYAMA. 777777

Great God, and wilt Thou condescend.

我ら稱へられて神の子たることを得

約壹三〇一

一 あめつち志らす
あまつみ(御)かみ(神)を
かしこ(畏)かれども
いともたふとき
ちゝ(父)とし志(知)れば
よろこびあふる

二 あまつみちゝよ
たゝへのことば
あはれみきゝて
われのいのりと
つたなくあれど
うけ(受)いれ(納)たまへ

三 あまつみちゝよ
おこ(行)なふわざも
きよきみむねに
おもひ(思)とこと(言)ば
つゆおこたらで
かなはしめてよ

四 あまつみちゝよ
をはらばあめ(天)に
よきよつぎ(嗣子)でと
このよ(世)のつき(月)ひ(日)
われをまねきて
ならしめたまへ

雑歌 天に在す父

330

第三百三十

Lead us, heavenly Father, lead us.　STILLNESS.　878787

われ汝を導きて其往べき道を往しむ　賽四八〇十七

一
みちゝ(聖父)よよ(世)のなみ　さかまくうなぢ(海路)
わたりゆくわれを　まもらせたまへ
めぐみのもとなる　みちゝのほかに
たよりもとむべき　たすけはあらず

二
みこ(聖子)よわがつみを　ゆるさせたまへ
きみはつみのよ(世)の　たびぢになやみ
あれの(荒野)にくるしみ　こゝろみられて
よびと(世人)のよわきを　つばら(委曲)にしれり

三
みたま(聖靈)よくだりて　あまつたのしみ
あまついつくしみ　ゆたかにたまへ(賜)
ゆるし(赦)となぐさめ(慰)　まもり(守)をえ(得)なば
こゝろ(心)おそれなく　つねにやすからん

第三百三十三

KÖCHER. 7676

O happy band of pilgrims.

我らが前に置れたる馳場を走りイエスを望むべし　來十二〇一

一　あめ（天）よたびだつ　めぐみのこら（子等）
耶蘇のみあとを　ふみてすゝめ

二　うき（憂）よたへ（耐）つゝ　きみとともに
そのなすわざを　つとめはげめ

三　きみ（君）はかゞやく　おほ（大）み（御）かむり（冠）
たふじかのみち　うけたまひぬ

四　なやみくるしみ　よのいざなひ
みなあめ（天）にゆぐ　はし（梯）だてなり

五　みくにをのぞみ　きみにたよる
ほろびぬあい（愛）ぞ　に（似）なきたから（寶）

六　たびぢはてなば　きみにまみえ
とは（永久）のたのしみ　ともにぞうけん）

332　第三百三十二

S. OSWALD.　878787

Through the night of doubt and sorrow.

主に贖ひ救はれしものの歌うたひつゝシオンに來らん　賽五一〇十一

一　みくによゆくたみ（民）　やみよ（暗夜）をへつゝ
たゝへのうたにて　なぐさめすゝむ

二　やみぢにさしくる　ひかりをたより
かたみよはげみて　おそれをのぞく

三　かみ（神）ともにまして　みたみ（神民）のむかふ
ゆくて（往方）をしめして　みちびきたまふ

四　ひとつこゝろにて　みくにをのぞみ
なやみをしのびて　みちゝ（天父）をあふぐ

五　よ（夜）はとくすぎさり　むか（墓）うちひらけ
ねぶりしたみらは　みなさめ（醒）つどむん

六　かみのしろしめす（治）　あまつみくによ
たゝへ（稱）のことば（辭）を　ともにぞうたむん

たえせずきかせたまへ
よのうきくも（雲）はれわたり
あまつ（天）ひ（日）かゞやくまで

（折　反）

335　第三百三十五

DURHAM.　7777

Children of the heavenly King.

神はその神と稱ふることを恥とせざりき　來十一〇十六

一　かみ（神）のこ（子）たちよ
みすくひぬしの
よ（世）のたびゆくに
いさをゝうたへ

二　さきはひ（福祉）えたる
あとよゑたがひ
とほつおや（先祖）らの
みくにゝむか（向）へ

三　ひかり（光）のこ（子）らよ
とはのさかえ（光榮）の
そなへられたる
みやこ（都）をあふげ

四　のぞむみやこに
おそれずすゝめ
いまちかづけば
きみ（君）のみこと（詔勅）ぞ

五　よ（世）にあるたから
みちびくきみを
をしますすてゝ
よろこびたのめ

334

第三百三十四

PILGRIMS.

HARK, HARK, MY SOUL. (P.M.)

Hark, hark, my soul, angelic songs are swelling.

詩百三〇#

主に事ふる使者よ主を讃奉れ

一　みつかひ(天使)のたゝへうたは　うみやまにみちあふれ
あまつくにのさきはひを　よもひ(夜日)もたえずゑめす
(反折)　なぐさめのことこそ
たびぢゆくひとのちから

二　よべ(夕)のかね(鐘)のなるごとく　耶蘇のみこゑひびきて
おもにをおへるひとびと　みもとにぞつどひゆく
(折　反)

三　つかれしものよきたれと　よびたまふこゑをきゝ
けはしきやみぢ(暗路)もおぢず　よろこびすゝみてゆかん
(折　反)

四　みつかひのうたふうた(歌)を

三

耶蘇のつはもの
みたみ（神民）よならひ
いくさ（戰闘）をいどみ
主のみことのり（聖詔）

（折反）

いよしへの
いとたけき
もろともに
まもるべし

四

よ（世）のくにぐには
かみのみ（御）くに（國）は
よみのちからも
つよきみ（御）ちかひ（誓）

（折反）

ほろぶとも
いやさかえ
きえうする
かはりなし

五

きたれやきたれ
うたひひゞか（使）せ
よ（世）びと（人）みつ（天）かひ
耶蘇のみさかえ

（折反）

かちうた（凱歌）を
よろこべよ
もろともに
はめたゝへん

336*

第三百三十六　S. GERTRUDE. 757575(CHO.)

Onward, Christian soldiers.

主なんぢに先立て出給ひしにあらずや　士四〇十四

一
みよやゑふじの　はた（旗）たかし
きみなる耶蘇は　さきだてり
すゝめつはもの（兵）　すゝみゆき
おたをおそれず　たゝかへよ

（折反）
いさめつはもの　いざいさめ
ゑふじのみはた　さきだてり

二
耶蘇のみはた（御旗）を　かゝげなば
あたはをのゝき　にげかくれ
たゝへ（讃稱）のこゑの　いきはひよ
よみ（幽冥）のいしずゑ（礎）　ゆりうご（揺動）かん

（折　反）

一
あだ（敵）はたけしく
いのちのかて（糧）よ
たえずたゝかへ
なやみ（苦難）はおほし
つよくせられて
耶蘇のつはもの

二
いど（挑）みたゝか（戰）ふ
あだにむかひて
さきだつきみの
なかにくはゝり
をゝしくすゝめ
ちからはつよし

三
たゆむこゝろを
かみのよろひを
しばしゝのばゞ
はげましいさみ
つけてたゝかへ
かちどき（凱歌）あがらん

四
なみだのたに（谷）も
しふじのはたに
ちからいやまし
なやみのさか（坂）も
しだがひゆかば
おそれはさりなん

五
よしよ（世）のあだは
うち（撃）しりぞ（退）けて
のぞみてすゝ（進）め
むら（群）がりく（來）とも
さかえのかむり
耶蘇のつはもの

337 第三百三十七　PENTECOST.　8888 (L.M.)

Fight the good fight with all thy might.

信仰の善き戰をたゝかひ永生を取るべし　提前六〇十二

一 きよきみいくさに　はげみてたゝかへ
サタナよかち(勝)うる　ちからは耶蘇きみ

二 み(身)をなほ(直)きみち(道)に　よせてすゝみゆけ
いのち(生命)にみちびく　てびきは耶蘇きみ

三 うれひをうちすて　ひたすらにたよれ
つかれしこゝろの　いこひ(休)は耶蘇きみ

四 おそれでえたがへ　みて(御手)をなはなれそ(勿離)
きみ(君)のいつくしみ　つくるときぞなき

338 第三百三十八　TOPLADY.　777777

Oft in danger, oft in woe.

汝ら堅く信仰に立て丈夫の如く剛かれ　哥前十六〇十三

第三百四十

LABAN. 6686 (S.M.)

My soul, be on thy guard.

汝ら愼みまもれ　彼前五〇八

一　かたくまもれ　主のつはものの
　　ちよろづのあた(敵)は　たえずおそ(襲)ふ

二　め(眼)をさまして　いのりふせげ
　　たゝかひはやまず　みて(御手)にすがれ

三　か(勝)ちてゑめよ　かぶと(冑)のひも(紐)
　　かむり(冠)をうるまで　ゆめたゆむな

四　あまつ(天)みや(宮)に　みちびかれて
　　いこひ(休息)をうるまで　いさ(勇)みすゝめ

雜歌　愼むべし　(讀二七十)　

339 第三百三十九

REDHEAD 45.　7777

Soldiers who are Christ's below.

我らは壞れざる冠を得んが爲に之を行ふなり　哥前九〇廿五

一
耶蘇のつはもの　をゝしくふせげ
あたにかちなば　いさをのむくい（報）

二
やがてやぶるゝ　このは（樹葉）にあらぬ
さかえ（光榮）のかむり（冠）　とこしへまうけん

三
いくさをはらば　きよきみたみ（神民）と
ともにみくに（御國）の　さち（福）にあづからん

四
このよ（世）れさち（福）は　ちりうするはな
あめ（天）のたまもの（賜物）　したひもとめよ

五
ちゝみてみたま　みつのくらゐの
ひとりのかみを　よゝ（永世）ほめうたへ

一 ふせぎ（防）まもれ
かつたびごと
を（雄）ゝ々しくあれ
たゝかひなば
（反折）
たえずみめぐみ
主はよろこびて

二 あしきとも（友）に
かみ（神）のみ（御）な（名）を
まごゝろもて
たゝかひなば
（折反）

三 主れちからに
たふるゝ（仆）とも
いさみはげめ
かちをえ（得）なば
（折反）

こゝろみ（誘惑）に
つよくならん
主によりて
すくはれなん
あふぎもとめよ
たすけたまはん

まじはらず
あがめつゝ
主にたより
すくはれなん

たよるもの
つひにかたん
たゝかひて
かむり（冠）をえん

343 第三百四十三　S. ETHELWALD. 6686 (S.M.)

Soldiers of Christ, arise.

主およびその大なる能に頼りて剛健なるべし　弗六〇十

一 つはもの（軍兵）らよ
主のちからにより
よろひ（武具）をきて
をゝしく（雄壯）なれ

二 おぢ（怕）おそれで
もろもろのあた（敵）と
いさみすゝみ
たゝかひ（戰）かて（勝）

三 たえず（常）いのり
とこやみ（闇）のをさ（長）を
ちからをまし
くだきやぶれ

四 よき（善）たゝかひ（戰）
さかえ（榮）のかむり（冠）を
つひに（終）をへて
主よりうけよ

五 たかくうたへ
かしこみたゝへよ
かてるみこ（聖子）を
ちゝ（聖父）みたま（聖靈）を

344* 第三百四十四　CONSTANCY. 6565565 (CHO.)

Yield not to temptation.

汝ら信仰を堅くして惡魔を防げ　彼前五〇九

神の宮は即ち汝らなり

哥前三〇十七

一　あめ（天）なるよろこび
たづさへくだれる
すくひのめぐみを
いやしきこのみ（身）よ
こよなきあい（愛）を
わがきみ耶蘇よ
あらはにゑめし
やどりたまひね

二　いのちをあたふる
われらのこゝろを
みつかひのごとく
いのりをたえせず
主よとゞまりて
とこみや（常宮）となし
たゝへのうたと
さゝげしめてよ

三　われらをあらたに
さかえよさかえを
みくに（天國）よのぼりて
みかたちのごとく
つくりきよめて
いやましくはへ
みまへ（御前）よふすひ（日）
ならしめたまへ

345*

第三百四十五

PENTECOST.　8888 (L.M.)

So let our lips and lives express.

汝ら召されし召にかなひて行ふべし　弗四〇一

一　われらのことのは（言語）　われらのなすわざ（作行）
ともによろこびの　おとづれをえめさん

二　おそひくる（襲來）わたを　ほろぼしつくして
すくひぬしのみな（御名）　よ（世）にあらはさまし

三　ねたみもけがれも　とくみ（皆）なうちすて
まこと（眞理）ときよき（清）と　あい（愛）をおもひもとめん

四　みことば（聖言）にたより　たゞしき（正義）にたちて
主のきたまふひ（日）を　のぞみつゝはげまん

346*

第三百四十六

WESTON.
LOVE DIVINE.　87878787.

Love Divine, all love excelling.

まさせたまへ　主をあいする
あいをば　あいをば

348 第三百四十八　MARTYRDOM.　8686 (C.M.)

As pants the hart for cooling streams.

わが靈魂は汝を慕ひあへぐなり　詩四二〇一

一　さつを（獵夫）ゝのがれて　にぐるしか（鹿）は
たにま（溪間）のしみづを　あへ（喘）ぎしたふ

二　かみ（神）よわがたまも　あまつそのゝ
いのちのましみづ　かわ（渴）きこふる

三　いつくしみふかき　ちゝのみかほ
みて（觀）こそいやさめ　われのかわき

四　わがたまよなどか　うれひしづむ
みすくひをうたふ　ときはちかし

五　いにしへもいまも　つきぬよ（世）にも
ちゝみこみたまに　みさかえ（光榮）あれ

347*

第三百四十七

PRENTISS.　6464644.

More love to Thee, O Christ.

我ら神を愛するはかれ先づ我らを愛するによる　約壹四〇十九

一 わが主耶蘇よ　ひたすら
いのりもとむ　あい(愛)をば
まさせ(合・增)たまへ　主をあいする
あいをば　あいをば

二 よ(世)のやすきを　たのしみ
もとめたりし　み(身)なれど
いま(今)はねがふ　主をあいする
あいをば　あいをば

三 きたれきたれ　くるしみ
うきなやみも　いとはじ
いさみうたはん　主をあいする
あいをば　あいをば

四 いまはのいき(息)　かすかに
のこるときも　あいをば

五 うつしよ（現世）をば　むなれて
あまかける（天）ひ（日）に　きたらば
いよいよちかく　みもとにゆき
主のみかほを　あふぎみん

350* 第三百五十番

神は愛なり　GOD IS LOVE.　878777 (CHO.)　約壹四〇八

God is Love, His mercy brightens.

一 めぐみのひかりは　日がゆきなやむ
やみぢ（暗路）をてらせり　かみ（神）はあい（愛）なり
（反折）われらもあい（愛）せん　あいのみかみを

二 うきくも（雲）おほへど　みうゑのゑとゝへ
さやうにてりいづ　かみはあい（愛）なり
（折 反）

三 うれひのときにも　のぞみ（望）をあたへ
なぐさめたまへり　かみはあい（愛）なり
（折 反）

四 よ（世）はうつりゆけど　めぐみのひかり
さはにぞかゞやく　かみはあい（愛）なり
（折 反）

349*　第三百四十九

BETHANY.　6464664

Nearer, my God, to Thee.

汝のほかに我の慕ふ者なし　詩七三〇廿五

一
主よみもとに　ちかづかん
のぼるみちは　十字架に
ありともなど　かなしむべき
主よみもとに　ちかづかん

二
さすらふまに　ひ（日）はくれ
いし（石）のうへの　かりねの
ゆめ（夢）にもなほ　あめ（天）をのぞみ
主よみもとに　ちかづかん

三
主のつかひは　みそらに
かよふむしの　うへより
まねきぬれば　いざのぼりて
主よみもとに　ちかづかん

四
めさめてのち　まくらの
いし（石）をたてゝ　めぐみを
いよゝせち（切）に　たゝ（稱）へつゝぞ
主よみもとに　ちかづかん

四 耶蘇よきみのいさをみて　きよめらるゝぞうれしき
こゝろをあらたに(新)つくり　きみのものとなしたまへ

(折　反)

352* 第三百五十二　BALERMA.　8686 (C.M.)

Oh for a closer walk with God.

悔改めてはじめの工を行へ　默二〇五

一 みかみ(御神)のひかりよ　やみをさけて
耶蘇にかへりゆく　われをてらせ

二 主にまみえしとき　われのむねに
あふれしよろこび　いまやいづこ

三 おひやりまつりし　みたまのかみ(聖靈)
いまくゆるわれに　かへりたまへ

四 かみ(神)ならぬものを　みなうちすて
ひとりのみかみに　つかへまつらん

五 みたまのひかりを　たえずうけて
あまつまさみち(正道)を　いさみすゝまん

351*

第三百五十一

WHITER THAN SNOW.
11 11 11 11 (CHO.)

我を洗ひ給へ然ばわれ雪よりも白からん　詩五一〇七

Lord Jesus, I long to be perfectly whole.

一 耶蘇よこゝろにやどりて
　われをみやとなしたまへ
けがれにそみしこのみを
　ゆきよりもしろくせよな
（反折）
　わがつみをあらひて
　ゆきよりもしろくせよな

二 耶蘇よみちからによりて
　すべてのあたをおひやり
われをまたきにへとなし
　みまへにさゝげしめてよ
（折　反）

三 耶蘇よじふじかのもとに
　われはふしてこひねがふ
ながれいづるちしほにて
　つみのみをきよめたまへ
（折　反）

第三百五十四

MAIDSTONE. 77777777

I long to hear Thy Voice, O Lord.

願くは我に喜と樂を聽せたまへ　詩五一〇八

一
みちゑるべする　きよきみたまよ
うきよのたびに　さまよふわれを
あはれみたすけ　すくひにまねく
めぐみのみこゑ　きかしめたまへ

二
わがとも耶蘇よ　われをまもりて
うたがひまどふ　やみになおきそ
なやみのあらし　ふきくるときも
たすけのみこゑ　きかしめたまへ

三
よにあるつとめ　とくなしをへて
ちゝのみくによ　のぼりていてむ)ん
あまつさかえを　のぞむこのみに
こよとのみこゑ　きかしめたまへ

353* 第三百五十三　HOLY CROSS.　8686 (C.M.)

Come, Holy Spirit, heavenly Dove.

汝らよろしく靈に充さるべし　弗五〇十八

一 みたまよくだりて　あ(愛)いのほのほ
ひえたるこゝろに　もやしたまへ

二 はかなきかげ(影)のみ　おひさまよひ
まことのたのしみ　つゆもとめず

三 われらのうたよは　ちからもなく
たゝへのこゑだに　くちよいでず

四 ち(血)をもてすくへる　主をおもはず
し(死)よたるさまにて　いく(幾)ひ(日)をすぎん

五 みたまよ主耶蘇の　あ(愛)いのひ(火)もて
われらのこゝろを　もやしたまへ

第三百五十九

HEIAN. 57577

Thou wilt keep him in perfect peace.

わが平安を汝に予ふ　約十四〇廿七

一　つみのよの　やみぢたどれど　耶蘇のち(血)に　よりすがるみ(身)は　こゝろやすけし

二　ことしげき　つき(月)ひ(日)へつゝも　耶蘇きみの　みむねをなすは　こゝろやすけし

三　かなしみの　なみ(涙)よするとも　耶蘇きみと　ともにしあれば　こゝろやすけし

四　うみやまを　よしへだつとも　わがとも(友)を　耶蘇にゆだねば　こゝろやすけし

五　ゆくすゑは　つゆしられねど　すべしらす(統治)　耶蘇にたよれば　こゝろやすけし

六　しのかげ(死蔭)よ　おほはるれども　よみ(幽冥)にかつ　耶蘇ましませば　こゝろやすけし

七　よのいくさ(世戦)　はつるはちかし　やがて耶蘇　われをぞまねかん　あまつやすき(天平安)に

355　第三百五十五　S. Bees.　7777

Hark, my soul, it is the Lord.

われを愛する乎　約廿一〇十六

一　きけよわが（吾）たま（靈）　主耶蘇のみこゑ
わがこ（子）よいまし（汝）　われをあ（愛）いすや

二　われはいまし（汝）の　なはめ（縲絏）をときて
いた（重）で（傷）をいやす　われをあいすや

三　はゝ（母）はそのこ（子）を　よしわす（忘）るとも
われはわすれじ　われをあいすや

四　わがいのちをも　をしまですて（棄）し
あ（愛）いはかはらじ　われをあいすや

五　いよゝめぐみて　あまつさかえよ
ともにを（居）らしめん　われをあいすや

六　きみ（君）をあいする　こゝろはあさし
ふかくし（爲）たまへ　あ（愛）いをそゝぎて

萬世の王すなはち朽ず見ざる一の神

提前一〇十七

一　みくら(御座)よましますかみ(神)のみいづ
　　みめぐみのとみは　いとかしこし(畏)

二　たら(足)ぬことなく　きよらにます
　　かみ(神)のみちからは　いともくすし(奇妙)

三　みつかひ(天使)のたえず　ほめたゝふる
　　とこしへのきみ(君)は　いとたふと(尊)し

四　つみとがをゆるし　たへ(耐)しの(忍)べる
　　かみのあはれみは　たぐひぞなき

五　みいつくしみをば　ふかくおもひ
　　こゝろをさゝげて　つかへまつる

六　耶蘇のちゝ(父)がみ(神)の　みまへにいで
　　まみゆる(謁見)ときこそ　うれしからめ

357 第三百五十七　KORIYAMA.　57577

My God, I love Thee, not because.

我ら神を愛するは彼まづ我らを愛するによれり　約壹四〇十九

一　耶蘇きみを　よがあいするは
きえぬひを　おそれてさちを
ねがふためかは

二　しふじかの　むちとくるしみ
たへしのび　よがためにこそ
きみはしにませ

三　耶蘇きみを　よれはあいせり
きみよれを　あいしたまへる
めぐみおもひて

358 第三百五十八　BEDFORD.　8686 (C.M.)

My God, how wonderful Thou art.

五　むやくみもとに　いたれるともの
ゑまひ（笑）のかほを　みるそのひ（日）まで
みちびきたまへ　あまつみひかり

360　第三百六十　MATRIMONY.　7676

I am troubled above measure.

主よ我に仇する者はいかに蔓れるや　詩三〇一

一　あた（敵）のいきほひ　あたりがたし
かよわきわれを　まもりたまへ

二　みて（御手）をのばして　ちからをそへ
なやますつみ（罪）を　のぞきたまへ

三　すくひ（救）をあふぎ　きよきのり（法）を
たのむわがみ（身）を　いかしたまへ

四　なほきさばきを　よ（世）にあらはし
みくにのさかえ　しめし（示）たまへ

359 第三百五十九

REPOSE.　777777

Be Thou my Guide.

わが歩むべき道を知らせ給へ　詩百四三〇八

一 あまつひかりよ　やみぢをてらし
すみか（住處）をとほく　はなれてまよふ
われをあはれみ　みちびきたまへ

二 きみ（君）しまも（守）らば　わがよ（世）のたびぢ
ゆくて（往方）のすゑは　み（見）えわかぬとも
ひとあゆみ（一歩）ごと　すゝみつゝゆかん

三 さきにはきみ（君）を　たのみまつらで
おのがこゝろの　ほ（欲）りするみちよ
まよへるつみを　ゆるさせたまへ

四 ゑのびてわれを　めぐみまもれる
主にのみたより　けはしきやま（山）も
なみだ（涙）つかは（河）も　ゑたがひてゆかん

第三百六十二

HENLEY. 11 10 11 10

Come unto me, when shadows darkly gather.

我に來れわれ汝らを息ません　太十一〇廿八

一
よ（世）のやみにさまよひて
こゝろのつかれしもの
わがもとにいそぎきたれ
や（安）すけきいこ（息）ひあたへん

二
ちゝ（天父）のいへ（家）はいとひろく
たのしきす（住）まひ（居）おほし
こと（琴）のね（音）ゆかしくびゞき
きよらにみ（御）うた（歌）きこゆ

三
うるはしきあ（天）まつそ（園）のは
よ（世）よなきはな（花）かをりて
なぐさめとよろこびみつ
きたりていこひをえよ

雜歌　患難中の慰　（讃 三一一）

361 第三百六十一

Thy way, not mine, O Lord.　　IBSTONE.　6666

我に聖旨を行ふことを敎へたまへ　詩百四三〇十

一
わがゆくべき　みち(途)くらくも
て(手)をたづさへ　ともなひませ

二
けはしきやま(山)　おづべきたに(谷)
み(聖)むね(旨)のまゝ　みちびきませ

三
わがもとむる　ちゝのくによ
いたるみちを　えらびたまへ

四
わがうくべき　さかづき(杯)には
おぼ(思召)すごとく　みたしたまへ

五
とみとほまれ　うきとなやみ
わがことみな　さだめたまへ

六
われみづから　えらびはせじ
たゞみちゝ(天父)を　あふぎまつる

七 たびぢはてば　われをむかへ
あまつよろこびに　いらせたまへ

364 第三百六十四 REQUIEM. 878777.

God shall wipe away all tears.

神かれらの目の涙を悉く拭ひ給ふ 默廿一〇四

一 なげきのやみぢよ(暗路)　さまよふよびと(世人)
なみだのふちせに(淵瀬)　くるしむものよ
たよれなみだを　ぬぐふみかみよ

二 あはれたのむおや(頼親)　いつくしむつま(妻)
いとしきまなごを(眞子)　うしなふものよ
たよれなみだを　ぬぐふみかみよ

三 まづしきよなやみ(貧困)　やまひをうれひ
のぞみもつきはて(願望)　よ(世)をわぶるもの
たよれなみだを　ぬぐふみかみよ

四 耶蘇のみなゆゑよ(聖名)　せめらるゝもの
くるしみのなかに　みちをふむひと
たよれなみだを　ぬぐふみかみよ

363　第三百六十三

LYTE.　6686. (S.M.)

To Thee, to Thee, I press.

いづれの時にか我ゆきて神の聖前に出ん　詩四二〇二

一　あまついへ(家)の　ちゝのみもと
はなれてさすらふ　み(身)こそう(遥)けれ

二　のべ(野邊)のかりね　くさのまくら
つゆ(露)おくわがそで(袖)　かわくまなし

三　うきたびぢよ　ちゝのいへを
おもひしの(慕)べども　みちはとほし

四　うゑかわける　わがみ(身)とたま(靈)
つかれあへ(喘)ぎつゝ　ゆきわづらふ

五　あまつちゝよ　ちからをそへ
なへたるわ(吾)があし(足)　つよめたまへ

六　いけるみづを　わきいだして
こゝろのかわきを　いやしたまへ

第三百六十六　PARADISE.　8686. (CHO.)

O Paradise, O Paradise.

わが願望は世を去てキリストと共に在んこと也　腓一〇廿三

一
たのしみのその(園)よ　わなえたはし
みたみのさちわる　やすみどころ
(折)きよきともは　てりかゞやき
(反)みさかえをみ(見)　たのしみをらん)

二
たのしみのそのよ　よ(世)はふ(古)りゆく
ふりゆかぬわいの　みつるところ
(折　反)

三
たのしみのそのよ　の(望)ぞみつかる
耶蘇きみのみかは　とくみまはし
(折　反)

四
たのしみのそのよ　つみにむなれ
そのゝみたみらの　きよききをぞえん)
(折　反)

五
みそのゝおはきみ　ひれをわいし
そなへしところよ　みちびきませ
(折　反)

365 第三百六十五

S. ALPHEGE. 7676.

Brief life is here our portion.

見ゆる所の者は暫時にして見えざる所の者は限りなければ也　哥後四〇十八

一
なやみのいのち　つかのま（暫時）なり
つきぬいのちは　かのよ（來世）にあり

二
つみとうれひの　つかれ（疲）にかへ
みくにのやすき（平安）　え（得）てたのしまん

三
いまもいくさ（戰）は　なほやまねど
さかえ（光榮）のかむり（冠）　それをまて（待）り

四
おそひくるあた（敵）　たけ（猛）しくとも
めさめ（警醒）てはげみ　たゝかひかて（勝）

五
いくさをはらば　あめ（天）えのぼり
かみ（神）のみまへに　かちどき（凱歌）あげん

六
いとゑたはしき　かのよのさち（福）
主よあはれみて　それにたま（賜）へ

一　わづかのとし（年）　すぎさりなば
われらもねぶりて　はか（墓）にぞいらん
主よわがつみ　のぞきさりて
かのひ（日）のそなへを　なさせたまへ

二　すくなきひ（日）の　かくれゆかば
とはにてる（照）くに（國）に　のぼりゆかなん
主よけがれを　あらひさりて
かのひ（日）のそなへを　なさせたまへ

三　しばしうき（憂）を　たへしのばゞ
なみだ（涙）ぬぐはるゝ　ときぞきたらん
主よたふとき　ち（血）をそゝぎて
かのひのそなへ（準備）を　なさせたまへ

四　しばしてのち　きみ（君）きたりて
さかえのかむりを　あたへたまむん
主よゆたけく　めぐみをたれ
かのひ（日）のそなへを　なさせたまへ

367 第三百六十七

MANSFIELD. 8785.
MELTON.

On the Resurrection morning.

目醒るとき容光をもて飽足ることを得ん　詩十七〇十五

一 いともよろこばし　よみがへりのひ(日)
ふたゝびみ(身)とたま(靈)　ともよあ(合)はん

二 しばしのほどこそ　たま(靈)ははなるれ
み(身)ははか(墓)にいねて　いこふべし

三 たまはねぎごと(祈辭)を　たえずさゝげて
めさますみこゑを　まちのぞむ

四 おや(親)こ(子)とも(友)どちも　はかよりいでゝ
あひ(相)み(見)るよろこび　はてぞなき

五 わがみとたまとに　耶蘇のすがたを
き(着)せたまふかみ(神)よ　さかえあれ

368 第三百六十八

CHALVEY. 66866686 (D.S.M.)

A few more years shall roll.

この世の形状は過ゆくなり　哥前七〇三一

370* 第三百七十

OAK. 6464664.

I'm but a stranger here.

神われらの為よ京城を備へたまひしなり　來十一〇十六

一　うきよ（世）のたび　まくらすべき　うきとおそれ　たえざるとも
ゆくみ（身）は　いへ（家）なく　あめ（天）こそわが　ふるさと

二　あれの（曠野）のかせ　たび（旅）のをはり　みねのふゞき（吹雪）　あめこそわが
すさめぞ　まちかし　ふきたけれぞ　ふるさと

三　すくひぬしの　とはのさかえ（光榮）　あい（愛）のとも（友）　あめこそわが
みもとに　われうけん　ともにつどふ　ふるさと（郷里）

369 第三百六十九

S. ANGELO. 7575757575.

Light after darkness.

終まで忍ぶ者は救はるゝことを得ん　太廿四〇十三

一 やみのよすぎて　ひかゝやき
あめかせののち　のどやかに
なみぢわたりて　きしにつき
おそれをはりて　やすらけし

二 なやみよたへて　のぞみいで
なみだかわきて　ゑみとなり
たねをおろして　かりをさめ
じふじかおひて　かむりをえん

三 さびしささりて　よぎむしく
よみをとほりて　いのちをえ
つひよつきせぬ　よろこびよ
いたるみちてそ　うれしけれ

其城の光り輝くこといと尊き玉の如し
默廿一〇十一

一
またま（眞玉）しらたま
かみのみやこを
よのひとしらぬ
こがね（黄金）ひかる
よろこびまたん
たのしみみち

二
みやこのとの（殿）に
かゞやくさかえ（光榮）
たぐひあらじ
うちつどへる
あまつゝかひの
きよきむれも
いのちさゝげし
あかしびとも
主のみいさを（御功德）ゝ
たゝへまつる

三
あた（敵）にかちたる
主のつはもの
しろきころもを
み（身）にまとひて
あまつうたげ（宴）の
まねきよいり
よ（夜）もひ（日）もたえず
かみ（神）をうたふ

四
そなへたまへる
すまひ（住居）おほき
かみ（神）のみやこ（都）を
よろこびまたん
わがきみ耶蘇よ
せちに（切）したふ
たのしきくによ
いら（入）せたまへ

371　第三百七十一

Rise, my soul, and stretch thy wings.　LANCASHIRE.　76767776.

彼らは更に愈れる所卽ち天ヶ在る所を慕へり　來十一〇十六

一
わがたましひよ　つばさ(翼)をのべ
あめ(天)にかけりて　ちゝのかみ(神)の
とはのみとの(御殿)よ　とくのがれゆけ
うみやまひつき(日月)　みなきえうせん

二
わがたましひよ　うれひをすて
あまつさかえ(光榮)を　のぞみすゝめ
すくひのぬしは　いまあらはれて
くちぬかむり(冠)を　さづけたまはん

三
わがたましひよ　あめ(天)をあふぎ(仰)
かみ(神)のみやこを　たえずうたへ
たるゝなみだ(涙)を　みなぬぐはれて
またき(全)へいわ(平和)と　たのしみうけん

372*　第三百七十二

EWING.　76767676.

Jerusalem the golden.

第三百七十四　S. FAITH. 11 11 11 11 (CHO.)

My home is in heaven.

汝ら天にあるものを思ひ地にあるものを念ふ勿れ　西三〇二

一 わがふるさとのすみかは　たかきうへのくに(國)なれば
よに(世)はやすむ(休)ところなし　なにをかおもひわづらはん
(折) かみのつかひはみかどに　たちてたかくうたひつゝ
(反) このたのしきみそまひに　きたれとわれをまねけり

二 わがちゝのくにをつぐ(嗣)は　いまのよ(世)にしあらざれば
こゝにこゝろをとゞめで　のちのよをぞいそがるゝ
(折 反)

三 いばら(荊棘)あざみ(薊)もいとはず　はなのしとね(蓐)ものぞまじ
われは耶蘇のふところに　いこふときをこそのぞめ
(折 反)

第三百七十三　THE GATE AJAR. 8787. (CHO.)　默四〇一

There is a gate that stands ajar.

これ見しに天よ門開けありたり

一　たへなるめぐみや
主のみいつくしみ
みかど(御門)はひらけ
よ(世)にかゞやけり
(折)たへなるめぐみや
あめなるみかどは
(反　ひらけて
これをまてり

二　いづこのたみ(民)らも
よろこびむかへ(迎)て
すゝみだにせば
いれたまふべし
(折　反)

三　むらがるあた(敵)をも
なやみおほくとも
おそれですゝめ
かち(勝)のひ(日)ちかし
(折　反)

四　みまへよかちうた(凱歌)
さかえのかむり(冠)を
うたふそのとき
かうべにぞうけん)
(折　反)

第三百七十六 SWEET BY AND BYE. 9999(CHO.)

There's a land that is fairer than day.

神の幕屋人の中にあり神人と倶に住みたまふ　默廿一〇三

一　はるかにあふぎみる　かがやきのみくにゝ
　ちゝ(天父)のそなへましゝ　たのしきすみかあり
(反折)　われらつひに　かゞやくみくにゝて
　きよきたみと　ともにみまへにあはん

二　かゞやくみくにゝて　うきもなやみもなく
　たのしきこゑあはせ　たえずともにうたはん
　(折　反)

三　ちゝのあい(愛)あふれて　さいはひみ(身)にあまる
　ゆたかなるめぐみを　とこしへ(永遠)にたゝへなん
　(折　反)

375 第三百七十五

There is a land of pure delight.　SOUTHWELL.　8686 (C.M.)

また死あらず哀み哭き痛みあることなし
默廿一〇四

一
主よあがなはれし
すまふみくにこそ
きよきたみの
たのしくあれ

二
とこしへのはるに
うるはしのかをり（薫）
つきせぬはな（花）
えならぬいろ

三
みくにをへだつる
よのひと（世人）ためらふ
しのかは（死）あり
そのきしべよ

四
まよひのくもきり
みさかえ（光榮）みえなば
はれわたりて
おそれあらじ

五
かみよみひかりを
たえずてらし
たのしきみくにを
のぞましめよ

第三百七十八　JOYFULLY.

10 10 10 10 10 10 10 10

Joyfully, joyfully, onward we move.

汝らの父は喜びて國を汝らに予へたまはん　路十二〇三二

一 わが主耶蘇あはれみて　われをさかえ(光榮)のくに(國)よ
きたれとまねき(招)たまふ　とくよろこびゆかまし
たまのをのたゆるとき　かみのみまへにのぼり
いつくしき主ともに　いこひ(安息)をうるたのしさ

二 主によりたのむわれは　よみぢゆくもおそれじ
耶蘇はか(墓)をいでませば　われもはかにとまらず
そなへましすまひに　うきもなやみもわすれ
よろこびにみたされて　みかほ(御顔)をたえずあふがん

377 第三百七十七 TRIUMPH. 7777777

Our citizenship is in heaven.

是れ汝らの爲に所を備へに往く 約十四〇二

一 われらのくにには　このよにあらぬ
いともたのしき　あまつみくにぞ
耶蘇きみはやく　みちゝ(天父)のいへに
すまひ(住處)そなへて　まちたまふなり

二 なみかぜあらき　このよのなだ(灘)に
たゞよふときも　おそれはあらず
耶蘇により(倚)ふし(伏)　しづか(平安)にねぶり
めさめてみれば　やすけきみなと

三 これぞみくにの　たのしきみなと
耶蘇のみかはの　さかえをあふぎ
つみもなやみも　し(死)もみなつきて
とは(永久)にみちゝの　みもとにすま(住)む

人もし我に由ざれば父の所に往こと能はず　約十四〇六

一　サタナのさそひ　かなしみも
つみもなやみも　はなれさり
やすくたのしき　みすまひに（御住）
ゆくべきみちは　耶蘇きみぞ

二　ひたひ（額）に耶蘇の　おほみなを
しるさ（記）ぬものは　いたりえじ
こがねまたま（眞玉）の　かゞやける
さかえのきみの　みすまひに

三　みすまひにすむ　みたみ（神民）らは
みちゝ（聖父）とみこ（聖子）を　ふしをがみ
みたま（聖靈）のめぐみ　つねにうけ
たゝへのうたを　さゝぐ（献）なり

四　みちゝよ耶蘇に　よりねがふ
をはり（末日）にたみを　えらぶとき
ほのほ（焰）のいけ（池）に　なげいれず
それをみもとに　とりたまへ

379 第三百七十九

EPSOM COLLEGE. 777777

O mother dear, Jerusalem.

聖城なる新しきエルサレム備へ整ひ神のもとを出て天より降るを見る　默廿一〇二

一 このよのなだ(灘)を　わたりつくして
ひさしくえたふ　かみ(神)のみやこ(部)の
さかえをみるは　いづれのときぞ

二 かなしみうれひ　つかれだよなき
いともたのしき　みそのゝうちに
きよきやから(族)は　よろこびつどふ

三 つねよかゞやく　かみのひかりを
うくるみたみは　ひ(日)のでとてりて
いぶせきくも(雲)の　かゝるときなし

四 ひさしくえたふ　あまつみやこに
つひよのぼりて　みくらにいます
かみのみかはを　えたしくをがまん(拝)

380 第三百八十

MAGDALENE. (2) 757575

There is a place I long to see.

Lord, I care not for riches.

汝らが名の天に記されしを喜とすべし　路十〇廿

一 うきよのたから　たのむべしや
わが主とともに　とはにすまむ
あまつみくにの　ふみ（書）のうちに
主よわれのな（名）は　しるされしや
(折)　いともきよき　あまつふみに
(反　しるされしなぞ（名）　よろこばしき

二 つみはいさご（真砂）に　ひとしかれど
きみのち（血）しほは　われにたり（足）ぬ
つみのけがれを　ゆき（雪）のごとく
きよくあらふと　ちかひましき
(折　反)

三 ひかりかゞやく　あまつくにに
すむさきはひは　はかりぞなき
けがれしものの　なきみやこに
主よわれのなは　しるされしや
(折　反)

381* 第三百八十一

RUTHERFORD.　7676767 6

The sands of time are sinking.

彼らは更に優れる所を慕へり　來十一〇十六

一 やみよのとばり（帷）　やゝよひらけ
あまつあけぼの　あらはれきて
さかえ（光榮）かゞやく　イマヌエルの
くに（國）のひかりは　てりわたりぬ

二 いは（岩）なる主より　わきていづる
いのちのみづの　ながれそゝぐ
へいわ（平和）のうみ（海）は　イマヌエルの
くにをめぐりて　きよくすめ（澄）り

三 あい（愛）のひかりに　まばゆくてる
しろきころもの　きよきみたみ（神民）
みつかひ（天使）ともに　イマヌエルの
くしきみむね（聖旨）を　たゝへうたふ

382 第三百八十二

IS MY NAME WRITTEN THERE?

76767676 (CHO.)

第三百八十四　RETREAT.　8888 (L.M.)

From every stormy wind that blows.

これら憚らずして至聖所に入ることを得　來十〇十九

一　うきよれあらなみ　のがれてやすらふ
えづけきみなと（港）は　めぐみのみざなり

二　いともかぐはしき　よろこびのあぶら
かしらようけまし　めぐみのみざ（御座）よて

三　すみかへだつとも　主よあるみたみは
ともよてそあむめ　めぐみのみざよて

四　せちなる（切）いのりよ　あめ（天）のと（戸）ひらけて
かゞやくみさかえ（光榮）　みざ（御座）のうへよみゆ

383* 第三百八十三 SWEET HOUR. 88888888 (D.L.M.)

Sweet hour of prayer.

義者の篤き祈禱は力あるもの也　雅五〇十六

一
しづけきいのりの　とき（時）はいとたのし
なやみあるよ（世）より　われをよびいだし
ちゝ（天父）のおほまへに　なべてのもとめを
たづさへいたりて　つぶさにつげしむ

二
しづけきいのりの　ときはいとたのし
さまよひいでたる　わがたま（靈）をすくひ
おやふきみちより　とも（侶）なひかへりて
こゝろむるものゝ　わなをのがれしむ

三
しづけきいのりの　ときはいとたのし
そびゆるピスガの　やまのたかね（高峰）より
ふるさとながめて　のぼりゆくひ（日）まで
なぐさめをあたへ　よろこびをみたす

いまそのときよは　ちゝ(天父)のいへの
みかど(御門)のひらくる　あひことば(合語)ぞ

第三百八十六

SALZBURG.　777777

我ヨが磐なる神に云ん何ぞ我を忘れ給ひしや　詩四二〇九

As the hart panteth.

一 ヨがたましひは　かみのみかほを
えたひまつりて(溪間)　おむるゝえか(鹿)の
たよまのみづ(水)を　えたふによたり

二 いまな(汝)がかみ(神)は　いづくにあると
よびと(世人)なじれり　ひねもすヨれは
おつるなみだを　かて(糧)とはなしぬ

三 わがたま(靈)などか　うれひよえづむ
ひたすらかみの　めぐみをあふぎ
こゝろやすらに　まち(待)やのぞまぬ

四 たゞよりたのめ　えをるゝかほ(顔)に
ゑみ(笑)をたゝ(滿)へて　よろこびうたふ
めぐみのときは　やがて(直)きぬべし

385* 第三百八十五　CHESTER. 8686886 (D.C.M.)

Prayer is the soul's sincere desire.

祈を聽給ふ者よ諸人こぞりて汝に來らん　詩六五〇二

口

一
いのりはくちより　いでこぬとも
まことあるたま（靈）の　ねぎごと（求言）なり
いのりはこゝろの　そこにひそみ
かくるゝほのほ（焔）の　もえ（燃）たつ（立）なり

二
いのりはをさなき　くちびるにも
いひうるたやすき　ことのはなり
いのりはあめ（天）なる　みくら（御座）までも
けだかくきこゆる　うたにぞある

三
いのりはくい（悔）たる　つみびとらの
まよひのみちより　かへるこゑぞ
みつかひ（天使）はきゝて　こと（琴）をかなで
よろこびのうたを　あは（合）せさゝぐ

四
いのりはみたみ（神民）の　いのち（生命）をうる
きよけきみたまの　かぜにぞある

第三百八十八

FRANKFORT. 8787.

Come, my soul, thy suit prepare.

汝ら言詞を携へ來りて主よ歸れ　何十四〇二

一　さゝぐるいのりを　よろこぶきみに
いざやねぎごと(祈辭)を　とゝのへきたれ

二　あめつちのをさは　たからにとめり
あまたのたまもの　おそれでいのれ

三　きみよわがつみの　おもにをおろし
あがなひのち(血)にて　きよめ(潔)きよめよ

四　ひそめるあた(仇)をば　えりぞけはらひ
こゝろにやどりて　やすき(平安)をたま(賜)へ

五　このよにさまよふ　われをともなひ
みいつくしみもて　みちびきたまへ

387　第三百八十七

HALLETT.　777777

Send out Thy Light.

汝の光と眞理を放ちわれを導きたまへ　詩四三〇三

一　かみよまこと(眞理)と　ひかり(光明)をはなち
きよきみやま(御山)に　とくみちびきて
主のあげばり(幄)に　いらしめたまへ

二　こと(琴)かきならし　まつり(祭)のには(庭)に
すゝみのぼりて　みつるたのしみ
あたふるかみを　ほめたゝへまし

三　わがたま(靈)なぞか　うれひにしづむ
ひたすらかみの　めぐみをあふぎ
こゝろやすらに　まちやのぞまぬ

四　たゞよりたのめ　しをるゝかほに
ゑみをたゝへて　よろこびうたふ
めぐみのときは　やがてき(來)ぬべし

むかしもいまも　かはらぬかみは（神）
わがいのりをも　ともにきゝまさん（同一）

390* 第三百九十番

WHAT A FRIEND. 87878787
CHIMES.

What a friend we have in Jesus.

汝らわが名によりて願ふ所のことは我すべて之を成ん　約十四〇十四

一
たふときわがとも（友）　耶蘇キリストは
つみとがうれひを　とりさりたまふ
こゝろのなげき（悲歎）を　つゝまずのべて
などかはおろさぬ　おへるおもにを

二
たふときわがとも　耶蘇キリストは
われらのよわきを　しりてあはれむ
なやみかなしみに　しづめるときも
いのりにてたへて　なぐさめたまはん

三
たふときわがとも　耶蘇キリストの
ふかきいつくしみ　とは（永久）にかはらず
よのとも（世友）のはなれを　すてさるときも
いのりにてたへて　いたはり（憐憫）たまはん

389 第三百八十九

WATCHMAN. 77777777
ASCENSION.

The Prayer of Faith.

凡て我ら神の旨に合ふことを求めば彼必らず聽給はん　約壹五〇十四

一
めぐみよとめる　あめ(天)なるちゝ(父)に
いのりもとめよ　もとめばたま(賜)はん)
よしあめつちは　ほろびうすとも
主のみことばは　とはよかはらじ

二
主のな(名)によりて　さゝぐるいのり
なぞかみ(聖)ちゝ(父)に　のぼらざるべき
みまへにありて　とりなすみ(聖)こ(子)の
いさををめでゝ　うけいれたまはん)

三
たゞしきひとの　あつきいのりは
くしき(奇)ちから(能)を　よ(世)にあらはせり
やまをもうみに　うつさばうつる
しん(信)じてなしなば　なにかはならぬ

四
ひ(火)をよびくだし　あめ(雨)をふらしゝ
エリヤもわれと　おなじひと(人)なり

Jesu, meek and gentle.

願くは我をして心一つに聖名を恐れしめ給へ　詩八六〇十一

一 あはれみふかき　かみのみこ(御子)
いのりのこゑを　きゝたまへ

二 とがをゆるして　み(身)にまとふ
つみのきづなを　ときたまへ

三 きよきのぞみ(望)を　もたしめて
みくにのさちを　した(慕)はせよ

四 やみをはなれて　み(聖)ひかり(光)に
わがゆくみちと　なりたまへ

五 あはれみふかき　かみのみこ
いのりのこゑを　きゝたまへ

391* 第三百九十一

EVEN ME.　878766

Lord, I hear of showers of blessing.

これ即ち幸福の雨あるべし　　結三四〇廿六

一　かみ（神）よわれはいま　めぐみのあめ（雨）の
あまねくふりくる　おとをきくなり
そゝぎたまへ　わがうへにも

二　かわけるつちさへ　みなうるほへり
主よそのなごりの　ひとしづくだに
くだしたまへ　わがうへにも

三　めぐみゆたかなる　あまつみちゝ（聖父）よ
われをみすぐして　よそになゆきそ
やどりたまへ　われとともに

四　いつくしみふかき　すくひのぬしよ
きみ（君）をしたはしめ（令）　みいつくしみに
をらせ（居）たまへ　よわきわれを

五　たへなるちからの　きよきみたま（神靈）よ
しひ（盲）たるこゝろの　まなこをひらき
みさせ（見令）たまへ　あまつひかり

ALLELUIA 878787

Praise, my soul, the King of heaven.

主に感謝し聖名を讃稱ふるは善かな

詩九二〇一

一 たゝへ(稱讃)のみつぎ(貢)を　みまへにさゝげ
ゆるされ(赦)いかされ(活)　やはらぎをえて
ハレルヤ、ハレルヤ、かみをあがめよ

二 みちかひ(聖約)はかたく　みいかり(御怒)おそく
おやたち(列祖)をめぐみ　こら(子孫)をもいはふ
ハレルヤ、ハレルヤ、あめ(天)なるみちゝ(聖父)

三 われらのよわきを　えりてあはれみ
たすけつつよめ(強)つ　あた(仇)よかたしむ
ハレルヤ、ハレルヤ、あまつおほきみ(大君)

四 あまつつかひらも　よろづのくにの
すくはれしたみも　われらとともに
ハレルヤ、ハレルヤ、かみをたゝへよ

第三百九十三

Praise to the Holiest in the height.

GERONTIUS. 8686 (C.M.)

第二の人は天より出たる主なり　哥前十五〇四七

一 いときよきかみ(神)を
ほめたゝへよ
みわざ(御事)もみのり(御法)も
たへまくすし

二 よのひとことごと(悉皆)
つみのしたに
あへぎ(喘)くるしむを
たれかすくはん

三 とりて(俘囚)にせられし
ひとのすゑは
あた(仇)なるサタナを
うちきためぬ

四 よ(世)にき(來)しひとのて
ひと(人)のさが(性)に
かみのきよきさが(性)
そなへたまふ

五 ひと(人)のつよきあた(仇)
うち(擊)しきみは
み(身)とたま(靈)のなやみ
いたくうけぬ

六 その(園)にひざまづき
き(木)にあげられ
たへ(耐)またしのび(忍)を
よ(世)にをしへぬ

七 いときよきかみを
ほめたゝへよ
みわざもみのりも
たへにくすし

第三百九十六

MONKLAND. 7777

His mercy endureth for ever.

その憐み永遠に絶ることなし　詩百三六〇一

一　あめつちの主を　あがめたゝへよ
そのあはれみは　よゝ(永世)につきせず

二　主にますかみは　よ(世)をすべをさむ
そのあはれみは　よゝにつきせず

三　なやみのときに　かへりみたすく
そのあはれみは　よゝにつきせず

四　よわきわれらを　あた(仇)よりすくふ
そのあはれみは　よゝにつきせず

五　いき(生)としいける(活)　ものをやしなふ
そのあはれみは　よゝにつきせず

六　主にますかみは　めぐみにとめり
そのあはれみは　よゝにつきせず

395 第三百九十五

Songs of praise the angels sang.

CULBACH. 7777

彼の時には明星相共にうたひ神の子等みな喜びて呼ばはりぬ　伯三八〇七

一
かみ(神)あめつちを　つくりましゝひ(日)
みつかひのうた　あめ(天)みぞみちし

二
みこ(聖子)よ(世)にくだり　あれ(生)ましゝひ(日)も
たゝへのことば　そら(空)にひゞけり

三
みてよみ(幽冥)にかち　のぼりましゝひ(日)
みつかひつどひ　ほめてうたへり

四
ふるき(舊)はさりて　よ(世)はあたらし(新)く
なり(造)いづ(出)るとき　ほめうたきこえん

五
このときをまつ　よのみたみらは
たゝへのうたを　うたはざらめや

六
こゝろきよらよ　みな(御名)をたゝへて
みくにようたふ　うたをぞならはん

S. MAGNUS. 8686 (C.M.)

I will always give thanks.

われ常に主を祝ひまつらん　詩三四〇一

一　われつねよかみを　いつき(齋)まつり
みとく(御徳)をたゝへて　たえずうたふ

二　へりくだるものよ　きたりともに
わがかみ(神)をあがめ　みな(聖名)をうたへ

三　なやみのわな(罠)より　さけびしとき
わがこゑをきゝて　すくひましき

四　かみのみつかひは　むれつどひて
よりたの(倚頼)むものを　まもりたすく

五　ふかきみめぐみを　あぢ(味)はひしれ(知)
主をおそるゝもの　とも(乏)しからじ

397* 第三百九十七

NUN DANKET ALLE GOTT.

67676666

Now thank we all our God.

その聖名をほめよ日毎よその救を宣傳へよ　詩九六〇二

一 いざやともよ
くしきみわざ
つくりましゝ
かみ（神）よよりて
こゑ（聲）うちあげて
ほめうたはまし
あめつちみな
よろこびあり

二 はゝ（母）のむねに
わがふむみち
いまものちも
よ（世）のわざはひ
ありつるひ（日）より
まもり（守）さきはふ（幸）
あた（仇）をふせぎ
のどきたまはん

三 まよひをさり
つねよめぐみ
ちゝなるかみ
よゝ（世々）みいづと
やすきをあたへ
なぐさめたまふ
みこ（聖子）みたまよ
みさかえあれ

第四百

ALL THINGS BRIGHT. 7676.

Bless the Lord, O my soul.

わが靈魂よ主をほめまつれ　詩百三〇一

一 わがたましひよ　あまつかみの
めぐみをたゝへ（稱）　みな（聖名）をほめよ

二 なが（汝）もろもろの　つみをゆるし
すべてのやまひ　いやしたまふ

三 ほろび（滅亡）とし（死）より　すくひいだし
みいつくしみを　くはへたまふ

四 うまきものみて　あきたらせ
わし（鷲）のごとくよ　わかやがしむ

五 あめ（天）よりたかき　そのみめぐみ
つねにわすれで　たゝへまつれ

399　第三百九十九　DEWDROPS.　7777 (CHO.)

Thou shalt call His Name Jesus.

神は諸の名に愈る名を彼に予へたまへり　腓二〇九

一　ちゝのみむね（聖旨）を　なしとげ（成遂）ましゝ
主のなにまさる　な（名）はまたあらず
（折）よにたぐひなき　たふときみなを
（反）あめつちよろづ　かしこみうたへ

二　あまつつかひの　つげ（告）たる耶蘇の
みな（御名）こそたみ（民）を　つみよりすくへ
（折　反）

三　みな（御名）をさとらぬ　ことくにびとも
おほきみ耶蘇と　すてふだ（罪標）かけぬ
（折　反）

四　かみはこのな（名）を　うへなくあげて
あらゆるものに　主とあがめしむ
（折　反）

五 あふぎのぞめ　かみのみこ（御子）
さかえ（光榮）みちて　とき（來）まさん

（折反）

402　第四百二

BRASTED.　7777

Oh be joyful in the Lord, all ye lands.

知れ主こそ神にますなれ　詩百〇三

一 すべてのくに（國）より　こゑ（聲）うちあげて
みつくりぬし（御造主）を　ほめたてまつれ

二 よ（世）をもひと（人）をも　つくりしものは
あまつみかみの　ほかにはあらず

三 われらはかみの　ひつじ（羊）のごとく
そのくさむら（牧草）に　かはるゝたみ（民）ぞ

四 みな（御名）をいはひて　みかど（御門）にのぼり
みや（宮）よつどひて　ほめよたゝへよ

五 ふかきあはれみ　あつきみめぐみ（御惠）
かはらぬまこと（眞理）　よゝにつきせじ

401　第四百一

JUBILATE. 6575 (CHO.)

Rejoice and be glad.

耶蘇キリストは昨日も今日も永遠かはらざる也　來十三〇八

一 すくひぬしの　ふるさとゝ
そのおくつき(墓)を　おもひみ(親)よ
折) ひとたび耶蘇きみ　しにませど
(反 またいきたまへり　よろこべよ

二 つみなききみ　ち(血)をながし
よびと(世人)のつみを　あがなひぬ
(折　反)

三 ゴルゴタまで　ほ(屠)ふられし
かみのこひつじ　し(死)よかちぬ
(折　反)

四 あめ(天)にのぼり　みくら(御座)よて
みたみ(神民)のために　とりなしぬ
(折・反)

しるしとめしめて　みくによいたり
みつかひとゝもに　うたはせたまへ

404 第四百四

ALETTA. 7777

Come, ye that love the Lord.

欣喜を懷きて主につかへ謳ひつゝ其前に來れ　詩百〇二

一 かみのみたみよ　みくらをかでみ
ともにこゝろを　あはせてうたへ

二 よびとはかみを　よしはめずとも
あまつよつぎは　あがめたゝへよ

三 あまつみちゝは　つねにまもりて
つひにみもとに　すゝみゆかしむ

四 つみをはなれて　みくによいらば
かみにまみゆる　さきはひをぞえん

五 よにあるうちも　あまつたまもの
ゆたかにうけて　よろこびうたへ

403 第四百三

ORIEL.　878787

To the Name of our salvation.

耶蘇キリストの名によりて健なることを得たり　徒四〇十

一
かみのさだめ(預定)よて　よゝ(世々)かくれしも
いまあらはれたる(威力)　すくひのみな(御名)に
みいづとみさかえ(光榮)　つねよあれかし

二
かなしみのたに(谷)を　たどりゆくひと(人)
みな(御名)のたすけよて　くるしみにたへ

三
みなのなぐさめよ　よろこびうたふ
みなをのぶる(宣)こゑ　をごと(琴聲)にまさり
みなによるいのり　たのしみあふれ

四
みなをさとりえて　さきさひみちぬ
みなのちから(能力)にて　あた(仇)はえりぞき
あしなへめしひも　みな(皆)いやされぬ

五
もろびとえるべし　このな(名)は耶蘇ぞ
かみ(神)よこのみな(御名)を　われのこゝろに

四　なやみにたへて　このみなを
しみなくまもり　しに（死）かちて
みくににのぼり　ちゝがみの
みくら（御座）のまへに　あらはせり

五　かみ（神）よりいでし　かみにして
すくひのぬしと　なりませば
たふとびあがめ　いつくしみ
いのちをしまず（惜）　したがへよ

六　けがれしこゝろ　うちきよめ
主のすみたまふ　みやとなし
あやふきときは　みちからを
いのりもとめて　あた（仇）にかて

七　よろづのものを　まつろはせ（服従）
きみ（君）のきみとて　すみやけく
あまつつかひを　ともなひて
さかえ（光榮）をまとひ　またきまさん（再來）

或時は六七節を省くも妨なし

405 第四百五

EVELYN.　75757575

At the Name of Jesus.

是すべての人をして父を敬ふ如く子をも敬むしめんが為なり　約五〇廿三

一 いき(生)としいける(活)　もの みな(皆)は
ちゝ(天父)のみこゝろ　かしこみて
さかえのきみの　耶蘇のな(名)を
たゝへあがめて　をがむべし

二 よ(世)のいやはじめ　ことば(言)たる
きみのみこゑに　したがひて
あめつちうみも　みつかひ(天使)も
よろづのものも　つくられぬ

三 あまつさかえを　しばしすて
けがれたるよ(世)に　くだりきて
よびと(世人)をすくふ　しるしとて
うけしみな(御名)こそ　たふとけれ

407* 第四百七

CORONATION. 8686 (C.M.)

All hail the power of Jesus' Name.

彼が衣と股に録せる名あり曰く諸王の王諸主の主　默十九〇十六

一　あまつみつかひよ　耶蘇のみなの
ちから(能力)をあふぎて　主とあがめよ

二　いのちをさゝげし　あかしびとよ
ダビデのみすゑ(裔)を　主とあがめよ

三　ヤコブのやから(族)よ　み(身)をそなへて
にへ(牲)とせし耶蘇を　主とあがめよ

四　よ(世)のつみびとらよ　耶蘇のあい(愛)と
なやみ(苦難)とをおもひ　主とあがめよ

五　よろづ(諸)のやから(族)よ　みまへ(御前)にふし
みいづ(稜威)をかしこみ　主とあがめよ

六　とこしへ(永遠)のうたに　こゑ(聲)をあはせ
ちよろづのものゝ　主とあがめよ

406 第四百六

MAGDEBURG.　878787

Come, let us join our cheerful songs.

われ多くの天使の聲あるを聞けり　默五〇十一

一
ちよろづのつかひ（天使）　みくら（寶座）のまへに
こゑうちあはせて　耶蘇をうたへば
われらもひとしく　よろこびたゝへん

二
しにし（死）てひつじの　いさををほむる
みつかひにこたへ　われらもうたふ
わが主はわれらの　ためにしね（死）りと

三
ほまれ（讚美）とさかえ（光榮）は　耶蘇きみにあれ
そのとみ（富）ちから（大能）を　いかにかたゝへん
ひたすらみまへに　ひれふしをがめ（拝）

四
ひと（人）もみつかひ（天使）も　よろづのものも
みくらにまします　あまつみかみと
かみのこひつじを　とは（永久）にたゝへよ

409 第四百九

Praise God from Whom all blessings flow. OLD HUNDRED. 8888 (L.M.)

主を讃め奉れ凡ての恩惠を忘るゝ勿れ 詩百三〇二

みつかひ（天使）もひと（人）も　めぐみのもとなる
ちゝみこみたま（聖父聖子聖靈）を　ひとしくあがめ（崇）よ

410 第四百十

Praise God from Whom all blessings flow. WINCHESTER NEW. 8888 (L.M.)

造り給へる凡ての物よ主を讃めまつれ 詩百三〇廿二

あめにもつちよも　めぐみのあふるゝ
ちゝみこみたまの　みな（聖名）にさかえあれ

411 第四百十一

Praise God from Whom all blessings flow. MOEL LLYS. 757575

凡ての善き賜物は皆上より降るなり 雅一〇十七

あまつつかひも　よのひと（世人）も
めぐみのもとの　ちゝとこ（聖父聖子）と
みたま（聖靈）のかみを　ほめうたへ

雑歌　耶蘇の榮光　（讃 九八）

408* 第四百八

HARWELL.
SUNNYSIDE.　87878787

Hark, ten thousand harps and voices.

ハレルヤ、それ主たる全能の神は王なり　默十九〇六

一 きみのきみよまそ　おほきみ耶蘇を
ほめたゝへまつる　そのこゑでゑは
うみにもやまにも　ひゞきわたりぬ
ハレルヤ、ハレルヤ　ハレルヤ、アーメン

二 さかえ（光榮）あるきみよ　みよ（御世）とこしへに
しろしめしたまへ　きみがめぐみの
ひかりはあまねく　かゞやきわたる
ハレルヤ、ハレルヤ　ハレルヤ、アーメン

三 主よきたりたまへ　みこゑをきゝて
あめつちさるとも　われらよろこび
こがねのこと（琴）もて　みいづをうたはん
ハレルヤ、ハレルヤ　ハレルヤ、アーメン

一　ゑたがふさき　ゴルゴタ
ひかれゆくは　み(神)こ(子)ぞ

二　あい(愛)のきみ(君)は　のろひ(呪詛)の
き(木)のうへにぞ　かゝる

三　あないたはし(哀)　なやみの
み(御)かほ(顔)あふぎ　をがめ

四　ゆきかふもの　とゞ(止)まり
主のくるしみ　おもへ

八（主十字架に舉られ給ふ）

一　いとたふと(至尊)き　かみのこ
わがためにぞ　なやむ

二　そのみくら(寶座)は　ゑふじか
そのかむり(寶冠)は　いばら

三　みて(手)とみあし(足)　つらぬく
ふときくぎ(釘)を　み(觀)よや

412 第四百十二　THE STORY OF THE CROSS. 6463

十字架のものがたり

イ（主みやこを出で給ふ）

一　なやみつかれ　ころも(衣)ゝ
あけ(朱)にそみて　きたる

二　じふじのきを　せおひ(背負)て
みやこのかど(門)　いでぬ

三　をみな(婦女)らなき(泣)　したがひ
みるものみな　そしる

四　みちにあひ(遇)し　ひとりに
十字架をしひ(強)　おは(負)す

五　おひ(負)したがふ　いづくぞ
ひかれゆくは　たれ(誰)ぞや

ロ（主やまに到り給ふ）

二 われをはなれ まよひし
ともよいそぎ かへれ
三 ち(血)をながして いまし(汝)を
わがものとは なしぬ
四 わがなやみ(患難)を おもひて
われとゝもに すまへ(住)

ホ（われら主に答ふ）

一 われはきみに したがはん
くらきやみぢ(闇路) ゆくも
二 ひごと(毎日)われに 十字架を
おふ(貢)ちからを たまへ(賜)
三 わがこゝろに やどりて
たえずみむね(聖旨) しめせ
四 たびぢはて(終)ば みくによ
きみとゝもに すまはん

四　ユダのつかさ（司）　のゝしり
　　ぬすびとすら　なじる（詰）

五　まひる（正午）のひ（日）は　くらみて
　　やみはよも（四方）を　かくす

六　いとかなしく　わがきみ
　　ちゝ（聖父）をよびて　さけぶ

七　とも（友）はとほく　はなれて
　　むなしくたち（佇）　なげく

八　すてふだ（罪標）にて　耶蘇のな（名）
　　わがすくひ（救）と　ゑれり

九　あゝわがきみ　かくまで
　　いつくしむか　われを

二（主われらを呼び給ふ）

一　なやみ（患難）うみし　いとし（愛）ご（子）
　　きたりうけ（受）よ　さち（福）を


NEW

N AND OLD